

子ども・子育て支援に関する市民アンケート  
調査結果について

平成 26 年 7 月

光 市

## 目 次

1	お住まいの地区について	1
2	お子さんとご家族の状況について	1
3	子どもの育ちをめぐる環境について	5
4	保護者の方の就労状況について	10
5	平日の幼稚園や保育所などの利用状況について	21
6	お子さんの病気の際の対応について	41
7	一時預かりなどの利用について	48
8	小学校（就学後）の放課後の過ごし方について	56
9	育児休業制度の利用について	73
10	日常の子育てなどについて	82
11	地域での子育ての支援について	95
12	今後の要望等について	101
13	おっぴかい都市宣言について	103
14	子育て環境や支援への満足度について	105

## 就学前児童用

### 調査方法

調査対象者	光市にお住まいで小学校就学前のお子さんの保護者		
調査数	1, 800名		
調査方法	郵送による配布回収		
調査時期	平成25年10月17日～10月31日		
調査票回収数	806件	回収率	44.8%

### 調査集計にあたっての留意事項

- 回答結果の比率は小数点第2桁目を四捨五入しています。この関係で、単回答（複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式）のパーセントの合計がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）の結果の比率は、その項目の有効標本数に対する各々の割合であり、パーセントを合計しても「100.0」とはなりません。
- 本報告書における「N」「SA」「MA」「数量」は、それぞれ  
「N」 = サンプル数のこと  
「SA」 = 単回答のこと（Single Answer の略）  
「MA」 = 複数回答のこと（Multiple Answer の略）  
「数量」 = 数量回答のこと  
を示します。  
なお、図表中において「無回答」とある項目については、「回答の無かったもの」、若しくは「判別ができなかったもの」を表しています。

## 就学児童（小学生）用

### 調査方法

調査対象者	光市にお住まいで小学生のお子さんの保護者		
調査数	1, 200名		
調査方法	郵送による配布回収		
調査時期	平成25年10月17日～10月31日		
調査票回収数	514件	回収率	42.8%

### 調査集計にあたっての留意事項

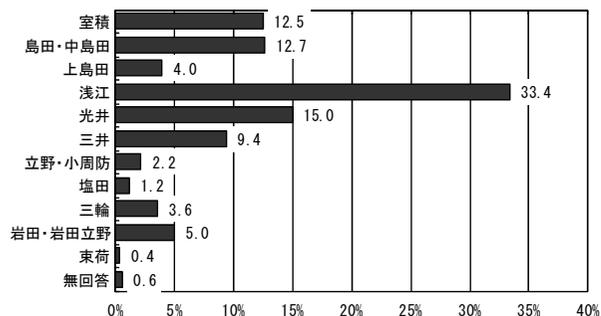
- 回答結果の比率は小数点第2桁目を四捨五入しています。この関係で、単回答（複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式）のパーセントの合計がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上の回答を選ぶ形式）の結果の比率は、その項目の有効標本数に対する各々の割合であり、パーセントを合計しても「100.0」とはなりません。
- 本報告書における「N」「SA」「MA」「数量」は、それぞれ  
「N」 = サンプル数のこと  
「SA」 = 単回答のこと（Single Answer の略）  
「MA」 = 複数回答のこと（Multiple Answer の略）  
「数量」 = 数量回答のこと  
を示します。  
なお、図表中において「無回答」とある項目については、「回答の無かったもの」、若しくは「判別ができなかったもの」を表しています。

お住まいの地区について

問1 お住まいの地区はどちらですか。(SA)

「浅江」が33.4%で突出しています。「光井」が15.0%、「島田・中島田」が12.7%が続いています。

(SA) N=806

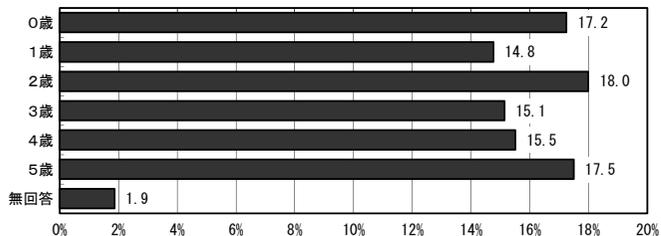


お子さんご家族の状況について

問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。(年齢) (SA)

「2歳」が18.0%で最も高くなっています。「5歳」が17.5%、「0歳」が17.2%が続いています。

(SA) N=806



※年齢算出の基準日を平成25年3月としています。

問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。(数量)

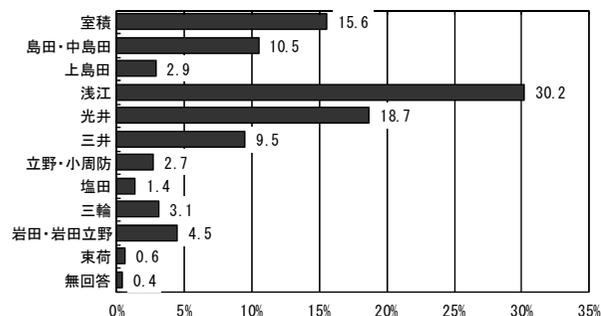
「2人」が47.8%と最も高くなっています。次いで、「1人」が29.3%、「3人」が17.0%が続いています。

お住まいの地区について

問1 お住まいの地区はどちらですか。(SA)

「浅江」が30.2%で最も高くなっています。次いで「光井」が18.7%、「室積」が15.6%が続いています。

(SA) N=514

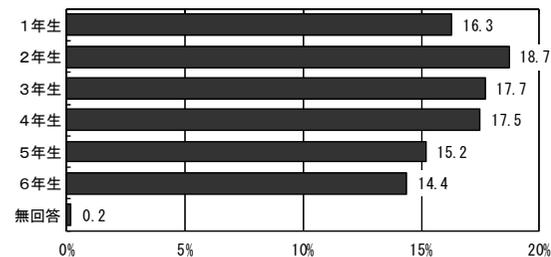


お子さんご家族の状況について

問2 あて名のお子さんは小学何年生ですか。(SA)

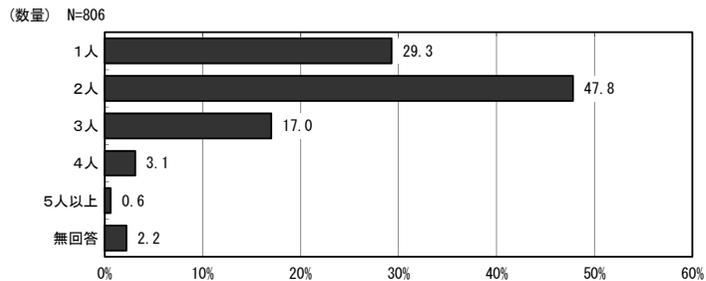
「2年生」が18.7%で最も高くなっています。次いで「3年生」が17.7%、「4年生」が17.5%が続いています。

(SA) N=514



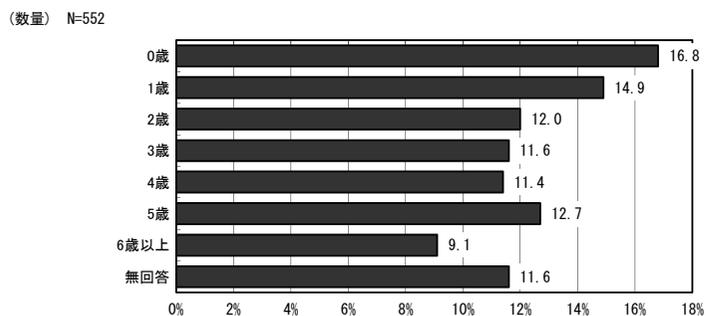
問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。(数量)

「2人」が52.9%を最も高くなっています。次いで、「3人」が26.1%、「1人」が14.4%が続いています。



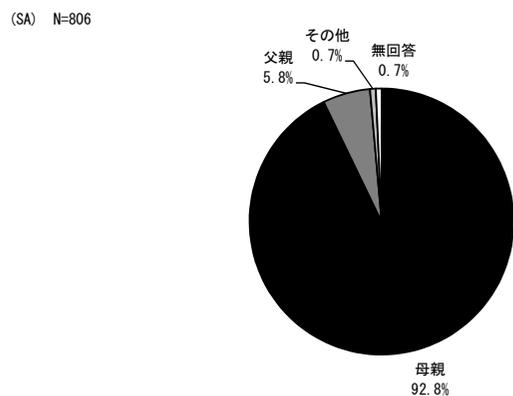
問3 2人以上いらっしゃる場合、末子の方の生年月をご記入ください。(年齢) (SA)

「0歳」が16.8%で最も高くなっています。次いで「1歳」が14.9%、「5歳」が12.7%が続いています。



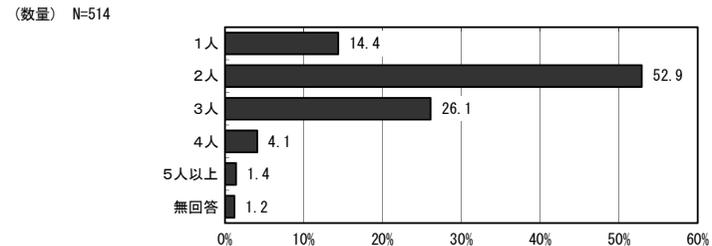
問4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。(SA)

「母親」が92.7%を占めています。



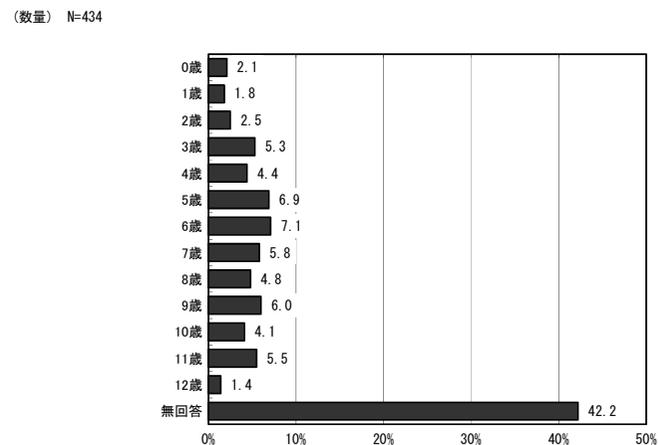
問4 その他の内容

里親	祖母
----	----



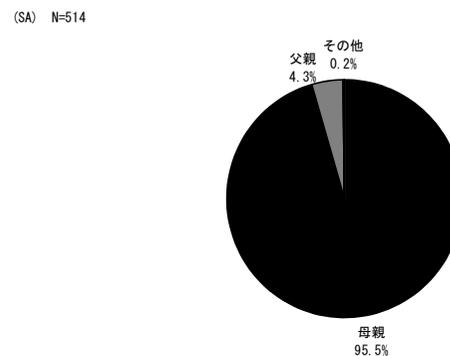
問3 2人以上いらっしゃる場合、末子の方の生年月をご記入ください。(数量)

「6歳」が7.1%で最も高くなっています。次いで「5歳」が6.9%、「9歳」が6.0%が続いています。



問4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。(SA)

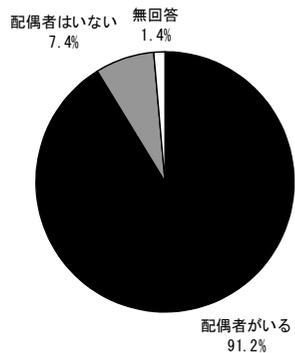
「母親」が95.5%を占めています。



問5 ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(SA)

「配偶者がいる」が91.2%を占めています。

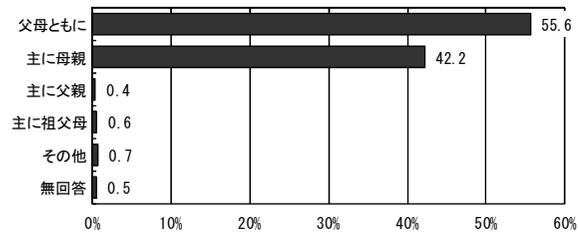
(SA) N=806



問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(SA)

「父母ともに」が55.6%で最も高くなっています。次いで「主に母親」が42.2%、「その他」が0.7%で続いています。

(SA) N=806



**問6 その他の内容**

里親

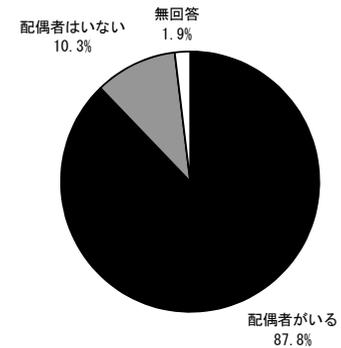
【問6 子育てを主にしている人】 × 【問2 年齢】 (一部抜粋)

子どもの年齢が高いほど「父母ともに」が高くなり、「主に母親」が低くなっています。

問5 ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(SA)

「配偶者がいる」が87.8%を占めています。

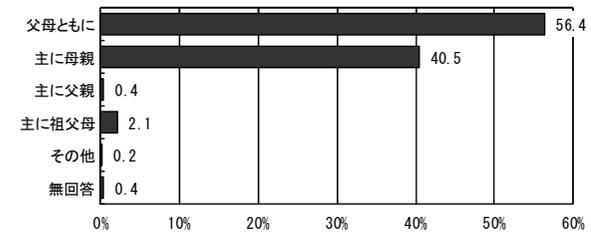
(SA) N=514



問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(SA)

「父母ともに」が56.4%で最も高くなっています。次いで「主に母親」が40.5%、「主に祖父母」が2.1%で続いています。

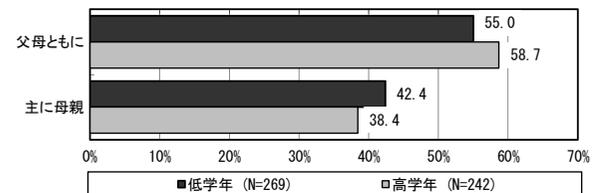
(SA) N=514

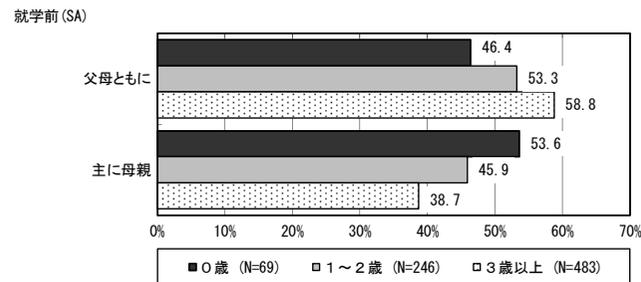


【問6 子育てを主にしている人】 × 【問2 学年】 (一部抜粋)

“高学年”になると、「主に母親」が低くなっています。

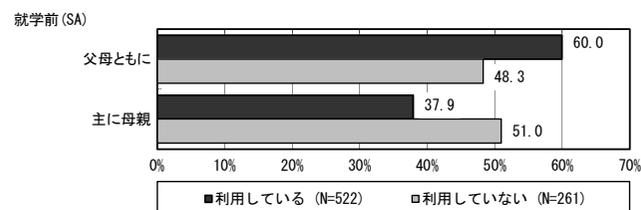
小学生(SA)





【問6 子育てを主にしている人】 × 【問15 サービス利用】 (一部抜粋)

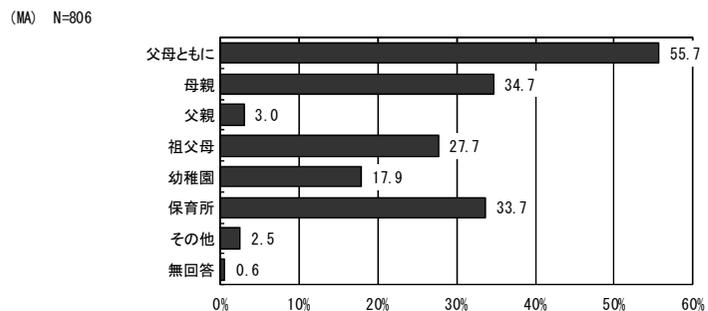
サービスを“利用している”方は、“利用していない”方に比べて、「父母ともに」が高くなっており、「主に母親」が低くなっています。



子どもの育ちをめぐる環境について

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。(MA)

「父母ともに」が55.7%で最も高くなっています。次いで「母親」が34.7%、「保育所」が33.7%が続いています。



問7 その他の内容

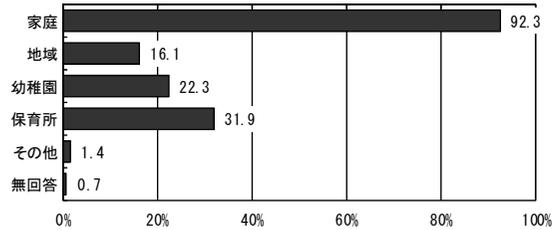
託児所	叔父、叔母などの親族
里親	あいぱーく、チャイベビ
三島公民館、ひよこクラブなど	

子どもの育ちをめぐる環境について

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響すると思われるものはどれですか。（MA）

「家庭」が92.3%で突出しています。「保育所」が31.9%、「幼稚園」が22.3%が続いています。

(MA) N=806



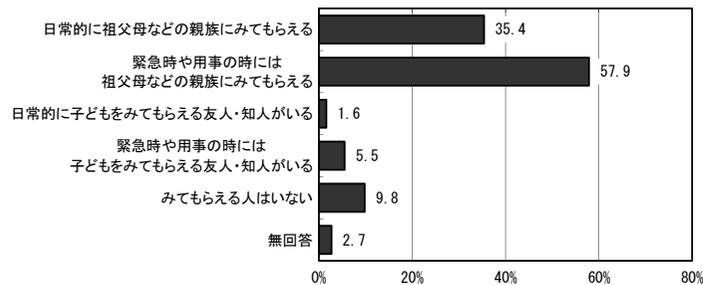
**問8 その他の内容**

託児所	2	スイミング
実家		祖父母

問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。（MA）

「緊急時や用事の時には祖父母などの親族にみてもらえる」が57.9%で最も高くなっています。次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が35.4%、「みてもらえる人はいない」が9.8%が続いています。

(MA) N=806



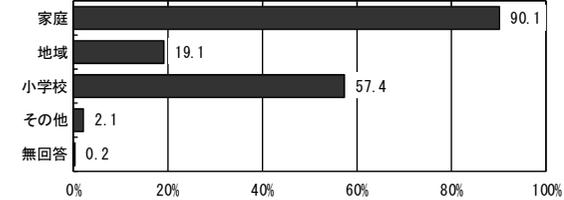
【問9 日頃みてもらえる人】 × 【問15 サービス利用】

サービスを“利用していない”方は「みてもらえる人はいない」が高くなっています。サービスを“利用している”方でも、「緊急時や幼児の時には祖父母などの親族にみてもらえる」が高くなっています。

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響すると思われるものはどれですか。（MA）

「家庭」が90.1%で最も高くなっています。次いで「小学校」が57.4%、「地域」が19.1%が続いています。

(MA) N=514



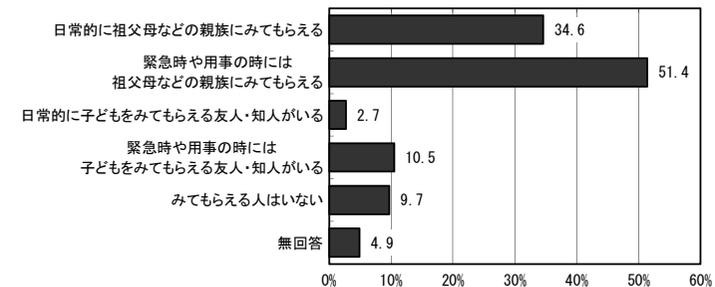
**問7 その他の内容**

NPO土曜学校	友達
---------	----

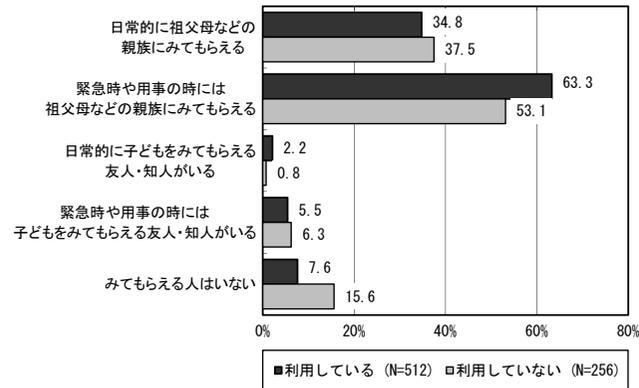
問8 日頃、小学校にいる時間以外の時間帯であて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。（MA）

「緊急時や用事の時には祖父母などの親族にみてもらえる」が51.4%で最も高くなっています。次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が34.6%、「緊急時や用事の時には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が10.5%が続いています。

(MA) N=514



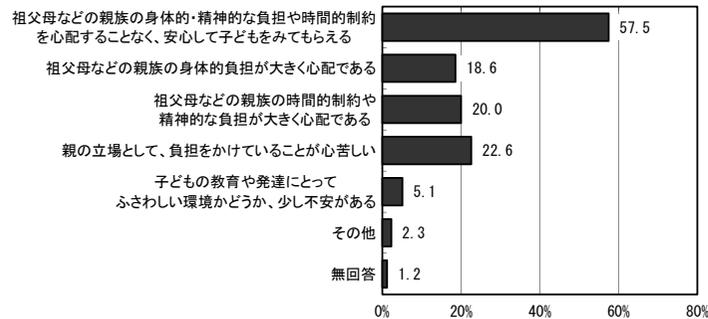
就学前 (MA)



問9-1 祖父母などにお子さんをみてもらっている状況について、どのように感じていますか。(MA)

「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が57.5%で突出しています。

(MA) N=690



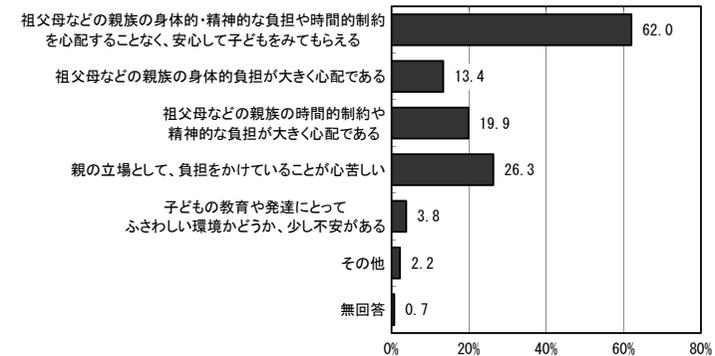
**問9-1 その他の内容**

経済的心配がないし、子供もなついているので安心  
 祖母の身体的、精神的な負担にならない範囲で子どもを見てもらっている  
 頼みづらくほとんど自分で何とかしている  
 日常的には頼めない為、頼んでいる間は子どもが良い子にしているか気がかり  
 祖父母はみんな仕事を持っているので、私自身見てもらえるのは多少申し訳ない気持ちもあるが、両親、義両親にとって初孫なので時間があれば喜んでみてくれる  
 など

問8-1 祖父母などにお子さんをみてもらっている状況について、どのように感じていますか。(MA)

「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が62.0%で突出しています。「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が26.3%で続いています。

(MA) N=418



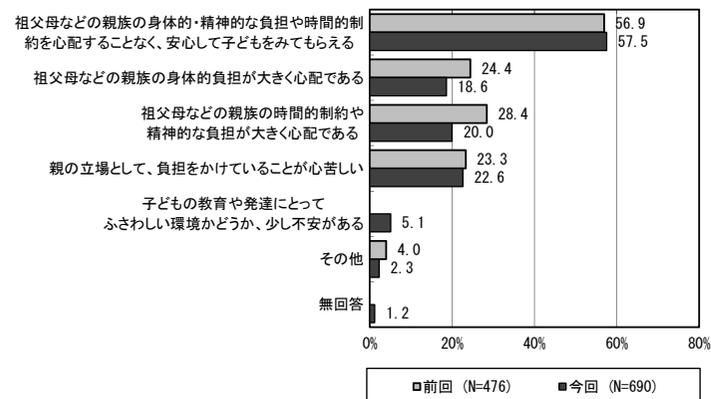
**問8-1 その他の内容**

本当に必要な時のみしか頼まない  
 とてもありがたい  
 負担をかけているありがたい。夫婦だけでは出来ない体験をさせてくれる。(田・畑など)  
 気を使う  
 など

問9-1 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である」、「祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が低くなっています。

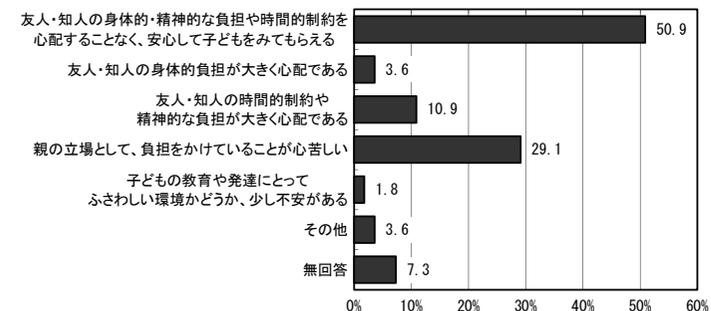
就学前(MA)



問9-2 友人や知人にお子さんをみてもらっている状況について、どのように感じていますか。(MA)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が50.9%で突出しています。「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.1%で続いています。

(MA) N=55



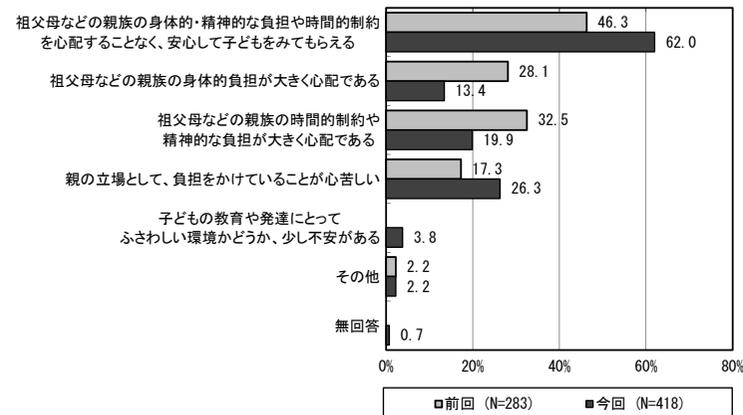
問9-2 その他の内容

近くに頼める人がいるのはありがたいと思う  
みてもらう方にも子供が居るので大変そう

問8-1 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「祖父母などの親族の身体的負担が大きく心配である」、「祖父母などの親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が低くなっています。

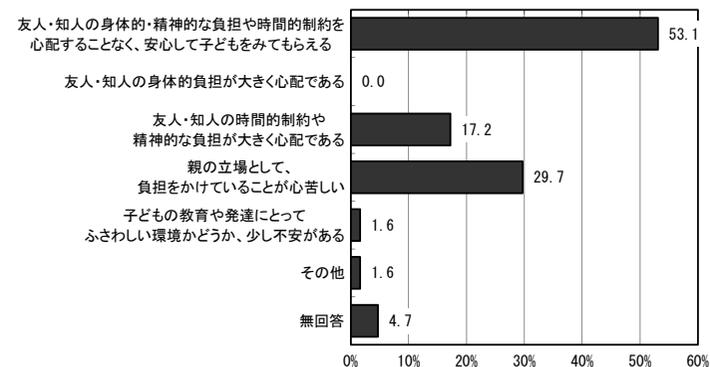
小学生(MA)



問8-2 友人や知人にお子さんをみてもらっている状況について、どのように感じていますか。(MA)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が53.1%で突出しています。「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.7%で続いています。

(MA) N=64



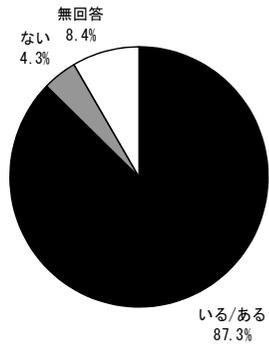
問8-2 その他の内容

大きく心配ではなく少し心配

問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）の相談を気軽にできる人（場所）はいますか。（SA）

「いる/ある」が87.3%を占めています。

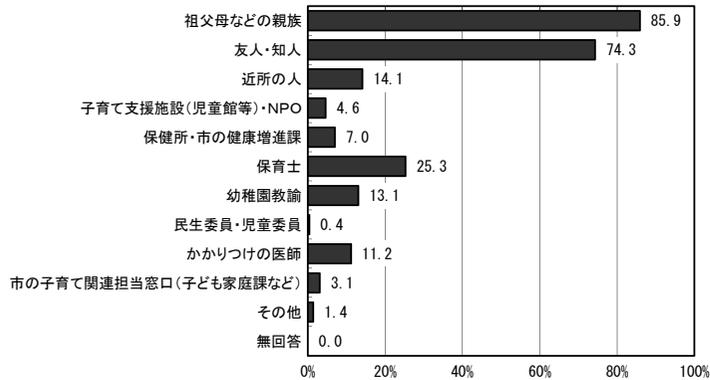
(SA) N=806



問10-1 相談先はどこですか。（MA）

「祖父母などの親族」が85.9%で最も高くなっています。次いで「友人・知人」が74.3%、「保育士」が25.3%で続いています。

(MA) N=703



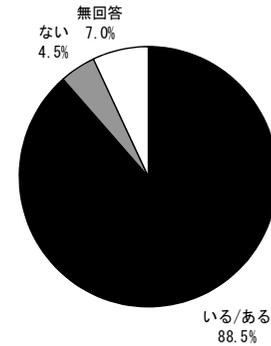
問10-1 その他の内容

職場の先輩  
児童相談所

問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）の相談を気軽にできる人（場所）はいますか。（SA）

「いる/ある」が88.5%を占めています。

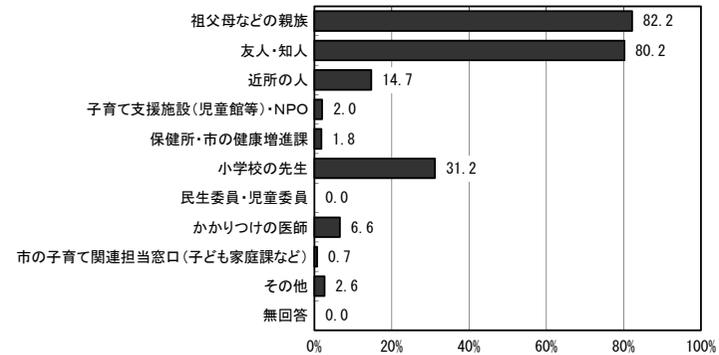
(SA) N=514



問9-1 相談先はどこですか。（MA）

「祖父母などの親族」が82.2%、「友人・知人」が80.2%で群を抜いて高くなっています。「小学校の先生」が31.2%で続いています。

(MA) N=455



問9-1 その他の内容

職場  
カウンセラー  
習いごとの先生

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。

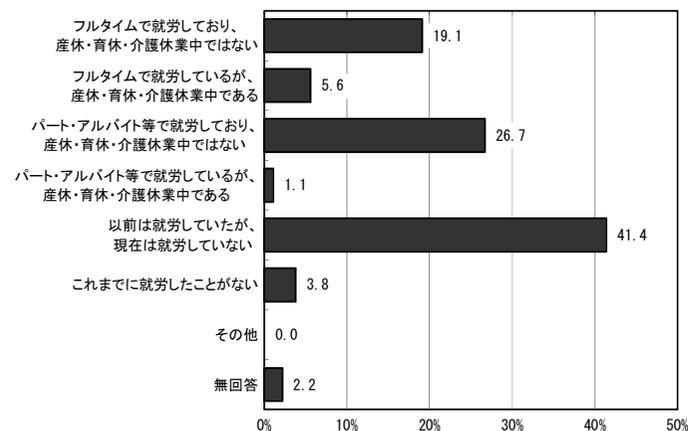
問11 内容（主なもの）	
短時間や夜間・休日などにも子どもを気軽に預かってくれる施設等	49
病児・病後児のサポートや医療施設	25
気軽に相談できる場所	22
子育てに関するイベントや講演会	17
親同士や子ども同士で集まれる交流の場	15
定期的な訪問や連絡など	14
子育てに関する情報提供	13
公園の整備	9
親のリフレッシュのためのサポート	4
満足している	4
など	

保護者の方の就労状況について

問12 就労状況 (1) 母親 (SA)

「以前は就労していたが、現在は就労していない」が41.4%で最も高くなっています。次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.7%、で続いています。

(SA) N=806



問10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。

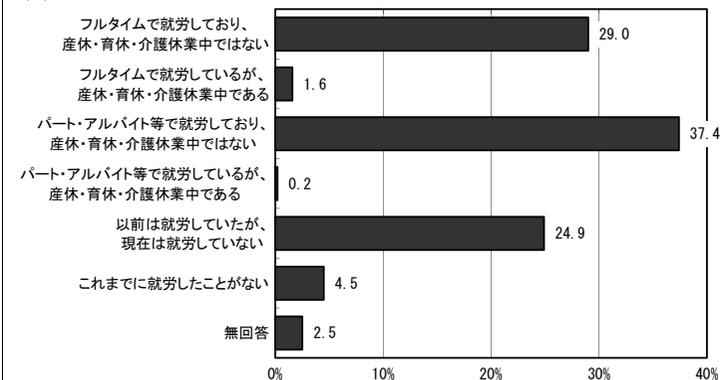
問10 内容（主なもの）	
気軽に子育てに関する相談ができる場所	25
休日や急用時に気軽に預けられる場所、病児の預かり場所	23
情報提供	13
親同士、子ども同士、異世代や地域との交流の場所	10
見回りや声かけなど	7
サンホームの拡充	6
子どもの学習の場	4
子育てについての講演会やイベント、子どもが参加できる行事やイベント	4
など	

保護者の方の就労状況について

問11 就労状況 (1) 母親 (SA)

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が37.4%で最も高くなっています。次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が24.9%で続いています。

(SA) N=514



【問12(1) 母親の就労状況】 × 【問2 年齢】

子どもの年齢が高いほど、現在休業中でない方が多くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	フルタイムで就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で 就労しており、産休・育休・介護 休業中ではない	パート・アルバイト等で 就労しているが、産休・育休・ 介護休業中である	以前は就労していたが、 現在は就労していない	これまでに就労したことがない	その他
合計	783 100.0	154 19.7	44 5.6	214 27.3	9 1.2	332 42.4	30 3.8	-
0歳	69 100.0	5 7.3	15 21.7	6 8.7	3 4.4	38 55.1	2 2.9	-
1~2歳	242 100.0	41 16.9	17 7.0	48 19.8	1 0.4	128 52.9	7 2.9	-
3歳以上	472 100.0	108 22.9	12 2.5	160 33.9	5 1.1	166 35.2	21 4.5	-

【問12(1) 母親の就労状況】 × 【問15 サービス利用】

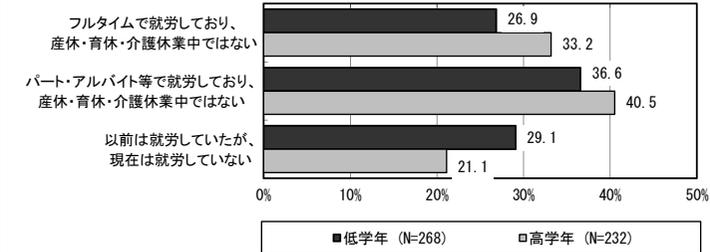
サービスを“利用していない”では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が72.5%を占めています。

上段:度数 下段:%	合計	フルタイムで就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で 就労しており、産休・育休・介護 休業中ではない	パート・アルバイト等で 就労しているが、産休・育休・ 介護休業中である	以前は就労していたが、 現在は就労していない	これまでに就労したことがない	その他
合計	773 100.0	150 19.4	43 5.6	210 27.2	8 1.0	331 42.8	31 4.0	-
利用している	515 100.0	144 28.0	17 3.3	185 35.9	6 1.2	144 28.0	19 3.7	-
利用していない	258 100.0	6 2.3	26 10.1	25 9.7	2 0.8	187 72.5	12 4.7	-

【問11(1) 母親 就労状況】 × 【問2 学年】 (一部抜粋)

“低学年”に比べて、“高学年”のほうが、就労している方が多くなっています。

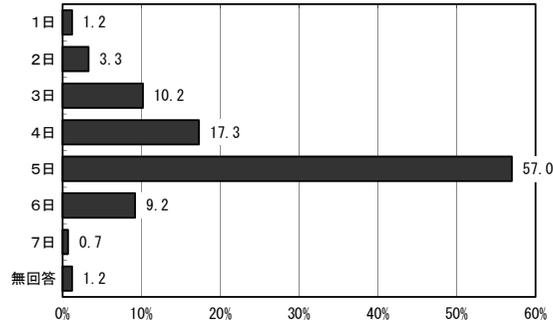
小学生(SA)



問12 (1) - 1 1週あたりの「就労日数」(SA)

「5日」が57.0%で突出しています。「4日」が17.3%、「3日」が10.2%が続いています。

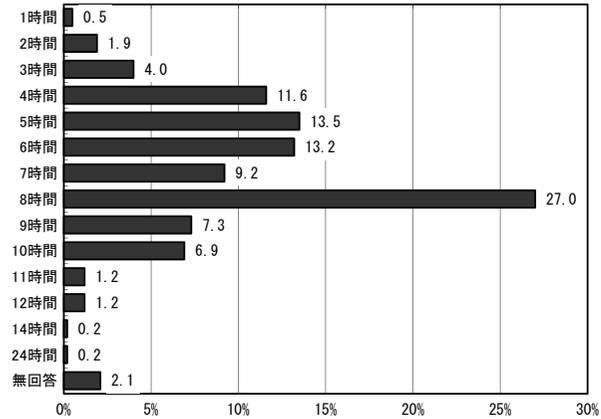
(SA) N=423



問12 (1) - 1 1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」(数量)

「8時間」が27.0%で突出しています。「5時間」が13.5%、「6時間」が13.2%が続いています。

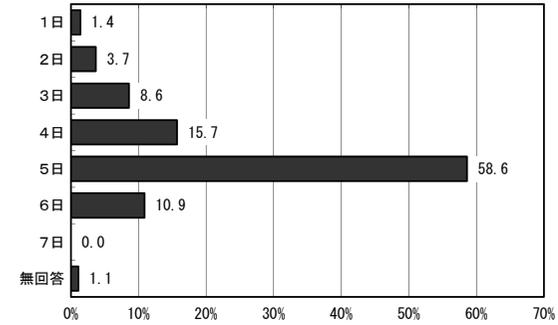
(数量) N=423



問11 (1) - 1 1週あたりの「就労日数」(SA)

「5日」が58.6%で突出しています。「4日」が15.7%、「6日」が10.9%が続いています。

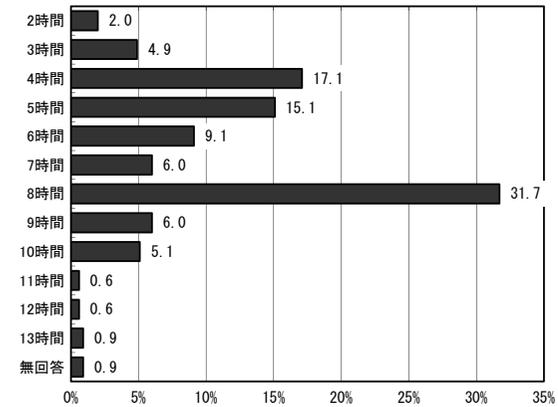
(SA) N=350



問11 (1) - 1 1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」(数量)

「8時間」が31.7%で突出しています。「4時間」が17.1%、「5時間」が15.1%が続いています。

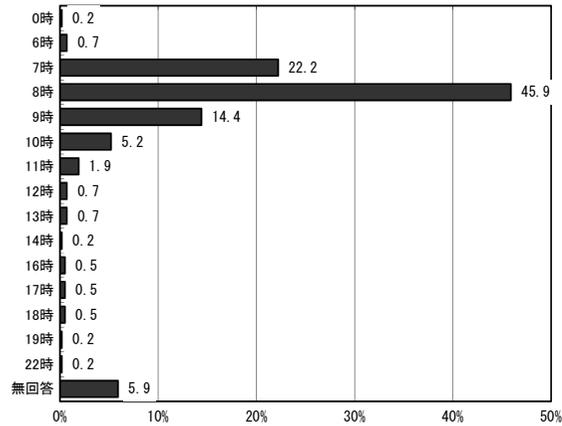
(数量) N=350



問12 (1) - 2 家を出る時間 (数量)

「8時」が45.9%で突出しています。「7時」が22.2%、「9時」が14.4%が続いています。

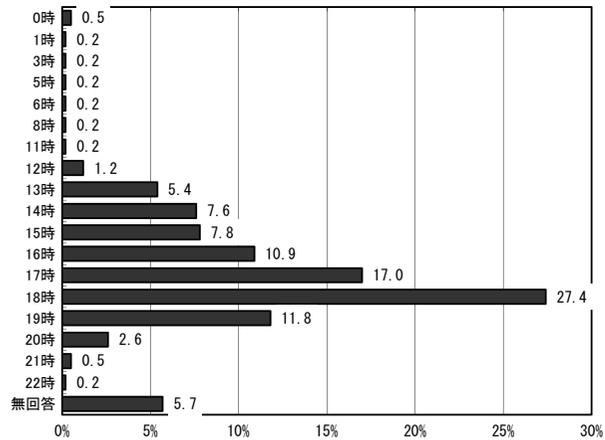
(数量) N=423



問12 (1) - 2 帰宅時間 (数量)

「18時」が27.4%で最も高くなっています。次いで「17時」が17.0%、「19時」が11.8%が続いています。

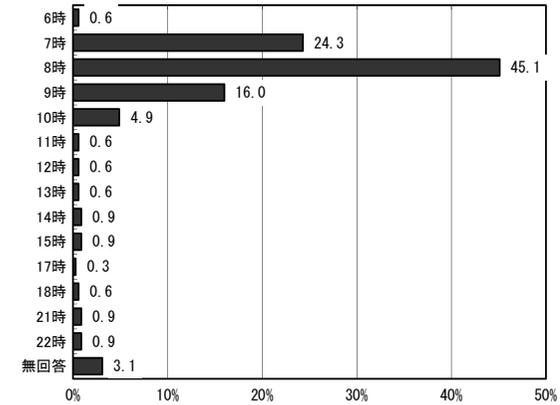
(数量) N=423



問11 (1) - 2 家を出る時間 (数量)

「8時」が45.1%で突出しています。「7時」が24.3%、「9時」が16.0%が続いています。

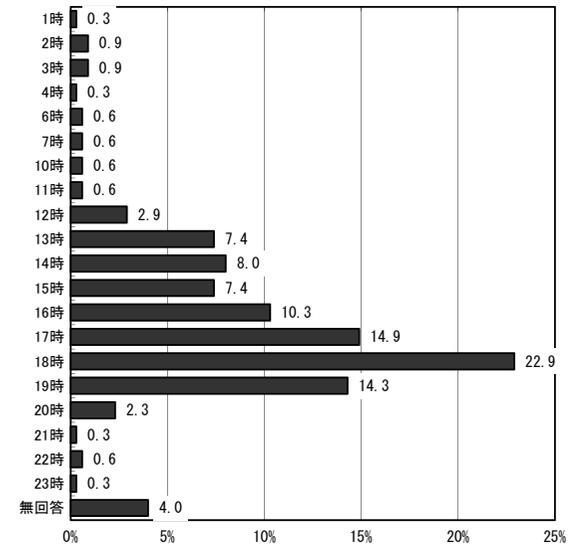
(数量) N=350



問11 (1) - 2 帰宅時間 (数量)

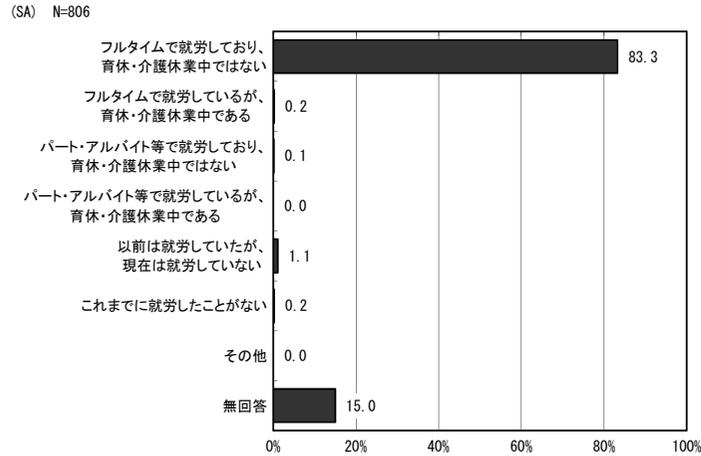
「18時」が22.9%で最も高くなっています。次いで「17時」が14.9%、「19時」が14.3%が続いています。

(数量) N=350



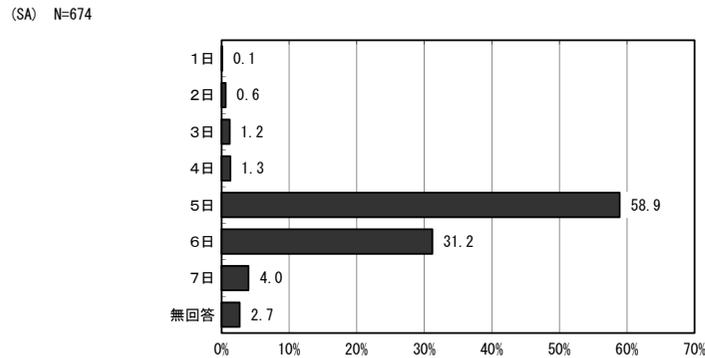
問 1 2 就労状況 (2) 父親 (SA)

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 83.3%で突出しています。



問 1 2 (2) - 1 1週あたりの「就労日数」 (SA)

「5日」が 58.9%で突出しています。「6日」が 31.2%、「7日」が 4.0%で続いています。

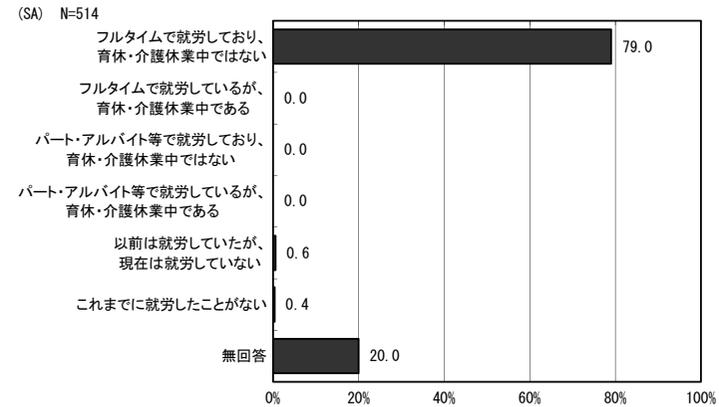


問 1 2 (2) - 1 1日あたりの「就労時間 (残業時間を含む)」 (数量)

「8時間」が 32.5%で最も高くなっています。次いで「10時間」が 19.9%、「9時間」が 14.4%で続いています。

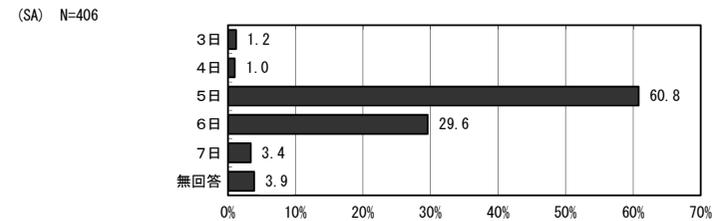
問 1 1 就労状況 (2) 父親 (SA)

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 79.0%で突出しています。



問 1 1 (2) - 1 1週あたりの「就労日数」 (SA)

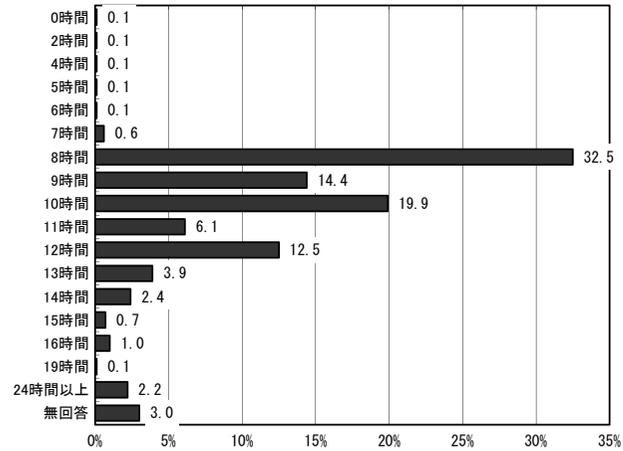
「5日」が 60.8%で突出しています。「6日」が 29.6%、「7日」が 3.4%で続いています。



問 1 1 (2) - 1 1日あたりの「就労時間 (残業時間を含む)」 (数量)

「8時間」が 36.9%で突出しています。「10時間」が 19.0%、「12時間」が 12.6%で続いています。

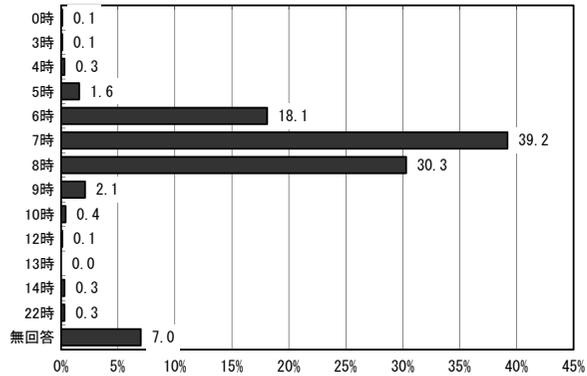
(数量) N=674



問12 (2) - 2 家を出る時間 (数量)

「7時」が39.2%で最も高くなっています。次いで「8時」が30.3%、「6時」が18.1%が続いています。

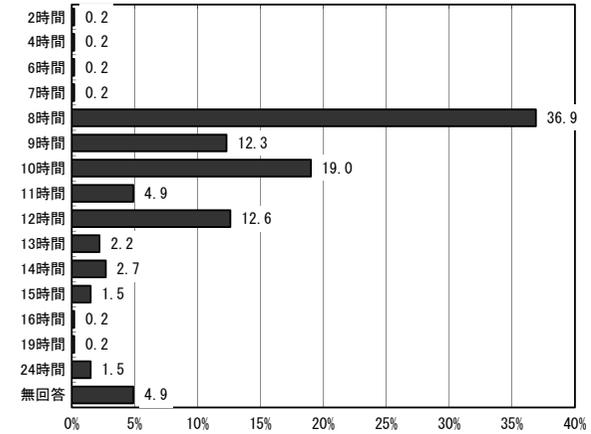
(数量) N=674



問12 (2) - 2 帰宅時間 (数量)

「18時」が22.6%で最も高くなっています。次いで「19時」が19.9%、「20時」が16.3%が続いています。

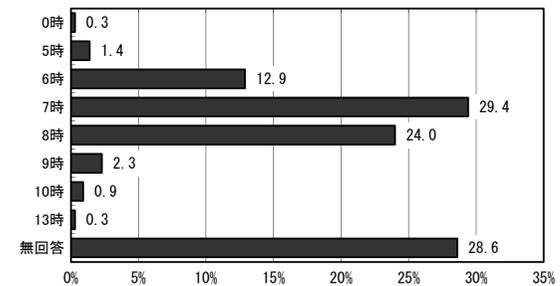
(数量) N=406



問11 (2) - 2 家を出る時間 (数量)

「7時」が29.4%で最も高くなっています。次いで「8時」が24.0%、「6時」が12.9%が続いています。

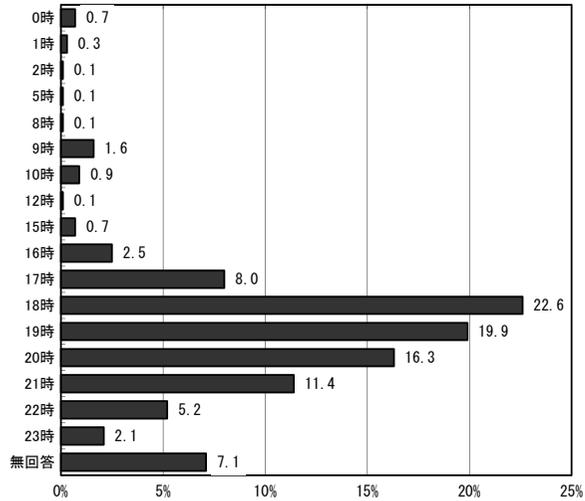
(数量) N=350



問11 (2) - 2 帰宅時間 (数量)

「18時」が23.9%で最も高くなっています。次いで「19時」が19.7%、「20時」が14.5%が続いています。

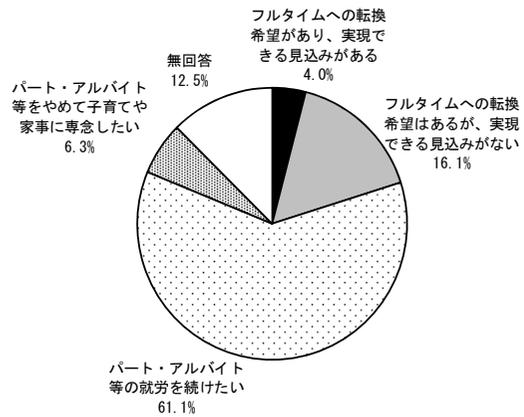
(数量) N=674



問 1 3 フルタイムへの転換希望 (1) 母親 (SA)

「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が61.1%を占めています。

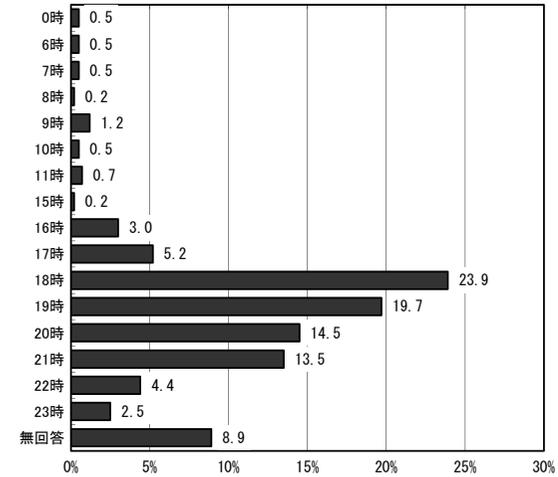
(SA) N=224



【問 1 3 母親のフルタイム転換希望】 × 【問 2 年齢】

年齢が高いほど、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が高くなっています。

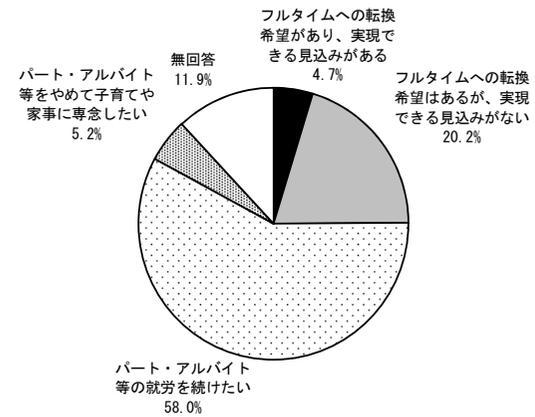
(数量) N=406



問 1 2 フルタイムへの転換希望 (1) 母親 (SA)

「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が58.0%を占めています。

(SA) N=193



上段:度数 下段:%	合計	フルタイムへの転換希望 があり、実現できる見込 がある	フルタイムへの転換希望 込みがない	フルタイムへの転換希望 はあるが、実現できる見 込みがない	パート・アルバイト等の 就労を続けたい	パート・アルバイト等を やめて子育てや家事に専 念したい
合計	195	9	36	136	14	
	100.0	4.6	18.5	69.7	7.2	
0歳	7	-	1	4	2	
	100.0	-	14.3	57.1	28.6	
1～2歳	43	5	9	28	1	
	100.0	11.6	20.9	65.1	2.3	
3歳以上	145	4	26	104	11	
	100.0	2.8	17.9	71.7	7.6	

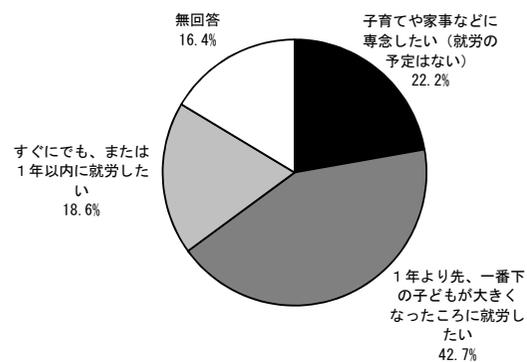
問13 フルタイムへの転換希望 (2) 父親 (SA)

「パート・アルバイト等の就労を続けたい」に回答者1名

問14 就労希望 (1) 母親 (SA)

「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」が42.7%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が22.2%となっています。

(SA) N=365



問14 (1) 補足 大きくなった子どもの年齢(数量)

「3歳」が34.6%で突出しています。「6歳」が12.2%、「7歳」が10.9%が続いています。

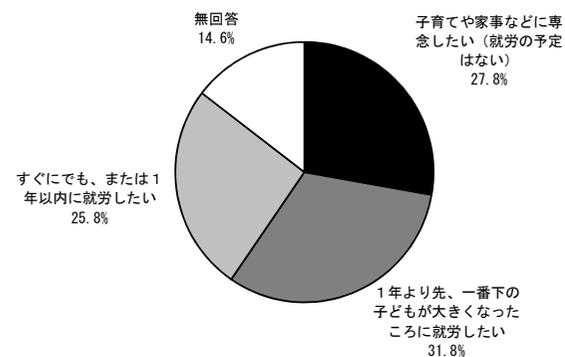
問12 フルタイムへの転換希望 (2) 父親 (SA)

回答者はありません。

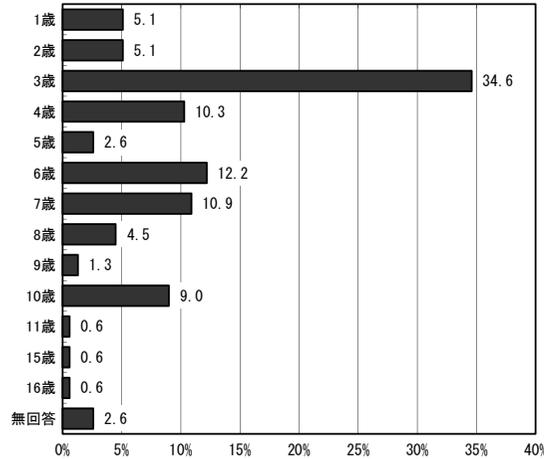
問13 就労希望 (1) 母親 (SA)

「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」が31.8%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が27.8%となっています。

(SA) N=151



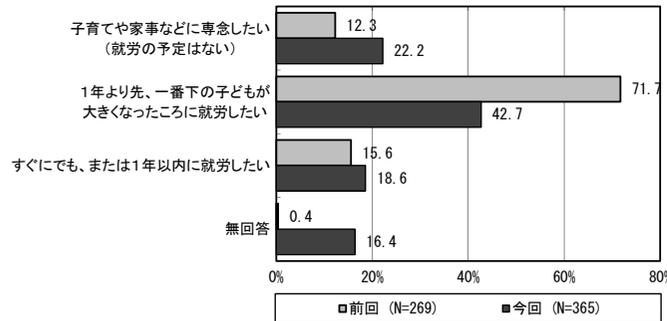
(数量) N=156



問14(1) 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「子育てや家事などに専念したい」が高くなっており、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」が低くなっています。

就学前(SA)



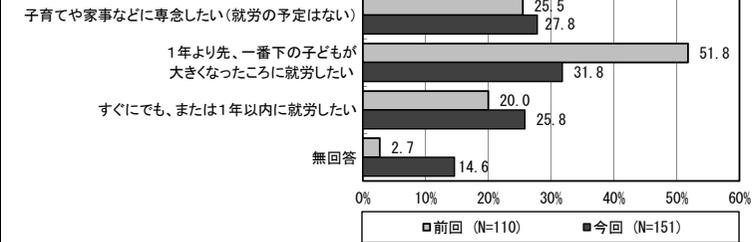
【問14(1) 母親の就労希望】 × 【問15 サービス利用】

サービスを“利用している”では、比較的「子育てや家事などに専念したい」が高くなっており、“利用していない”では、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」、「すぐにも、または1年以内に就労したい」が高くなっています。

問13(1) 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」が特に低くなっています。

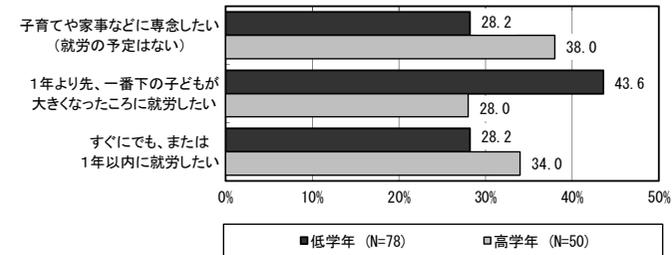
小学生(SA)



【問13(1) 母親 就労希望】 × 【問2 学年】

“低学年”では、「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」が高くなっています。

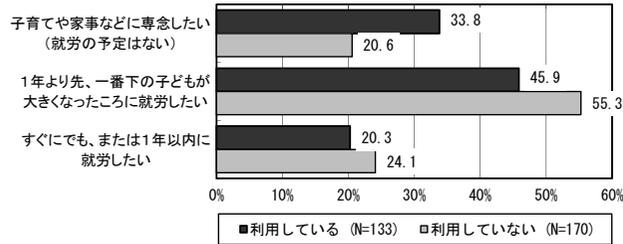
小学生(SA)



問13(1) 補足 大きくなった子どもの年齢(数量)

「10歳」が20.8%で最も高くなっています。次いで「3歳」が16.7%、「13歳」が12.5%が続いています。

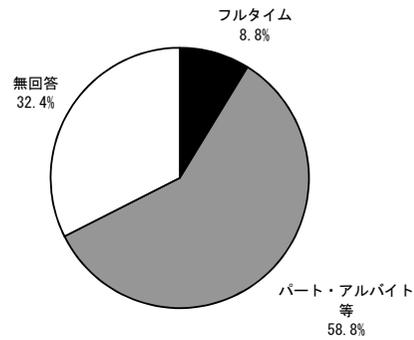
就学前 (SA)



問 1 4 (1) 母親 希望する就労形態 (SA)

「パート・アルバイト等」が58.8%を占めています。

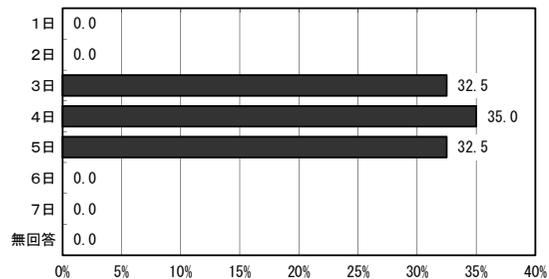
(SA) N=68



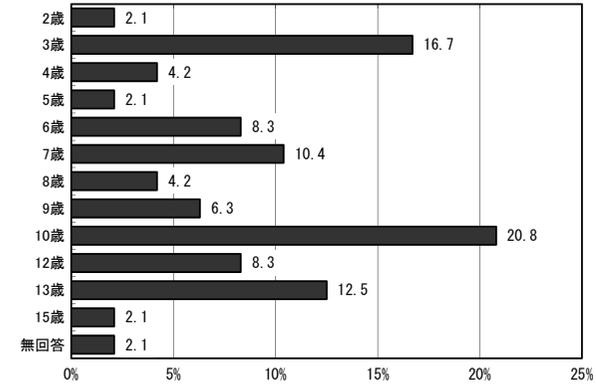
問 1 4 (1) 希望する就労形態 1週あたりの「就労日数」 (SA)

「4日」が35.0%で最も高くなっています。次いで「3日」が32.5%、「5日」が32.5%が続いています。

(SA) N=40



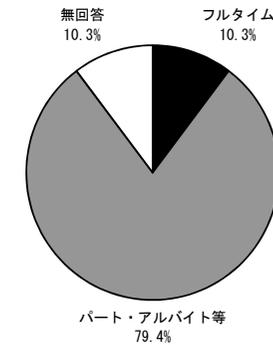
(数量) N=48



問 1 3 (1) 母親 希望する就労形態 (SA)

「パート・アルバイト等」が79.4%を占めています。

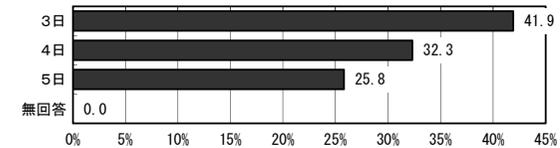
(SA) N=39



問 1 3 (1) 希望する就労形態 1週あたりの「就労日数」 (SA)

「3日」が41.9%で最も高くなっています。次いで「4日」が32.3%、「5日」が25.8%が続いています。

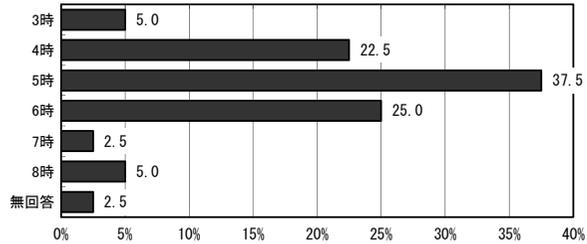
(SA) N=31



問 1 4 (1) 希望する就労形態 1日あたりの「就労時間」(数量)

「5時」が4.3%で突出しています。「6時」が2.4%、「4時」が2.2%が続いています。

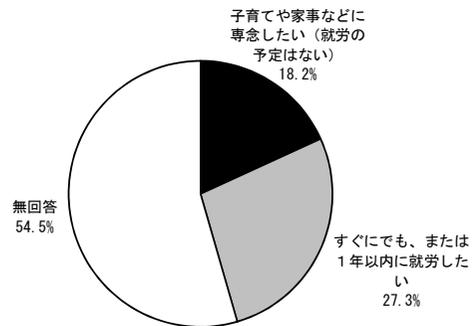
(数量) N=40



問 1 4 就労希望 (2) 父親 (SA)

「すぐにも、または1年以内に就労したい」が27.3%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が18.2%となっています。

(SA) N=11



問 1 4 (2) 補足 大きくなった子どもの年齢(数量)

回答者はありません。

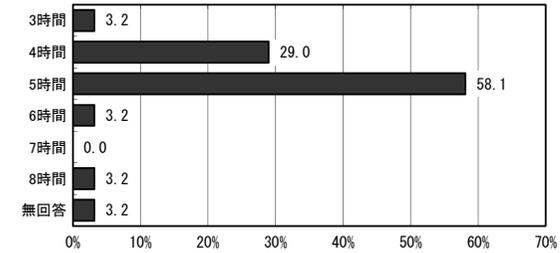
問 1 4 (2) 父親 希望する就労形態 (SA)

「フルタイム」が66.7%を占めています。

問 1 3 (1) 希望する就労形態 1日あたりの「就労時間」(数量)

「5時間」が58.1%で突出しています。「4時間」が29.0%、「3時間」が3.2%が続いています。

(数量) N=31



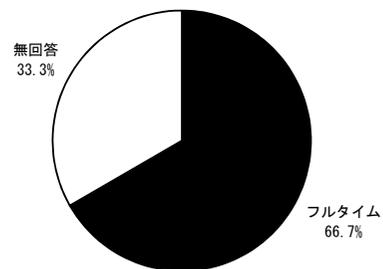
問 1 3 就労希望 (2) 父親 (SA)

「すぐにも、または1年以内に就労したい」に1名の回答があります。(N=5)

問 1 3 (2) 父親 希望する就労形態 (SA)

「フルタイム」に1名の回答のみとなっています。

(SA) N=3



問 1 4 (2) 希望する就労形態 1週あたりの「就労日数」 (SA)

回答者はありません。

問 1 4 (2) 希望する就労形態 1日あたりの「就労時間」 (数量)

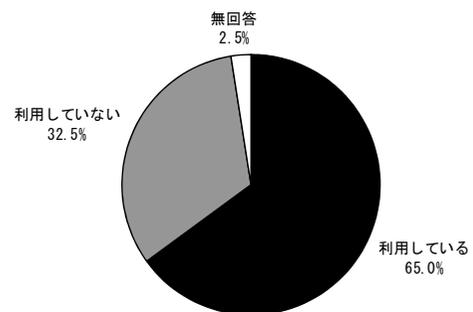
回答者はありません。

平日の幼稚園や保育所などの利用状況について

問 1 5 あて名のお子さんは、日頃、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育のサービス」を利用していますか。(SA)

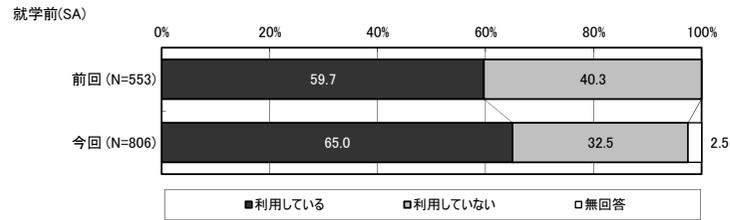
「利用している」が 65.0%を占めています。

(SA) N=806



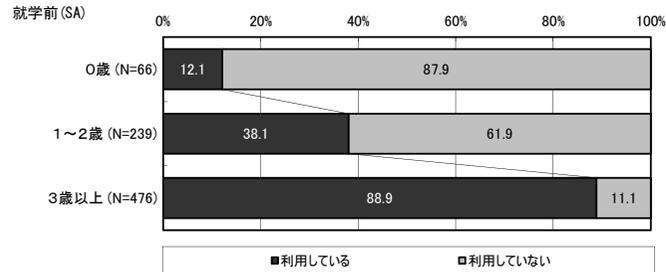
問15 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「利用している」が高くなっており、「利用していない」が低くなっています。



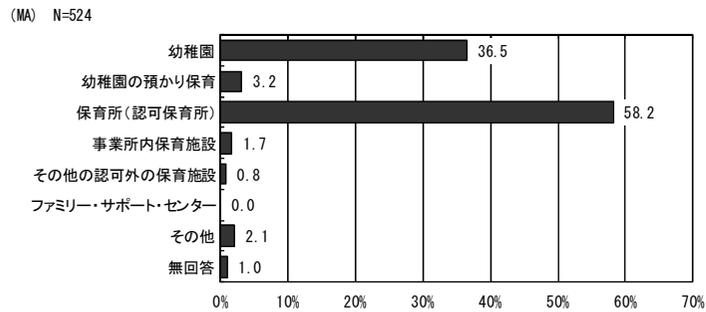
【問15 サービスの利用】 × 【問2 年齢】

“3歳以上”では、「利用している」が88.9%を占めています。



問15-1 あて名のお子さんは、現在、どのような教育・保育のサービスを利用していますか。(MA)

「保育所（認可保育所）」が58.2%で最も高くなっています。次いで「幼稚園」が36.5%が続いています。

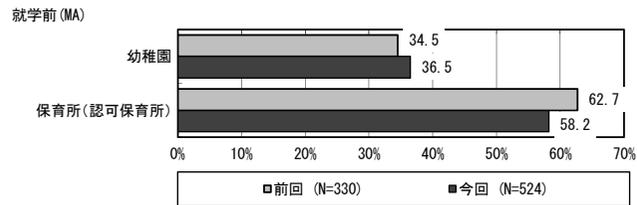


問15-1 その他の内容

幼稚園未就園児クラス	幼稚園の園開放
小学校ことばの教室	など

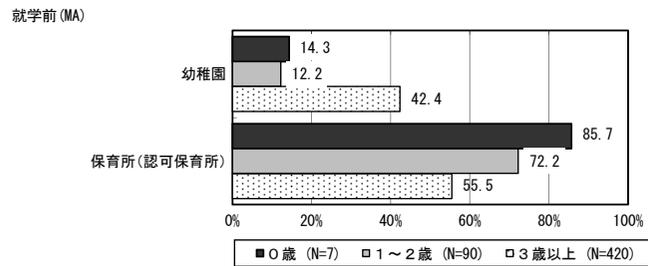
問15-1 【前回（平成21年）結果との比較（一部抜粋）】

前回に比べて今回は、「幼稚園」が高くなっており、「保育所」が低くなっています。



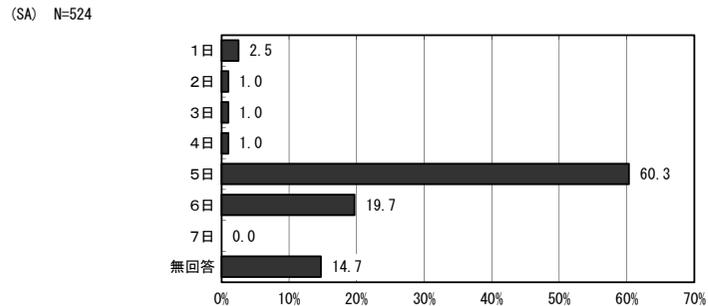
【問15-1 サービスの内容】 × 【問2 年齢】（一部抜粋）

子どもの年齢が高いほど、「保育所（認可保育所）」が低くなっています。



問15-2 (1) 現在 利用している、教育・保育のサービス。 1週あたり (SA)

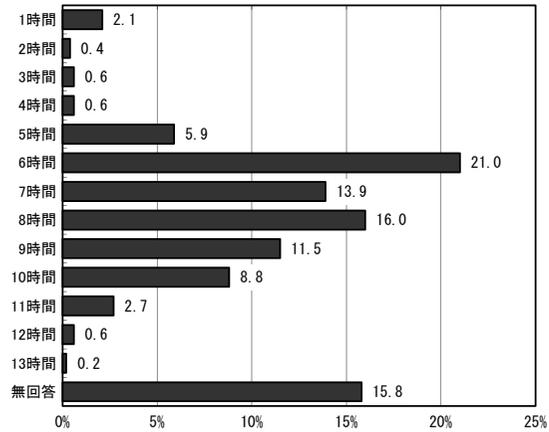
「5日」が60.3%で突出しています。「6日」が19.7%が続いています。



問15-2 (1) 現在 利用している、教育・保育のサービス。 1日あたり (数量)

「6時間」が21.0%で最も高くなっています。次いで「8時間」が16.0%、「7時間」が13.9%で続いています。

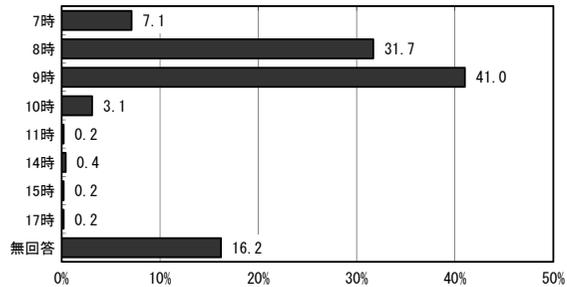
(数量) N=524



問15-2 (1) 現在 利用している、教育・保育のサービス。 開始時間 (数量)

「9時」が41.0%で最も高くなっています。次いで「8時」が31.7%、「7時」が7.1%が続いています。

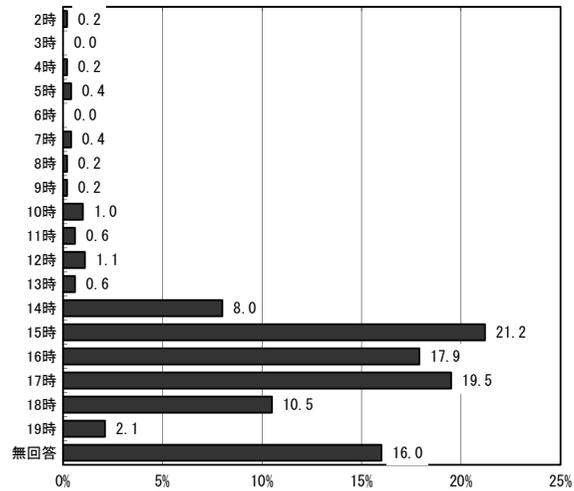
(数量) N=524



問15-2 (1) 現在 利用している、教育・保育のサービス。 終了時間 (数量)

「15時」が21.2%で最も高くなっています。次いで「17時」が19.5%、「16時」が17.9%が続いています。

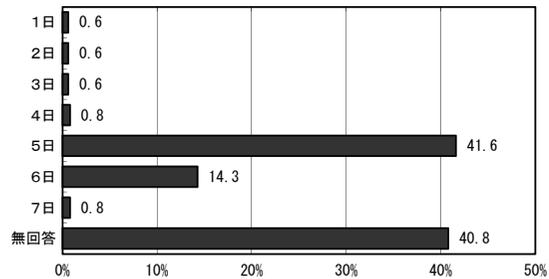
(数量) N=524



問15-2 (2) 希望 利用している、教育・保育のサービス。 1週あたり (SA)

「5日」が41.6%で突出しています。「6日」が14.3%が続いています。

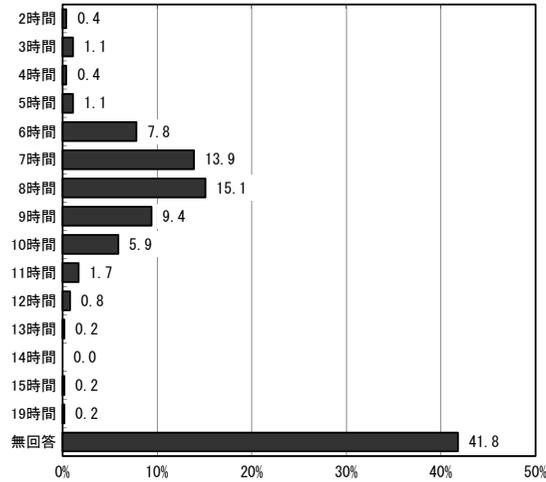
(SA) N=524



問15-2 (2) 希望 利用している、教育・保育のサービス。 1日あたり(数量)

「8時間」が15.1%で最も高くなっています。次いで「7時間」が13.9%、「9時間」が9.4%が続いています。

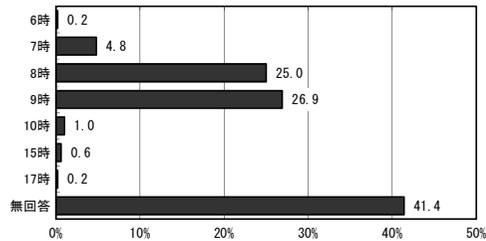
(数量) N=524



問15-2 (2) 希望 利用している、教育・保育のサービス。 開始時間(数量)

「9時」が26.9%、「8時」が25.0%で群を抜いて高くなっています。「7時」が4.8%が続いています。

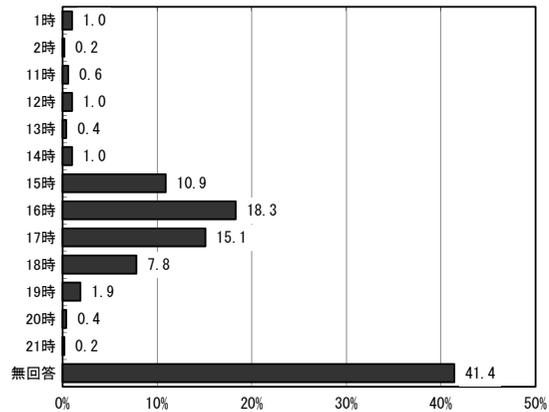
(数量) N=524



問15-2 (2) 希望 利用している、教育・保育のサービス。 終了時間(数量)

「16時」が18.3%で最も高くなっています。次いで「17時」が15.1%、「15時」が10.9%が続いています。

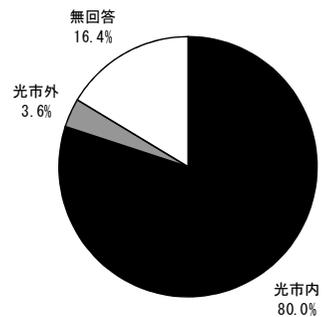
(数量) N=524



問15-3 現在、利用している教育・保育サービスの実施場所はどこですか。(SA)

「光市内」が80.0%を占めています。

(SA) N=524



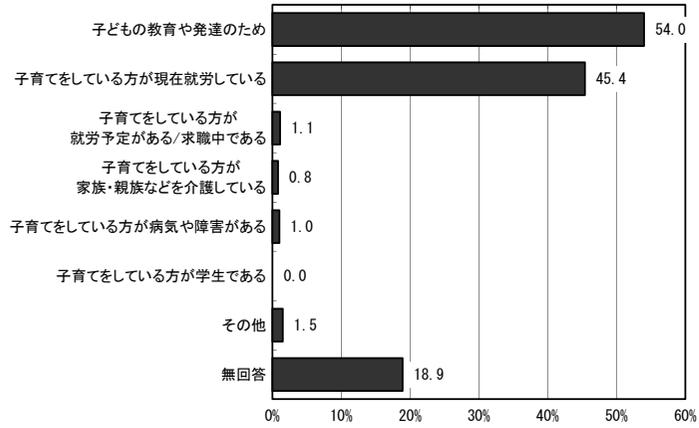
**問15-3 光市外の内容**

周南市	下松市
田布施町	

問15-4 教育・保育のサービスを利用している理由をお答えください。(MA)

「子どもの教育や発達のため」が54.0%で最も高くなっています。次いで「子育て(家庭での教育を含む)をしている方が現在就労している」が45.4%、で続いています。

(MA) N=524



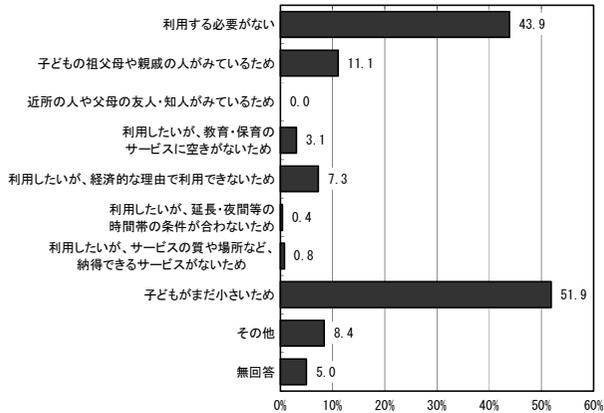
**問15-4 その他の内容**

出産・育児のため  
お互いのため

問15-5 教育・保育のサービスを利用していない理由をお答えください。(MA)

「子どもがまだ小さいため」が51.9%で最も高くなっています。次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が43.9%、「子どもの祖父母や親戚の人がみているため」が11.1%で続いています。

(MA) N=262



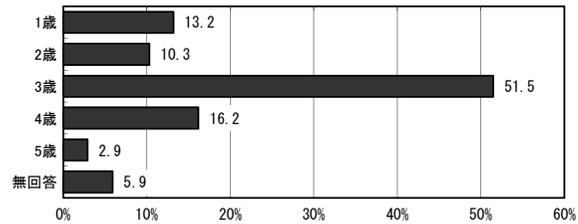
### 問15-5 その他の内容

妊娠中のため	3
2年保育を利用したいと考えている	3
育休中のため	
自分でみられるので	
託児所に預けている	
自営のため会社でみている	
など	

### 問15-5 補足 大きくなった子どもの年齢（数量）

「3歳」が51.5%で突出しています。「4歳」が16.2%、「1歳」が13.2%が続いています。

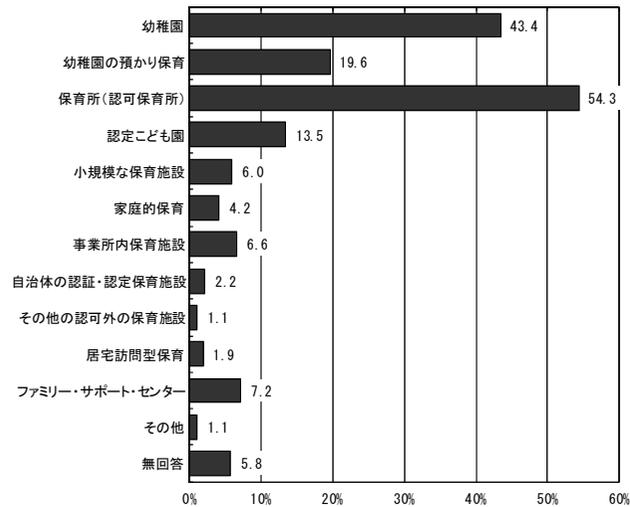
(数量) N=136



### 問16 平日の教育・保育のサービスとして、「定期的に」利用したいサービスをお答えください。(MA)

「保育所（認可保育所）」が54.3%で最も高くなっています。次いで「幼稚園」が43.4%、「幼稚園の預かり保育」が19.6%が続いています。

(MA) N=806



**問16 その他の内容**

こびのおうちえん

公立幼稚園を利用したいが通園区域外に住んでおり利用できない。

夏休み等長期休みの時に預けられるところ

保育者の人格が良く、子供に良い影響を与えてくれるところ

【問16 希望のサービス】 × 【問2 年齢】 (一部抜粋)

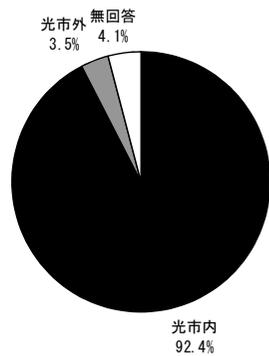
子どもの年齢が高いほど、「保育所（認可保育所）」が低くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の預かり保育	保育所(認可保育所)	認定こども園
合計	754 100.0	348 46.2	157 20.8	436 57.8	108 14.3
0歳	66 100.0	30 45.5	12 18.2	49 74.2	14 21.2
1~2歳	228 100.0	100 43.9	38 16.7	141 61.8	36 15.8
3歳以上	460 100.0	218 47.4	107 23.3	246 53.5	58 12.6

問16-1 教育・保育サービスを利用したい場所はどこですか。(SA)

「光市内」が92.4%を占めています。

(SA) N=806



**問16-1 光市外の内容**

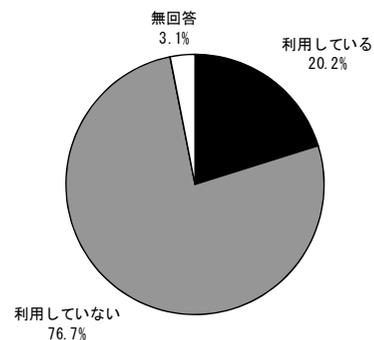
田布施町	下松市
周南市	県外
平生町	

地域の子育て支援事業の利用状況について

問17 あて名のおさんは、現在、光市子育て支援センター「チャイベビステーション」を利用していますか。(SA)

「利用していない」が76.7%を占めています。

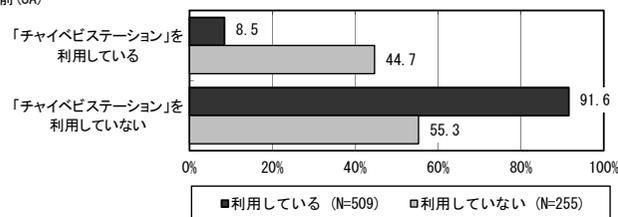
(SA) N=806



【問17 チャイベビステーションの利用】 × 【問15 サービスの利用】  
(一部抜粋)

サービスを「利用していない」では、「チャイベビステーションを利用している」が44.7%となっています。

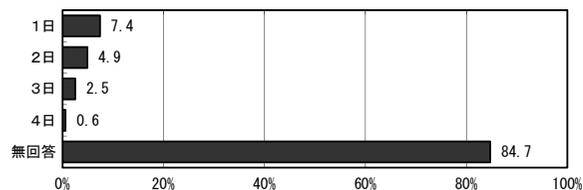
就学前(SA)



問17 光市子育て支援センター「チャイベビステーション」の利用 1週あたり (SA)

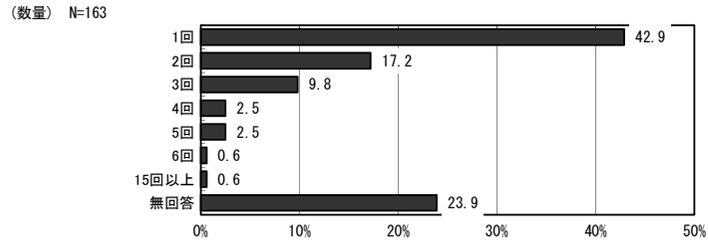
「1日」が7.4%で最も高くなっています。次いで「2日」が4.9%、「3日」が2.5%が続いています。

(SA) N=163



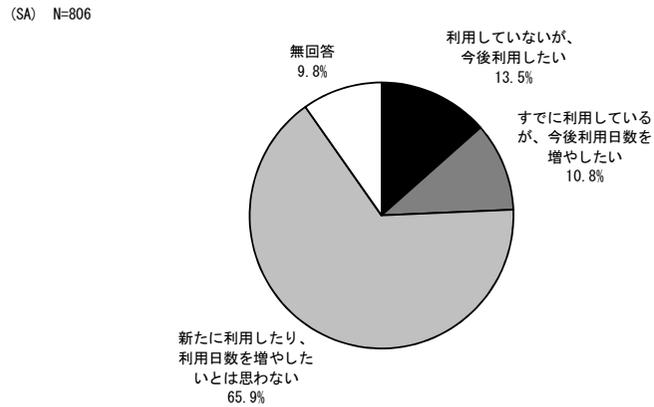
問17 光市子育て支援センター「チャイベビステーション」の利用 1ヶ月あたり（数量）

「1回」が42.9%で突出しています。「2回」が17.2%、「3回」が9.8%が続いています。



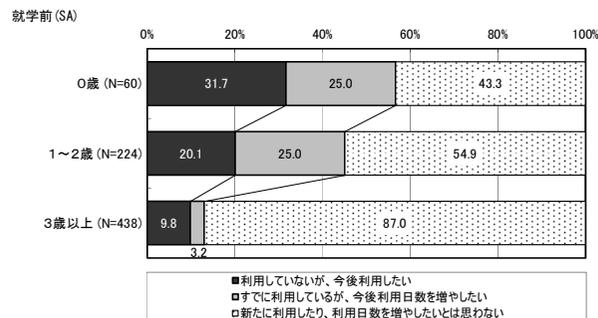
問18 光市子育て支援センター「チャイベビステーション」を今は利用していないが、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(SA)

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が65.9%を占めています。



【問18 チャイベビステーションの利用希望】 × 【問2 年齢】

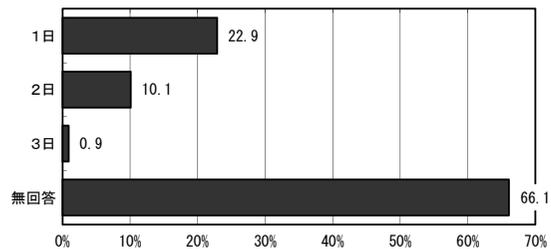
子どもの年齢が高いほど、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が高くなっていきます。



問18 利用していないが、今後利用したい。 1週あたり (SA)

「1日」が22.9%で最も高くなっています。「2日」が10.1%が続いています。

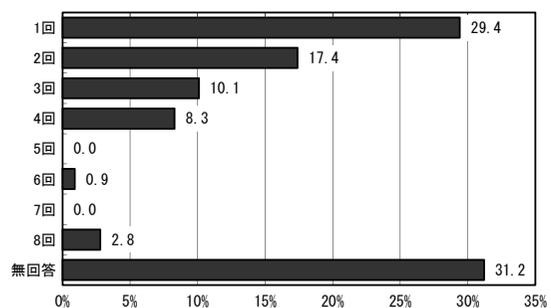
(SA) N=109



問18 利用していないが、今後利用したい。 1ヶ月あたり (数量)

「1回」が29.4%で最も高くなっています。「2回」が17.4%、「3回」が10.1%が続いています。

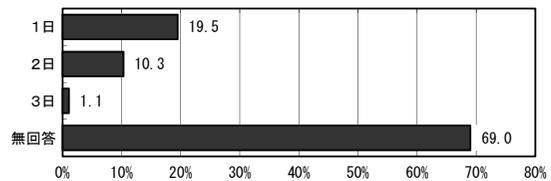
(数量) N=109



問18 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい。 1週あたり (SA)

「1日」が19.5%で最も高くなっています。「2日」が10.3%が続いています。

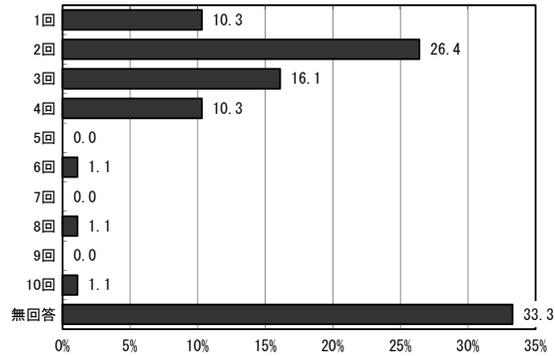
(SA) N=87



問18 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい。 1ヶ月あたり（数量）

「2回」が26.4%で最も高くなっています。「3回」が16.1%続いています。

（数量） N=87



問19 サービスについて

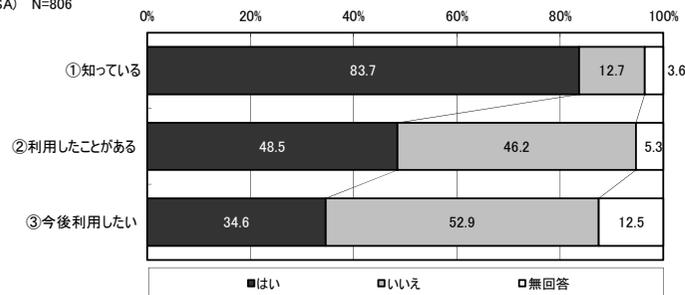
1. 母親教室、家族学級（SA）

“①知っている”では「はい」が83.7%を占めています。

“②利用したことがある”では「はい」が5割をきっています。

“③今後利用したい”では「はい」が34.6%となっています。

（SA） N=806

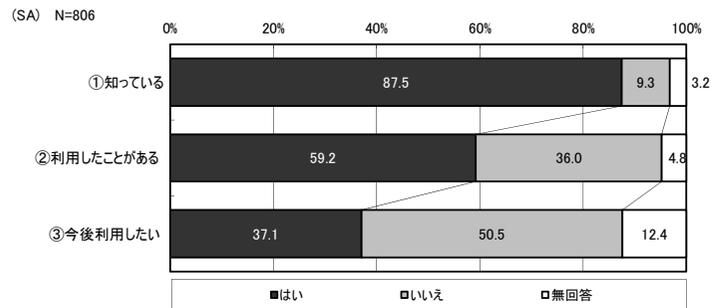


2. 保健師などの家庭訪問（SA）

“①知っている”では「はい」が87.5%を占めています。

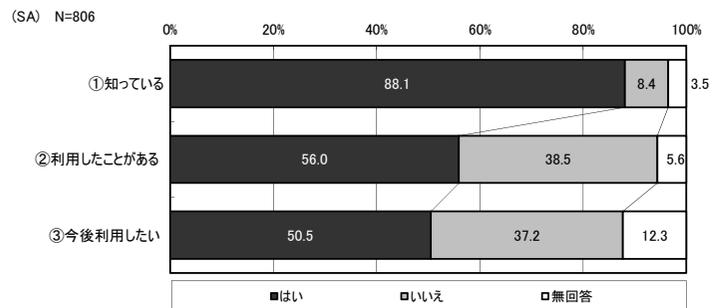
“②利用したことがある”では「はい」が59.2%となっています。

“③今後利用したい”では「はい」が37.1%となっています。



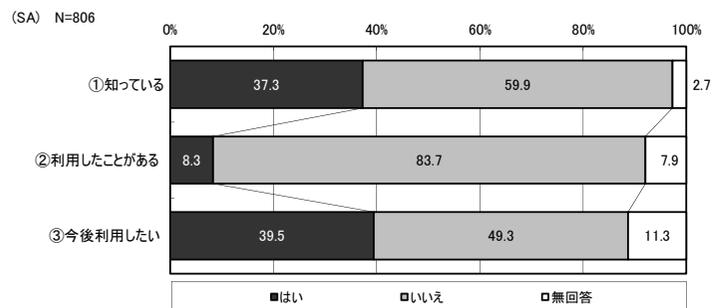
### 3. 保育所や幼稚園の園庭等の開放 (SA)

“①知っている”では「はい」が88.1%を占めています。  
 “②利用したことがある”では「はい」が56.0%となっています。  
 “③今後利用したい”では「はい」が過半数を超えています。



### 4. わかば児童館 (SA)

“①知っている”では「はい」が37.3%となっています。  
 “②利用したことがある”では「はい」が1割をきっています。  
 “③今後利用したい”では「はい」が4割近くを占めています。

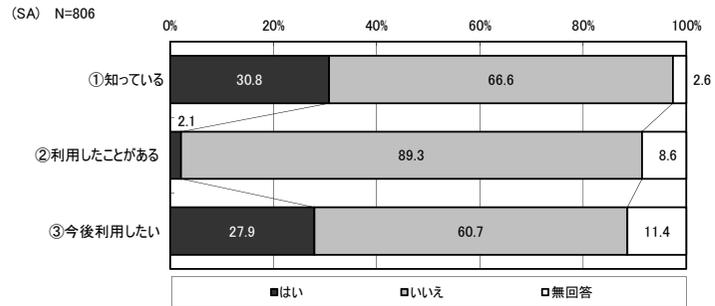


### 5. ショートステイ・トワイライトステイ (SA)

“①知っている”では「はい」が3割程度となっています。

“②利用したことがある”では「いいえ」が9割近くとなっています。

“③今後利用したい”では「はい」が3割をきっています。

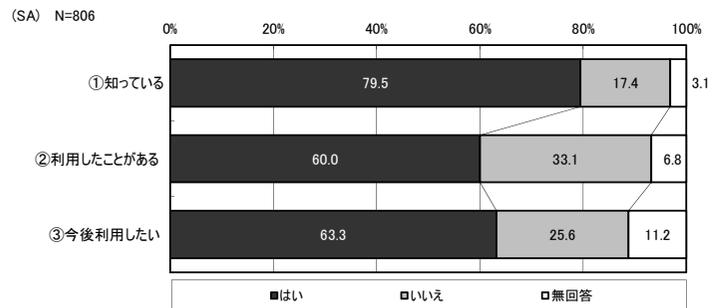


### 6. 光市が発行している子育て情報誌 (SA)

“①知っている”では「はい」が8割近くを占めています。

“②利用したことがある”では「はい」が6割となっています。

“③今後利用したい”では「はい」が6割以上となっています。

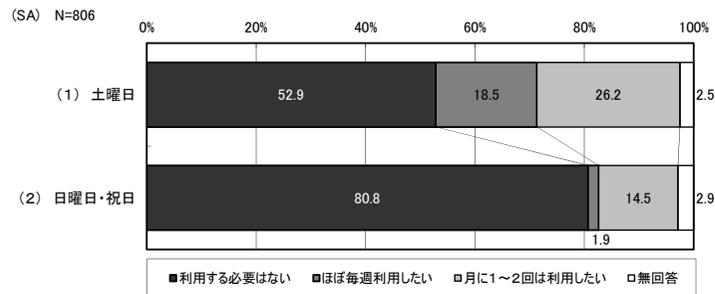


土曜・休日や長期休暇中の幼稚園や保育所などの利用状況について

#### 問20 教育・保育のサービスの利用希望 (SA)

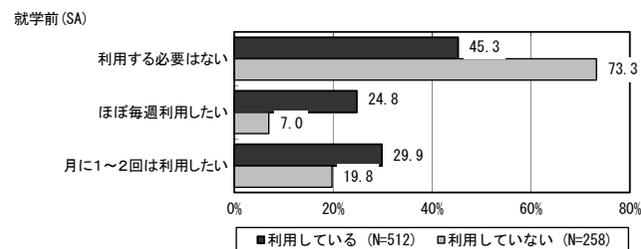
“（1）土曜日”では「利用する必要はない」が52.9%を占めています。

“（2）日曜日・祝日”では「利用する必要はない」が8割以上を占めています。



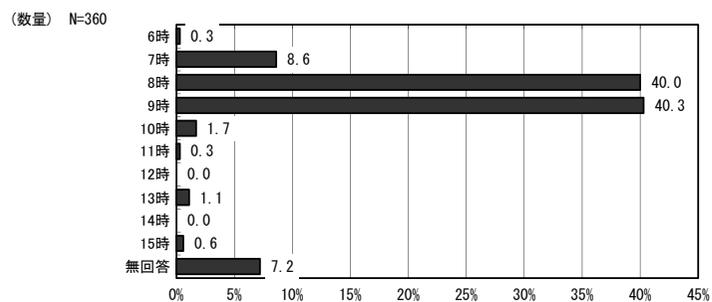
【問20(1) 土曜日のサービス利用希望】 × 【問15 サービス利用】

サービスを“利用している”方は、比較的、土曜日のサービス利用希望が高くなっています。



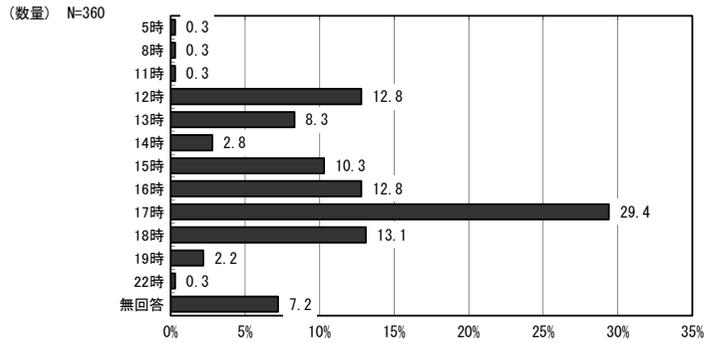
問20(1) 土曜日 開始時間(数量)

「9時」が40.3%、「8時」が40.0%で群を抜いて高くなっています。「7時」が8.6%が続いています。



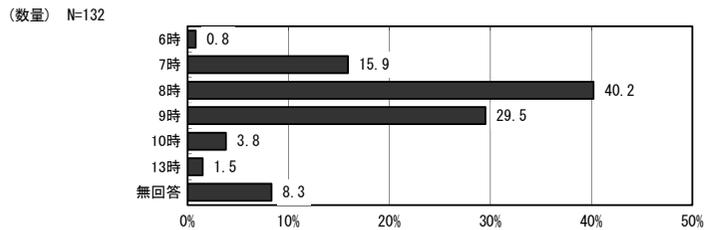
問20(1) 土曜日 終了時間(数量)

「17時」が29.4%で突出しています。



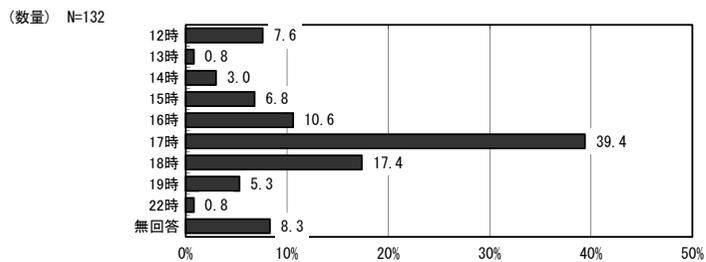
問20 (2) 日曜日・祝日 開始時間 (数量)

「8時」が40.2%で最も高くなっています。次いで「9時」が29.5%、「7時」が15.9%が続いています。



問20 (2) 日曜日・祝日 終了時間 (数量)

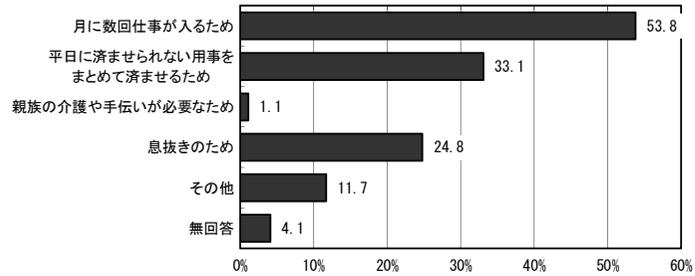
「17時」が39.4%で突出しています。「18時」が17.4%、「16時」が10.6%が続いています。



問20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(MA)

「月に数回仕事が入るため」が53.8%で最も高くなっています。次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が33.1%、「息抜きのため」が24.8%が続いています。

(MA) N=266



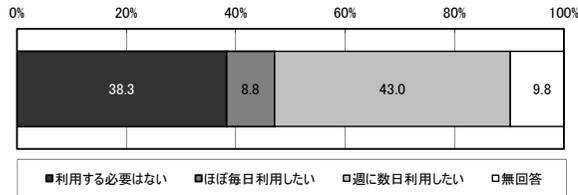
### 問20-1 その他の内容

仕事で忙しいため	9	育児にストレスを感じるため
兄弟姉妹の行事や習い事のため	8	人が足りない時に出てあげたいから
子どもの希望	5	他の子供を病院に連れて行くため
子どもをつれて行けない用事	2	出産のため
上の子と遊んであげたい	2	家人が病気で休息が必要なため
家族の協力があるため		仕事を始めたいと思っているので
試験、資格、受験や勉強のため		子供と同年齢の子が近所にいないため

問21 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育のサービス利用を希望しますか。(SA)

「週に数日利用したい」が43.0%で最も高く、次いで「利用する必要はない」が38.3%となっています。

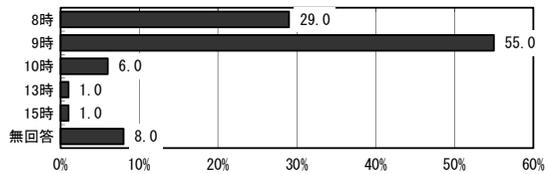
(SA) N=193



問21 利用したい時間帯 開始時間 (数量)

「9時」が55.0%で突出しています。「8時」が29.0%、「10時」が6.0%が続いています。

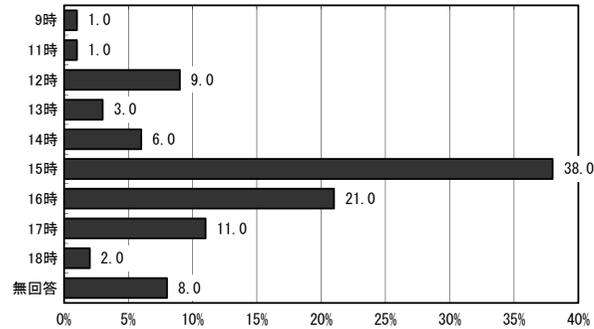
(数量) N=100



問21 利用したい時間帯 終了時間 (数量)

「15時」が38.0%で最も高くなっています。次いで「16時」が21.0%、「17時」が11.0%が続いています。

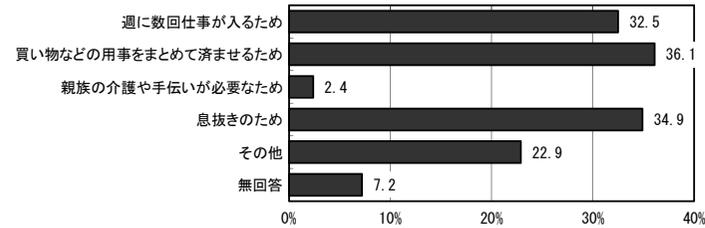
(数量) N=100



問21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(MA)

「買い物などの用事をまとめて済ませるため」が36.1%で最も高くなっています。次いで「息抜きのため」が34.9%、「週に数回仕事が入るため」が32.5%が続いています。

(MA) N=83



問21-1 その他の内容

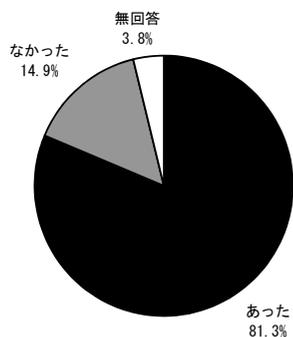
子どもがお友達と遊ぶ為	10
子供の生活リズムが大きく崩れないようにするため	3
仕事があるため	3
仕事を始めたいと思っているため	3
育児にストレスを感じるため	
子供の長期の休み中は祖父母に見てもらっているが、毎日だと祖父母も疲れてしまう。祖父母の事を考えるとたまに利用できると助かるため	
休み期間中はクラスわけではなく、縦割り保育なのでいろんな子とふれあえるため	

お子さんの病気の際の対応について

問 2 2 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、保育園や幼稚園などの教育・保育のサービスを休まれたことはありますか。(SA)

「あった」が81.3%を占めています。

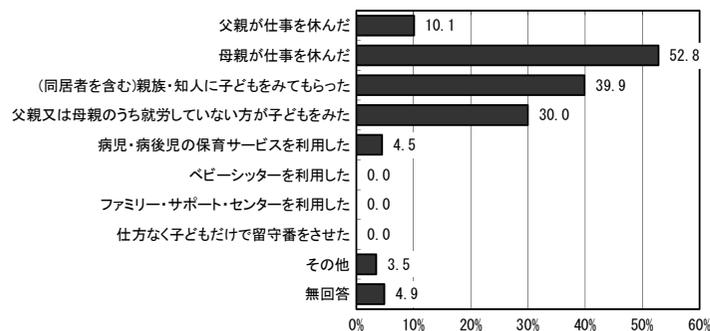
(SA) N=524



問 2 2 - 1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は、おおむね何日ですか。(MA)

「母親が仕事を休んだ」が52.8%で最も高くなっています。次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が39.9%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が30.0%で続いています。

(MA) N=426



問 2 2 - 1 その他の内容

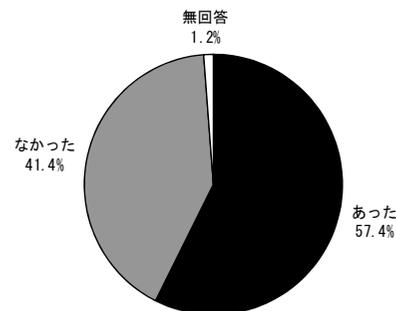
祖父母がみる	5	子供を連れて仕事に出た
兄、姉と留守番		

お子さんの病気の際の対応について

問 1 4 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、小学校を休まれたことはありますか。(SA)

「あった」が57.4%を占めています。

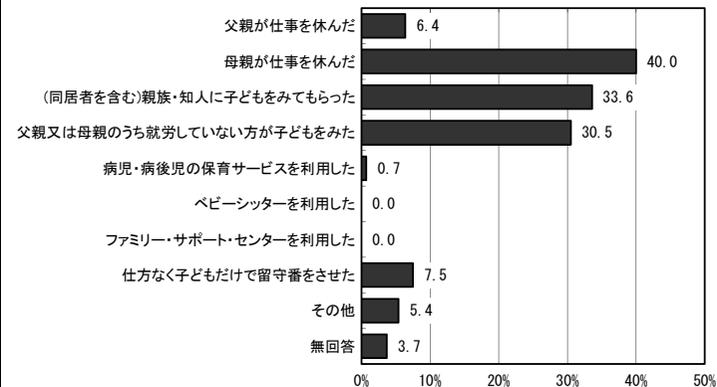
(SA) N=514



問 1 4 - 1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は、おおむね何日ですか。(MA)

「母親が仕事を休んだ」が40.0%で最も高くなっています。次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が33.6%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が30.5%で続いています。

(MA) N=295



問 1 4 - 1 その他の内容

仕事の日ではなかった	4
祖父母に預けた	2
父親が自営など仕事場と家と一緒になので仕事の合間に様子をみる	2
仕事を半日で切り上げさせてもらった	
休むのに合わせて公休を調整した	

【問22-1 病気やケガのときの対処法】 × 【問2 年齢】 (一部抜粋)

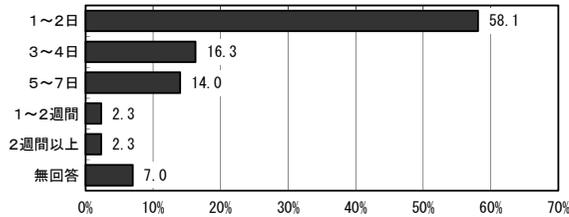
“3歳以上”では、「母親が仕事を休んだ」が50.0%となっています。また、“1～2歳”では「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が比較的高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	父親が仕事を休んだ	母親が仕事を休んだ	同居者を含む親族・知人に子どもをみてもらった	就労していない方が子どもをみた	父親又は母親のうち
合計	410 100.0	43 10.5	229 55.9	175 42.7		128 31.2
0歳	6 100.0	3 50.0	5 83.3	2 33.3		2 33.3
1～2歳	74 100.0	8 10.8	59 79.7	44 59.5		8 10.8
3歳以上	330 100.0	32 9.7	165 50.0	129 39.1		118 35.8

問22-1 父親が仕事を休んだ 日数 (数量)

「1～2日」が58.1%で突出しています。「3～4日」が16.3%、「5～7日」が14.0%が続いています。

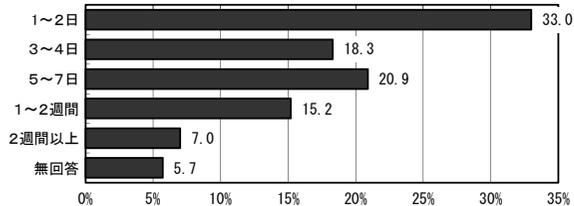
(数量) N=43



問22-1 母親が仕事を休んだ 日数 (数量)

「1～2日」が33.0%で最も高くなっています。次いで「5～7日」が20.9%、「3～4日」が18.3%が続いています。

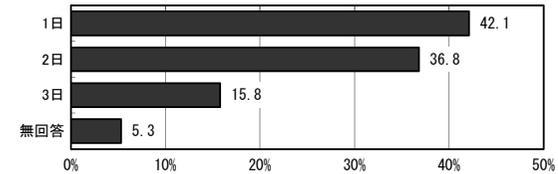
(数量) N=230



問14-1 父親が仕事を休んだ 日数 (数量)

「1日」が42.1%で最も高くなっています。次いで「2日」が36.8%、「3日」が15.8%が続いています。

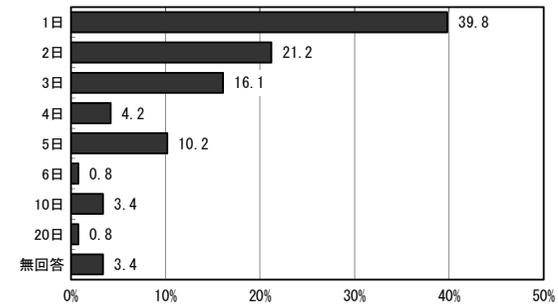
(数量) N=19



問14-1 母親が仕事を休んだ 日数 (数量)

「1日」が39.8%で突出しています。「2日」が21.2%、「3日」が16.1%が続いています。

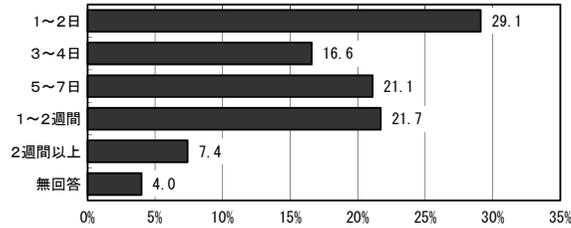
(数量) N=118



問22-1 親族・知人に子どもをみてもらった 日数 (数量)

「1～2日」が29.1%で最も高くなっています。次いで「1～2週間」が21.7%、「5～7日」が21.1%で続いています。

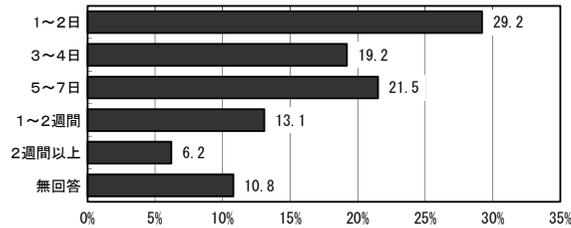
(数量) N=175



問22-1 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた 日数 (数量)

「1～2日」が29.2%で最も高くなっています。次いで「5～7日」が21.5%、「3～4日」が19.2%で続いています。

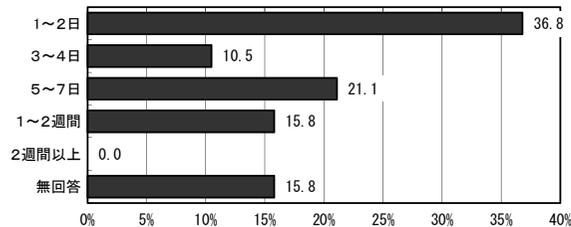
(数量) N=130



問22-1 病児・病後児の保育サービスを利用した 日数 (数量)

「1～2日」が36.8%で突出しています。「5～7日」が21.1%、「1～2週間」が15.8%で続いています。

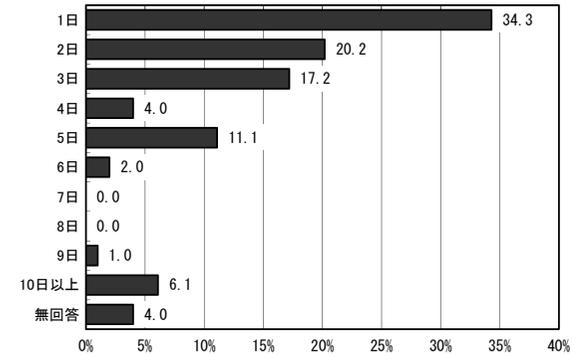
(数量) N=19



問14-1 親族・知人に子どもをみてもらった 日数 (数量)

「1日」が34.3%で突出しています。「2日」が20.2%、「3日」が17.2%で続いています。

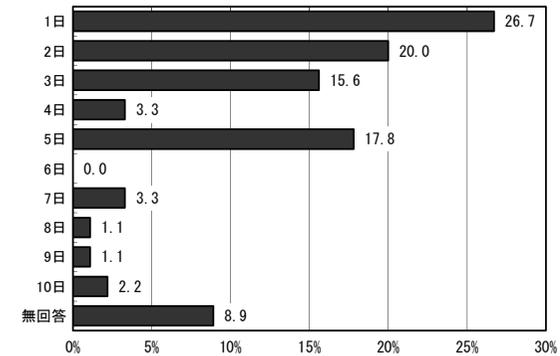
(数量) N=99



問14-1 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた 日数 (数量)

「1日」が26.7%で最も高くなっています。次いで「2日」が20.0%、「5日」が17.8%で続いています。

(数量) N=90



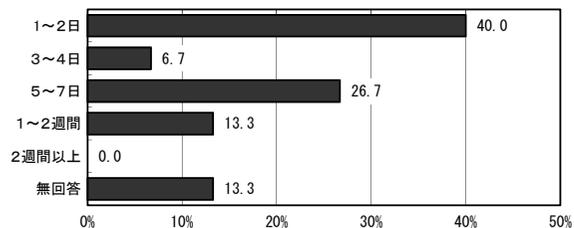
問14-1 病児・病後児の保育サービスを利用した 日数 (数量)

「2日」に1人の回答があります。(N=2)

問 2 2 - 1 その他 日数 (数量)

「1～2日」が40.0%で最も高くなっています。次いで「5～7日」が26.7%、「1～2週間」が13.3%で続いています。

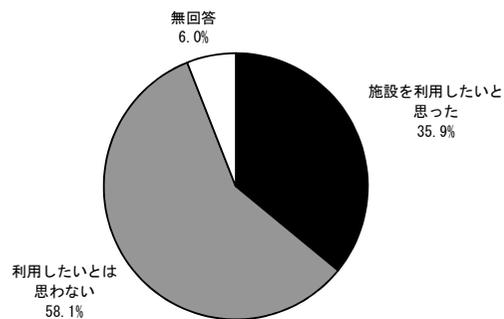
(数量) N=15



問 2 2 - 2 できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思った日数はどれくらいありますか。(SA)

「利用したいとは思わない」が58.1%を占めています。

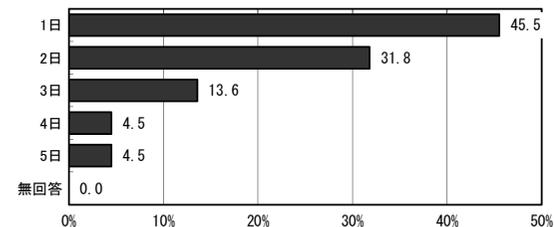
(SA) N=234



問 1 4 - 1 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 日数 (数量)

「1日」が45.5%で最も高くなっています。次いで「2日」が31.8%、「3日」が13.6%が続いています。

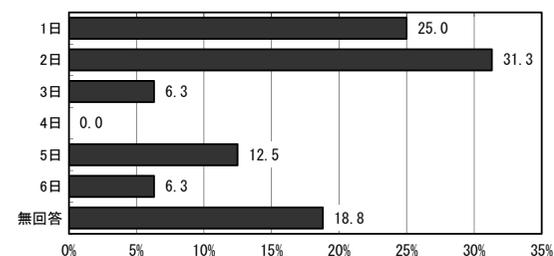
(数量) N=22



問 1 4 - 1 その他 日数 (数量)

「2日」が31.3%で最も高くなっています。次いで「1日」が25.0%、「5日」が12.5%が続いています。

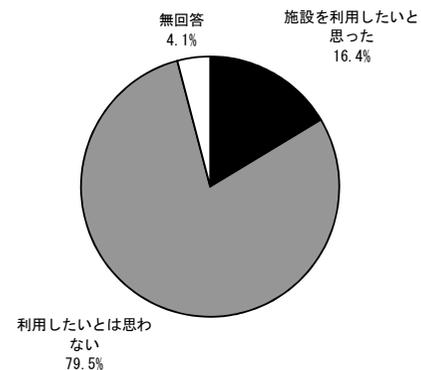
(数量) N=16



問 1 4 - 2 できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思った日数はどれくらいありますか。(SA)

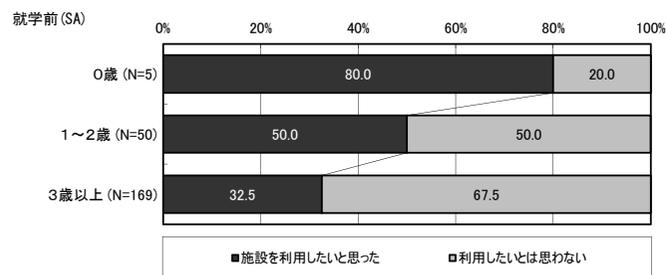
「利用したいとは思わない」が79.5%を占めています。

(SA) N=122



【問22-2 病児・病後児のための施設利用】 × 【問2 年齢】

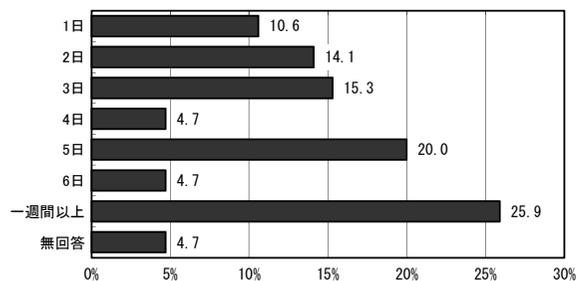
年齢が高いほど、「施設を利用したいと思った」が低くなっています。



問22-2 利用したいと思った日数 (数量)

「一週間以上」が25.9%で最も高くなっています。次いで「5日」が20.0%、「3日」が15.3%が続いています。

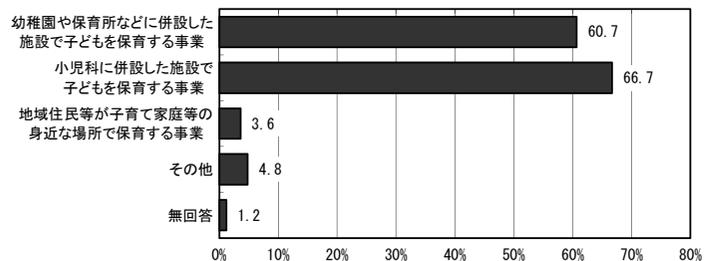
(数量) N=85



問22-3 病気やケガでお子さんを預ける場合、どのような形態が望ましいと思われますか。(MA)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が66.7%で最も高くなっています。次いで「幼稚園や保育所などに併設した施設で子どもを保育する事業」が60.7%が続いています。

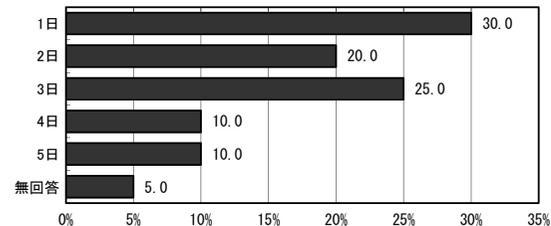
(MA) N=84



問14-2 利用したいと思った日数 (数量)

「1日」が30.0%で最も高くなっています。次いで「3日」が25.0%、「2日」が20.0%が続いています。

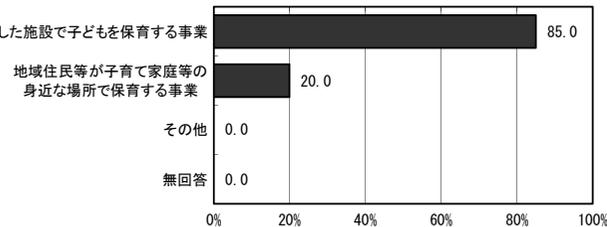
(数量) N=20



問14-3 病気やケガでお子さんを預ける場合、どのような形態が望ましいと思われますか。(MA)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が85.0%で突出しています。「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が20.0%が続いています。

(MA) N=20

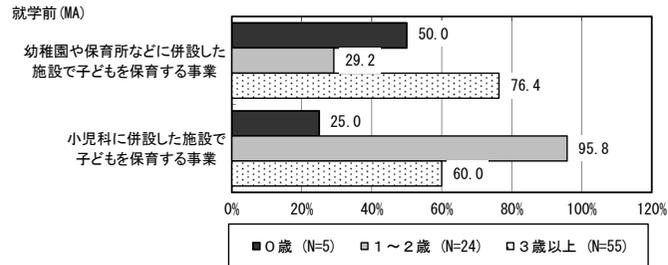


**問22-3 その他の内容**

職場内の病児保育  
 小児科などに併設されていると安心  
 光市内の小児科、現在市内でやってないので困る

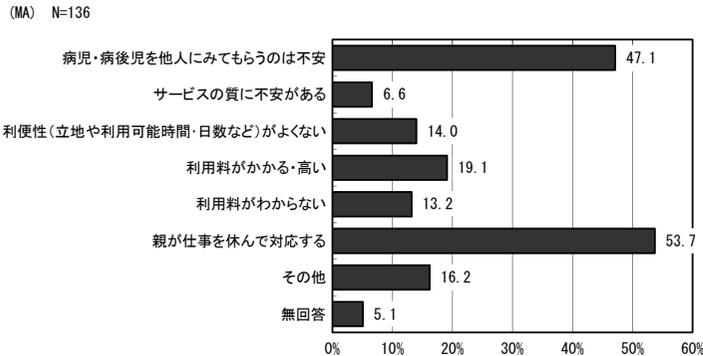
**【問22-3 病児・病後児預かりの希望形態】 × 【問2 年齢】 (一部抜粋)**

“1～2歳”では、他の年齢と違い「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が高くなっています。



**問22-4 「利用したいと思わない」理由は何ですか。(MA)**

「親が仕事を休んで対応する」が53.7%で最も高くなっています。次いで「病児・病後児を他人にみってもらうのは不安」が47.1%で続いています。

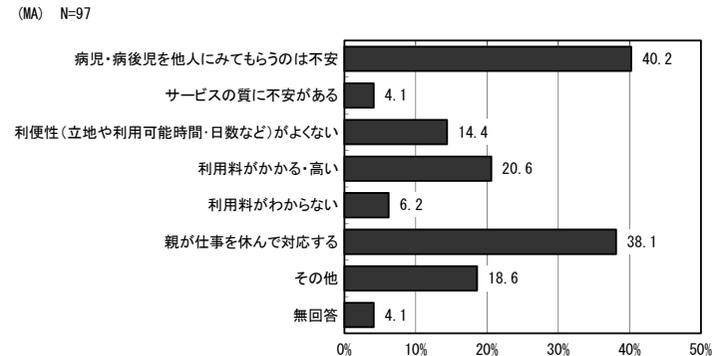


**問22-4 その他の内容**

仕事をしていないので自分でみれる	8
祖父母が対応してくれる	7
手続き、支度などが面倒	2
今のところ親が交替で看れるので	
開始時間が遅く仕事に間に合わない	
子供が安心して過ごせる方がよい	
子供がかわいそう	

**問14-4 「利用したいと思わない」理由は何ですか。(MA)**

「病児・病後児を他人にみってもらうのは不安」が40.2%、「親が仕事を休んで対応する」が38.1%で群を抜いて高くなっています。「利用料がかかる・高い」が20.6%で続いています。



**問14-4 その他の内容**

赤ちゃんの時利用したがなじまなかった	
親がみるべき	
かかりつけでないといけないなどの制限がある。本人がいきたがらないと思う	
急な対応になる為難しい。どこに頼めばよいか分からない	
子供が安心してできない	
子供がつかうような時においてまで仕事にいけない。自分の親に見てもらえるのは安心できる	
子供が一人で家に居れるので	

サービスを知らなかった
仕事場が理解があり休めるから
自分の仕事に時間的に都合がつけやすい為
場所、内容など無知のため
病気と呼べるほど重症でなく、利用するのは申し訳ない
病気の子と一緒にあって他の病気に感染する恐れがある
病気の時くらいは一緒に居てやりたい。
病気の時に親が看てやれないのは子どもがかわいそう。それより休みやすい企業作りが大切
本人が戸惑うと思う
見てもらえる親族がいるから
親が仕事に連れて行ける

問22-5 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思った日数はどれくらいありますか。(SA)

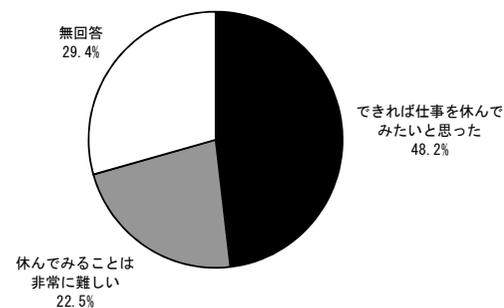
「できれば仕事を休んでみたいと思った日数」に1人が回答しています。

祖父母がいるので
入院したから
必要がなかったから
本人が嫌がる年齢になった

問14-5 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたい」と思った日数はどれくらいありますか。(SA)

「できれば仕事を休んでみたいと思った」が48.2%、「休んでみることは非常に難しい」が22.5%となっています。

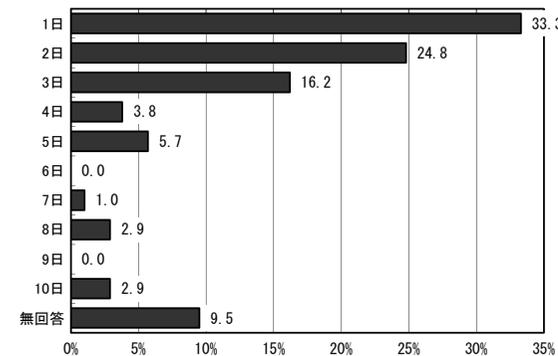
(SA) N=218



問14-5 できれば仕事を休んでみたいと思った日数(数量)

「1日」が33.3%で最も高くなっています。次いで「2日」が24.8%、「3日」が16.2%が続いています。

(数量) N=105



問22-6 「休んでみることは非常に難しい」理由はなんですか。(MA)

回答者はありません。

**問22-6 その他の内容 ※対象外回答者のため参考**

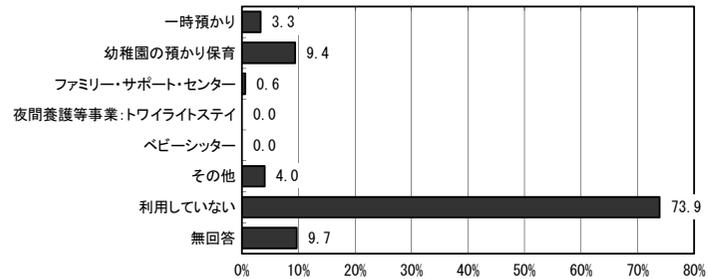
母親が就労していないので父親が休む必要がない
気を遣ってしまう
母親が就労していないので安心して任せている
スタッフが少ないのでギリギリのシフトなので穴を開けられない
職場の人数もギリギリなので休みにくい
緊急が入るので当日の仕事の予定が分からない

**一時預かりなどの利用について**

問23 この1年間で、私用、親の通院、不定期の就労等のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的にみてもらうことはありましたか。(MA)

「利用していない」が73.9%で突出しています。

(MA) N=806



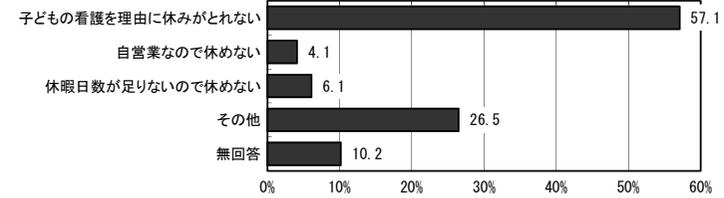
**問23 その他の内容**

祖父母	8
親族	4
友人	2
託児所	2
祖母の友人	
隣人	
柳井フラワーランドの体験教育での無料託児サービス	

問14-6 「休んでみることは非常に難しい」理由はなんですか。(MA)

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が57.1%で突出しています。「その他」が26.5%で続いています。

(MA) N=49



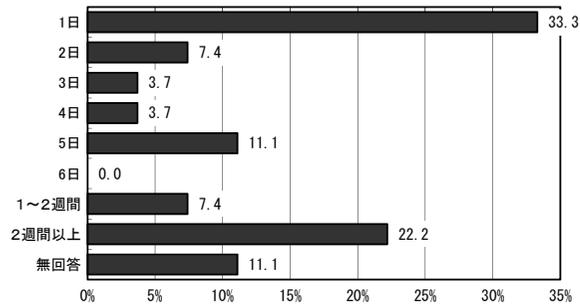
**問14-6 その他の内容**

代わりの人がいない、人員不足などにより休めない	5
いつも祖父母に頼っているのでもできれば仕事を休んでみたいけれど仕事はそうそう休めないしどうしても見てもらえない	
仕事以外ボランティア活動している	
仕事が忙しい	
休むと職場に迷惑	
休むと信用がなくなる気がするのでさけない	

### 問23 一時預かり 日数(数量)

「1日」が33.3%で最も高くなっています。次いで「2週間以上」が22.2%、「5日」が11.1%が続いています。

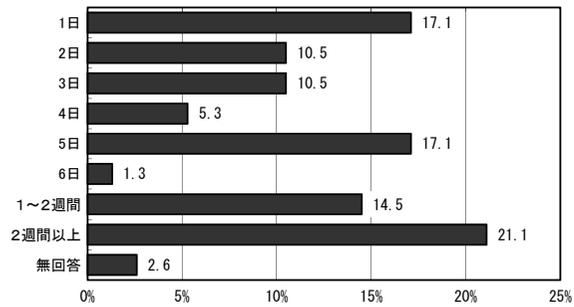
(数量) N=27



### 問23 幼稚園の預かり保育 日数(数量)

「2週間以上」が21.1%で最も高くなっています。次いで「1日」、「5日」が17.1%が続いています。

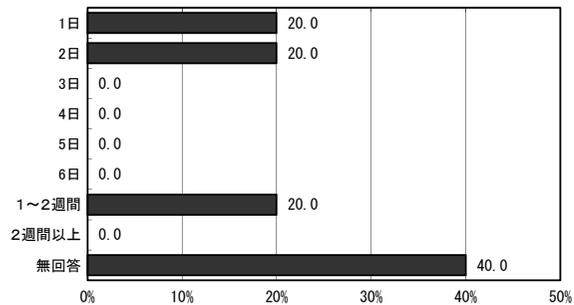
(数量) N=76



### 問23 ファミリー・サポート・センター 日数(数量)

「1日」、「2日」、「1~2週間」が20.0%となっています。

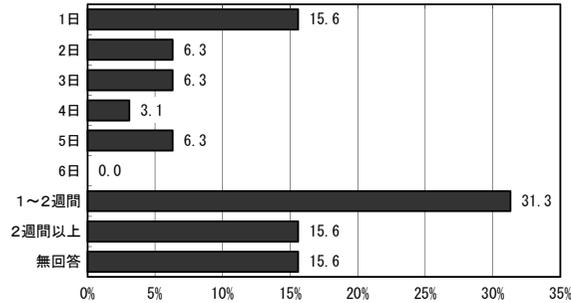
(数量) N=5



問23 その他 日数(数量)

「1～2週間」が31.3%で突出しています。「1日」、「2週間以上」が15.6%が続いています。

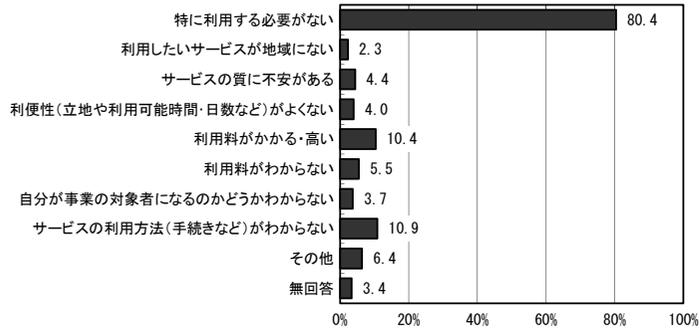
(数量) N=32



問23-1 現在、利用していない理由はなんですか。(MA)

「特に利用する必要がない」が80.4%で突出しています。「サービスの利用方法(手続きなど)がわからない」が10.9%、「利用料がかかる・高い」が10.4%が続いています。

(MA) N=596



問23-1 その他の内容

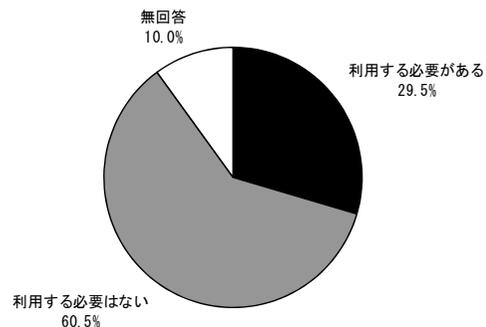
保育園でみてもらう	7
祖父母にみてもらう	8
他人に子供を預けるのが不安	3
ファミサポの初回の顔合わせ等の手続きをする手間がかかりそう。子どもがなつくまで時間がかかりそう。	2
預かってもらえる人がいる	
預ける状況になったことがない	
兄、姉と留守番が出来る	
一時預かりはお願いしてもなかなか預かってもらえない	
今のところ預けなくても何とかなっている	
子供は親がみるものだと考えているため	
自分の通院などではできる限り我慢している	
私用の場合は必ず休みの日。親の通院の場合は連れて行く	

そうまでして働きたくない。子供となるべく一緒に居たい
慣れてないところは本人が不安になりそう
病気をもらってくると困るので
不定期就学でない為
保育園に、家にいる日（休日）はなるべく家庭でといわれたので預けづらい
など

問24 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等のため、年間に何日くらいお子さんを家族以外の誰かに一時的にみてもらう必要があると思いますか。（SA）

「利用する必要はない」が60.5%を占めています。

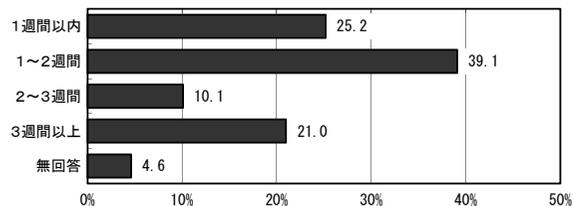
(SA) N=806



問24 年間で利用する日数（数量）

「1～2週間」が39.1%で最も高く、次いで「1週間以内」が25.2%、「3週間以上」が21.0%で続いています。

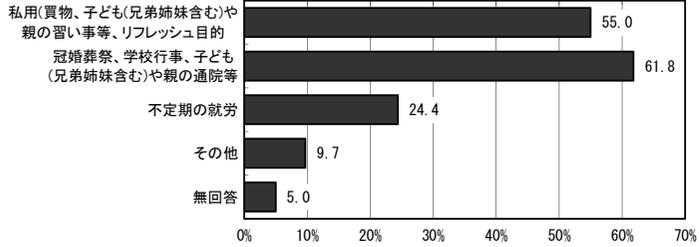
(数量) N=238



問24 利用する理由（MA）

「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹含む)や親の通院 等」が61.8%で最も高くなっています。次いで「私用(買物、子ども(兄弟姉妹含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が55.0%、「不定期の就労」が24.4%で続いています。

(MA) N=238



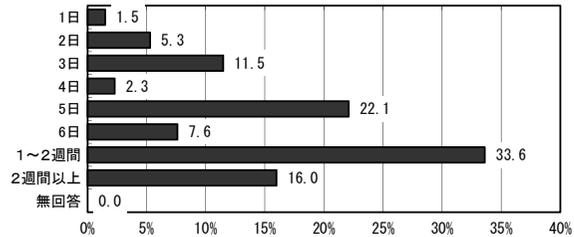
**問 2 4 その他の内容**

病気	6
仕事	6
通院	4
親の勉強会の時	
家事を一気にやってしまいたい時	
祖父母の私用	
銀行、役所、面接など長時間の用事するとき	
など	

**問 2 4 ①私用やリフレッシュ目的 日数 (数量)**

「1～2週間」が33.6%で最も高くなっています。次いで「5日」が22.1%、「2週間以上」が16.0%で続いています。

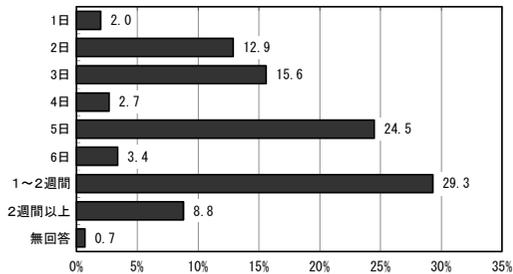
(数量) N=131



**問 2 4 ②冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等 日数 (数量)**

「1～2週間」が29.3%で最も高くなっています。次いで「5日」が24.5%、「3日」が15.6%で続いています。

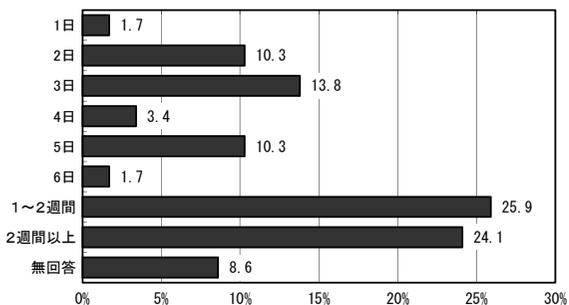
(数量) N=147



問24 ③不定期の就労 日数(数量)

「1～2週間」が25.9%、「2週間以上」が24.1%で群を抜いて高くなっています。「3日」が13.8%で続いています。

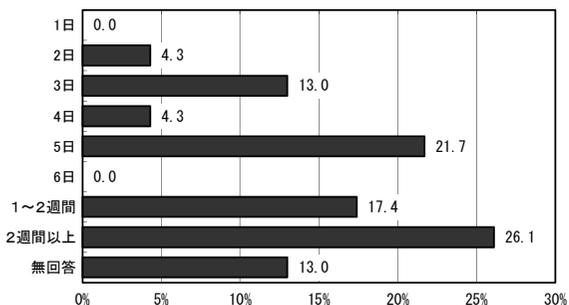
(数量) N=58



問24 ④その他 日数(数量)

「2週間以上」が26.1%で最も高くなっています。次いで「5日」が21.7%、「1～2週間」が17.4%で続いています。

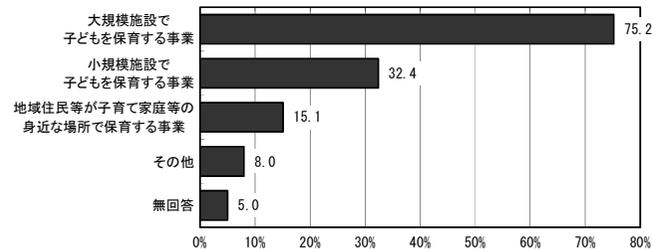
(数量) N=23



問24-1 一時預かりでお子さんを預ける場合、どのような形態が望ましいと思われますか。(MA)

「大規模施設で子どもを保育する事業」が75.2%で突出しています。「小規模施設で子どもを保育する事業」が32.4%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が15.1%で続いています。

(MA) N=238

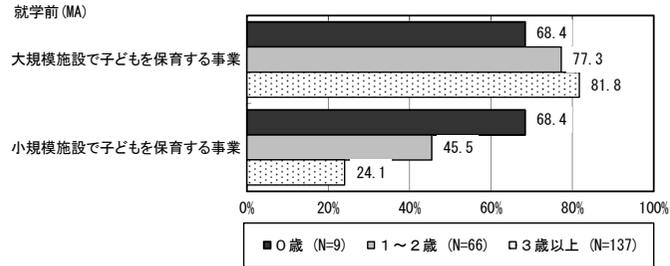


**問24-1 その他の内容**

祖父母などの親族	3
朝早く預けられるところが希望	
光市内で病院などでの託児サービスや、体験教室などでの託児サービスがあればいいと思う。	
友人	

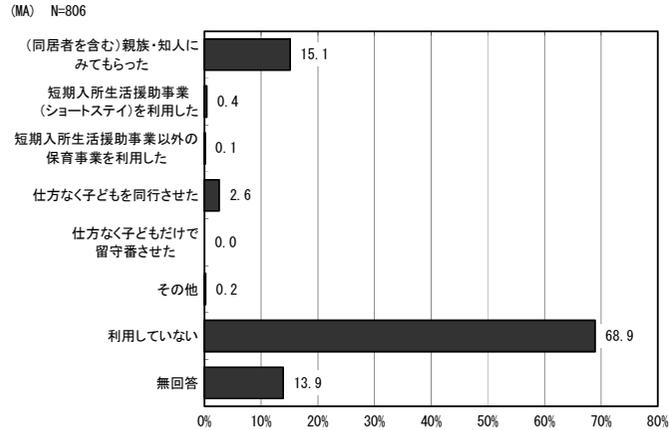
**【問24-1 一時預かりの希望形態】 × 【問2 年齢】 (一部抜粋)**

年齢が高くなるほど、「大規模施設で子どもを保育する事業」が高くなっています。



**問25 この1年間で、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者や家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外の誰かに一時的にみてもらうことはありましたか。(MA)**

「利用していない」が68.9%で突出しています。「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が15.1%が続いています。



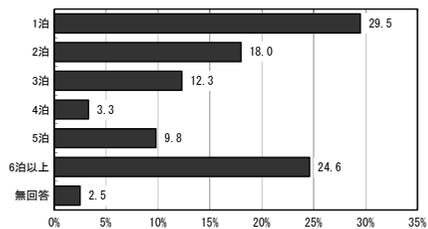
**問25 その他の内容**

実親に

問25 親族・知人にみてもらった泊数(数量)

「1泊」が29.5%で最も高くなっています。次いで「6泊以上」が24.6%、「2泊」が18.0%が続いています。

(数量) N=122



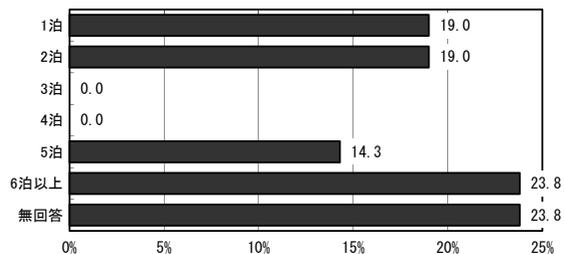
問25 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した泊数(数量)

「2泊」、「5泊」に1人ずつの回答があります。(N=3)

問25 仕方なく子どもを同行させた泊数(数量)

「6泊以上」が23.8%で最も高くなっています。次いで「1泊」、「2泊」が19.0%が続いています。

(数量) N=21

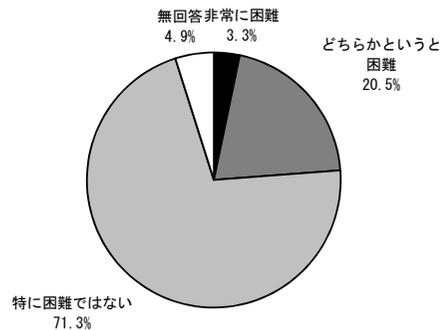


問25 その他泊数(数量)

「6泊以上」に1人の回答があります(N=2)。

問25-1 困難度はどの程度でしたか。(SA)

「特に困難ではない」が71.3%を占めています。



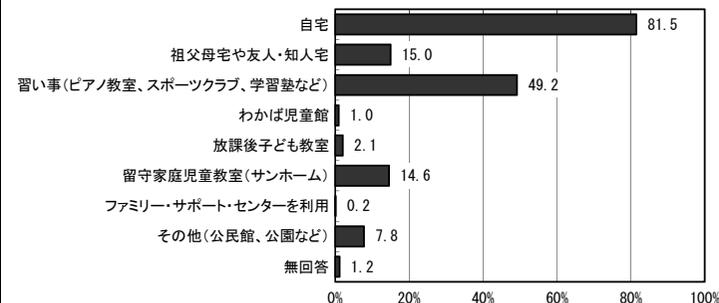
小学校就学後の放課後の過ごし方について

小学校の放課後の過ごし方について

問15 あて名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（MA）

「自宅」が81.5%で最も高くなっています。次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が49.2%、「祖父母宅や友人・知人宅」が15.0%で続いています。

(MA) N=514



【問15 放課後過ごさせたい場所】 × 【問2 学年】

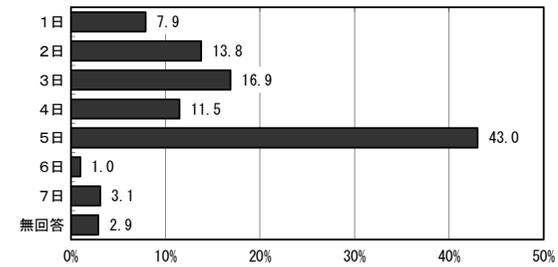
“低学年”に比べて、“高学年”のほうが、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が低くなっています。

	合計	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	わかば児童館	放課後子ども教室	留守家庭児童教室(サンホーム)	ファミリー・サポート・センターを利用	その他(公民館、公園など)
上段:度数	278	219	53	140	6	28	64	-	49
下段:%	100.0	78.8	19.1	50.4	2.2	10.1	23.0	-	17.6
低学年	267	210	51	136	6	28	63	-	48
	100.0	78.7	19.1	50.9	2.3	10.5	23.6	-	18.0
高学年	11	9	2	4	-	-	1	-	1
	100.0	81.8	18.2	36.4	-	-	9.1	-	9.1

問15 自宅 日数 (SA)

「5日」が43.0%で突出しています。「3日」が16.9%、「2日」が13.8%が続いています。

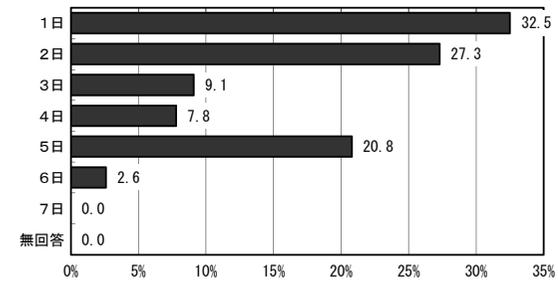
(SA) N=419



問15 祖父母宅や友人・知人宅 日数 (SA)

「1日」が32.5%で最も高くなっています。次いで「2日」が27.3%、「5日」が20.8%が続いています。

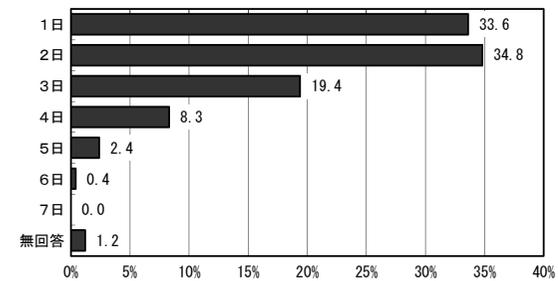
(SA) N=77



問15 習い事 日数 (SA)

「2日」が34.8%、「1日」が33.6%で群を抜いて高くなっています。「3日」が19.4%が続いています。

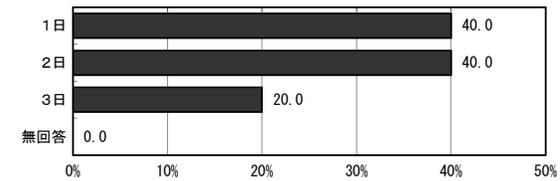
(SA) N=253



問15 わかば児童館 日数 (SA)

「1日」が40.0%、「2日」が40.0%で群を抜いて高くなっています。「3日」が20.0%が続いています。

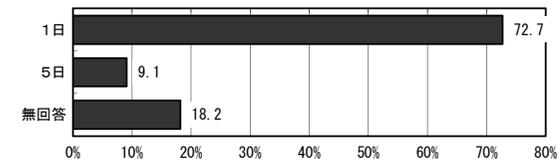
(SA) N=5



問15 放課後子ども教室 日数 (SA)

「1日」が72.7%で突出しています。「5日」が9.1%、が0.0%が続いています。

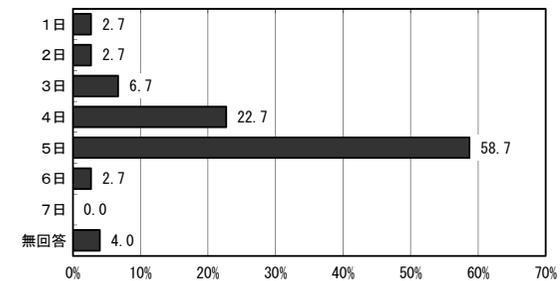
(SA) N=11



問15 留守家庭児童教室 (サンホーム) 日数 (SA)

「5日」が58.7%で突出しています。「4日」が22.7%が続いています。

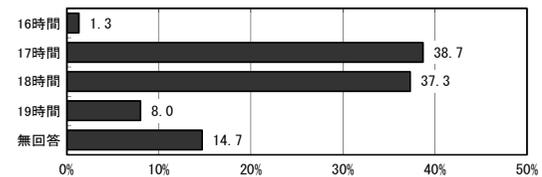
(SA) N=75



問15 サンホームの時間 (数量)

「17時間」が38.7%、「18時間」が37.3%で群を抜いて高くなっています。「19時間」が8.0%が続いています。

(数量) N=75



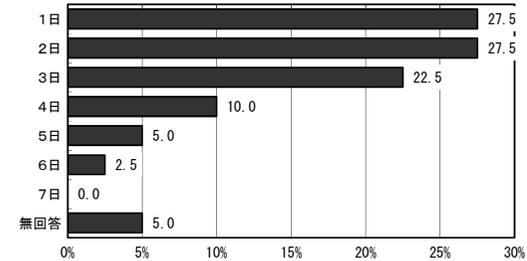
問15 ファミリー・サポート・センター 日数 (SA)

「4日」に1人の回答があります。(N=1)

問15 その他 日数 (SA)

「1日」が27.5%で最も高くなっています。次いで「2日」が27.5%、「3日」が22.5%が続いています。

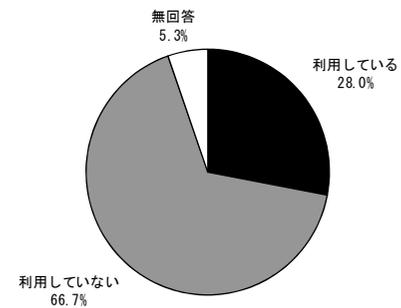
(SA) N=40



問15 - 1 土曜日に留守家庭児童教室 (サンホーム) を利用していますか。(SA)

「利用していない」が66.7%を占めています。

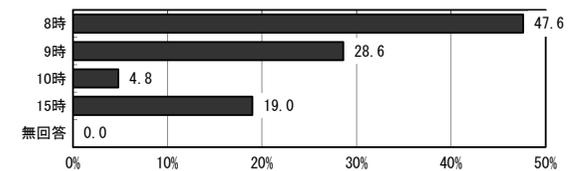
(SA) N=75



問15 - 1 留守家庭児童教室の利用時間 開始時間 (数量)

「8時」が47.6%で最も高くなっています。次いで「9時」が28.6%、「15時」が19.0%が続いています。

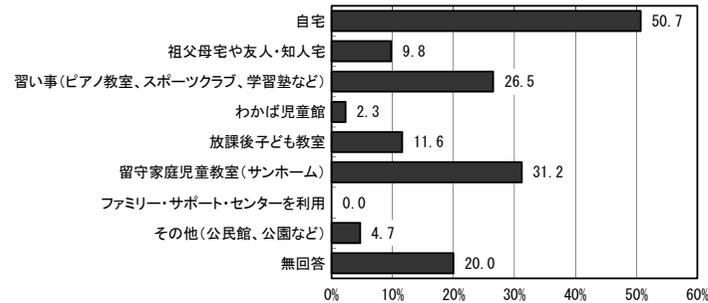
(数量) N=21



問26 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（MA）

「自宅」が50.7%で突出しています。「留守家庭児童教室（サンホーム）」が31.2%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が26.5%で続いています。

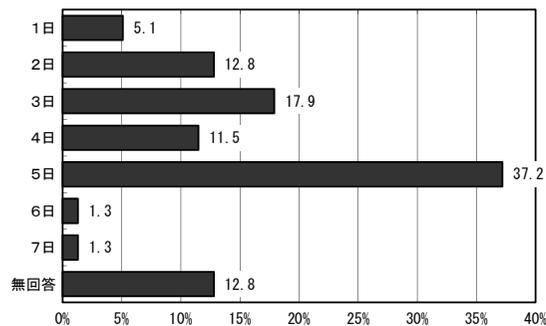
(MA) N=215



問26 自宅 日数 (SA)

「5日」が37.2%で突出しています。「3日」が17.9%、「2日」が12.8%で続いています。

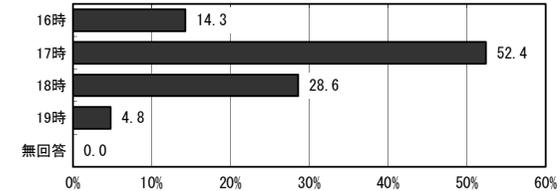
(SA) N=78



問15-1 留守家庭児童教室の利用時間 終了時間（数量）

「17時」が52.4%を占めています。

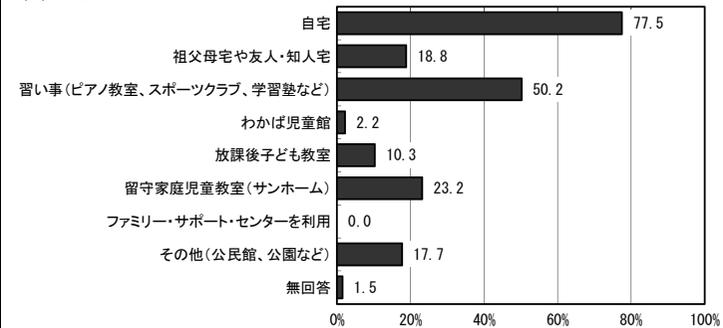
(数量) N=21



問16 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）の間は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（MA）

「自宅」が77.5%で最も高くなっています。次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が50.2%、「留守家庭児童教室（サンホーム）」が23.2%で続いています。

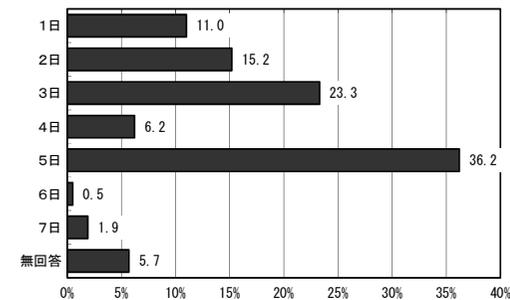
(MA) N=271



問16 自宅 日数 (SA)

「5日」が36.2%で最も高くなっています。次いで「3日」が23.3%、「2日」が15.2%で続いています。

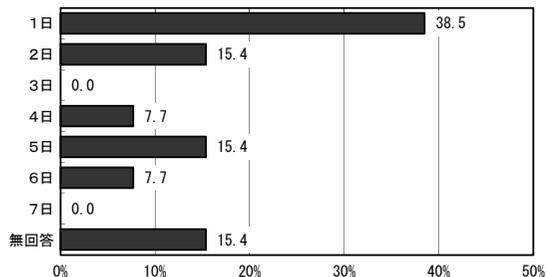
(SA) N=210



問2 6 祖父母宅や友人・知人宅 日数 (SA)

「1日」が38.5%で突出しています。「2日」、「5日」が15.4%で続いています。

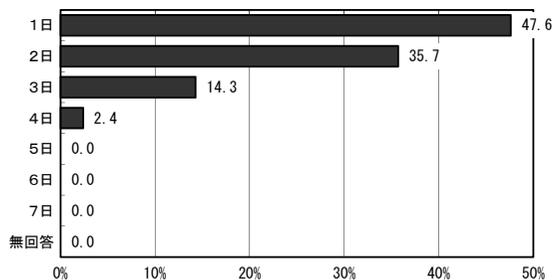
(SA) N=13



問2 6 習い事 日数 (SA)

「1日」が47.6%で最も高くなっています。次いで「2日」が35.7%、「3日」が14.3%が続いています。

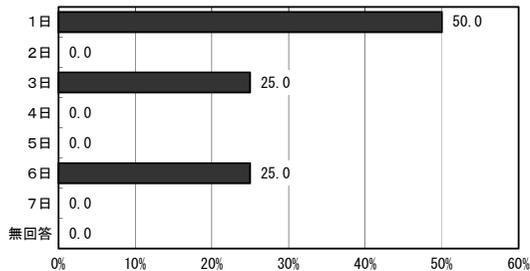
(SA) N=42



問2 6 わかば児童館 日数 (SA)

「1日」が50.0%で突出しています。「3日」が25.0%、「6日」が25.0%が続いています。

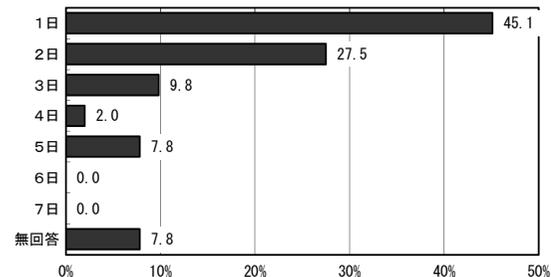
(SA) N=4



問1 6 祖父母宅や友人・知人宅 日数 (SA)

「1日」が45.1%で最も高くなっています。次いで「2日」が27.5%が続いています。

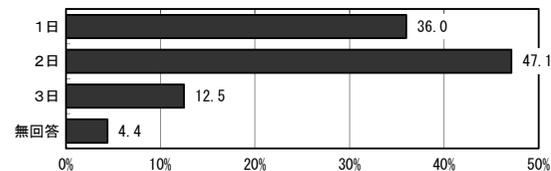
(SA) N=51



問1 6 習い事 日数 (SA)

「2日」が47.1%で最も高くなっています。次いで「1日」が36.0%、「3日」が12.5%が続いています。

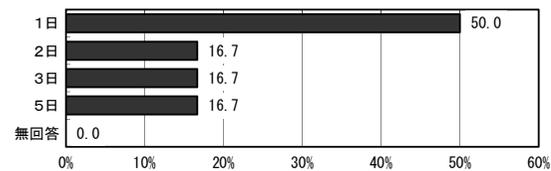
(SA) N=136



問1 6 わかば児童館 日数 (SA)

「1日」が50.0%で突出しています。「2日」が16.7%、「3日」が16.7%が続いています。

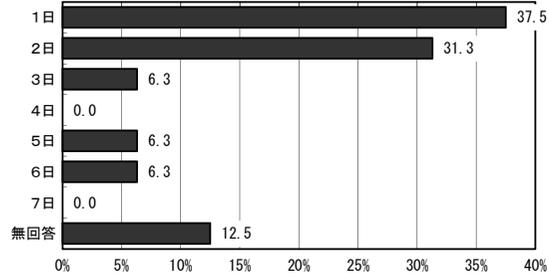
(SA) N=6



問 2 6 放課後子ども教室 日数 (SA)

「1日」が37.5%で最も高くなっています。次いで「2日」が31.3%が続いています。

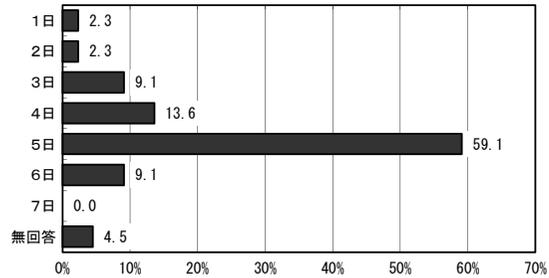
(SA) N=16



問 2 6 留守家庭児童教室 (サンホーム) 日数 (SA)

「5日」が59.1%で突出しています。「4日」が13.6%、「3日」が9.1%が続いています。

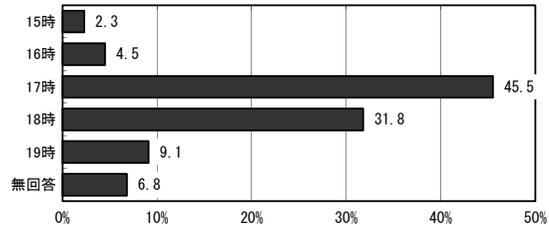
(SA) N=44



問 2 6 サンホームの終了時間 (数量)

「17時」が45.5%で最も高くなっています。次いで「18時」が31.8%、「19時」が9.1%が続いています。

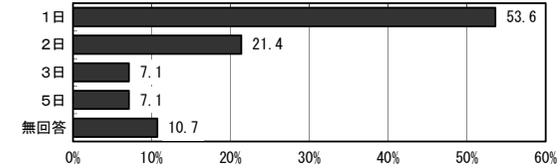
(数量) N=44



問 1 6 放課後子ども教室 日数 (SA)

「1日」が53.6%で突出しています。「2日」が21.4%が続いています。

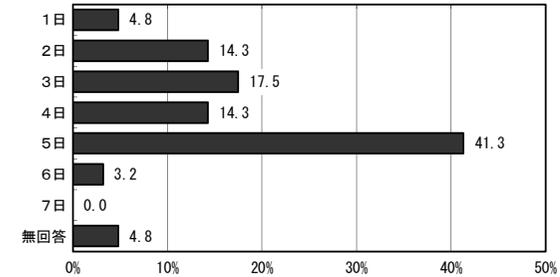
(SA) N=28



問 1 6 留守家庭児童教室 (サンホーム) 日数 (SA)

「5日」が41.3%で突出しています。「3日」が17.5%が続いています。

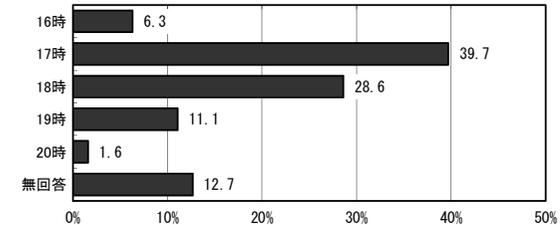
(SA) N=63



問 1 6 サンホームの終了時間 (数量)

「17時」が39.7%で最も高くなっています。次いで「18時」が28.6%、「19時」が11.1%が続いています。

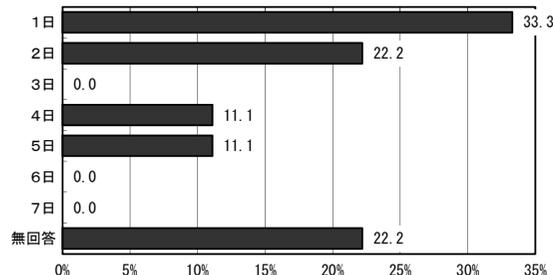
(数量) N=63



問26 ファミリー・サポート・センター 日数 (SA)

「1日」が33.3%で最も高くなっています。次いで「2日」が22.2%で続いています。

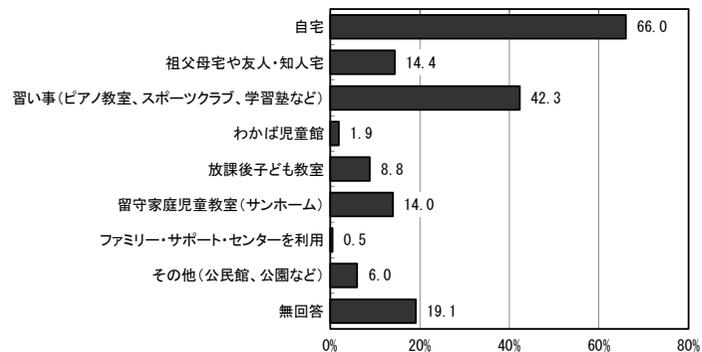
(SA) N=9



問27 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(MA)

「自宅」が66.0%で最も高くなっています。次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が42.3%で続いています。

(MA) N=215



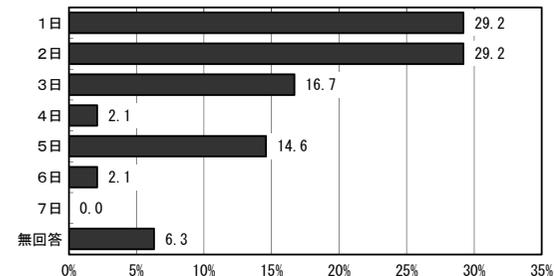
問27 自宅 日数 (SA)

「5日」が36.1%で突出しています。「2日」が18.6%、「3日」が15.5%で続いています。

問16 その他 日数 (SA)

「1日」が29.2%、「2日」が29.2%で群を抜いて高くなっています。「3日」が16.7%で続いています。

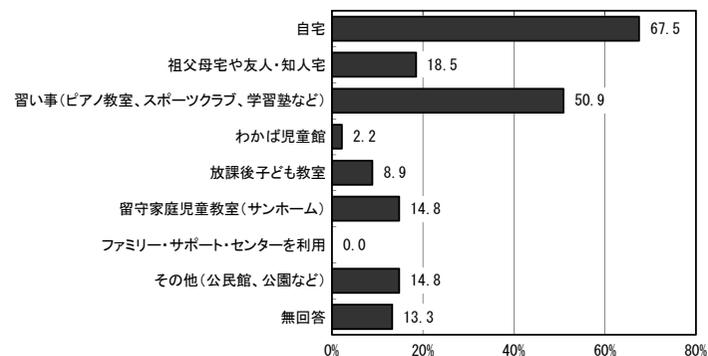
(SA) N=48



問17 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(MA)

「自宅」が67.5%で最も高くなっています。次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が50.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」が18.5%で続いています。

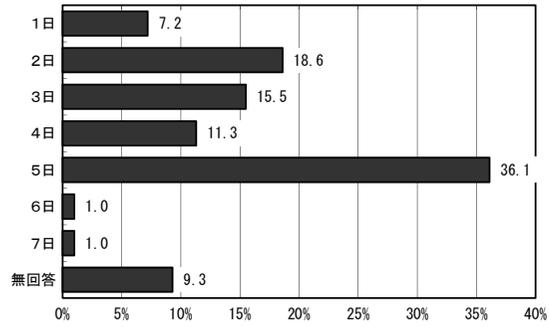
(MA) N=271



問17 自宅 日数 (SA)

「5日」が31.7%で最も高くなっています。次いで「3日」が20.2%、「2日」が17.5%で続いています。

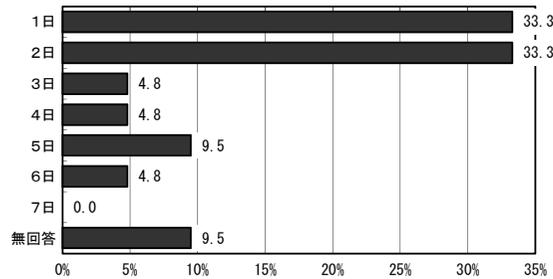
(SA) N=97



問 2 7 祖父母宅や友人・知人宅 日数 (SA)

「1日」、「2日」が33.3%で群を抜いて高くなっています。「5日」が9.5%で続いています。

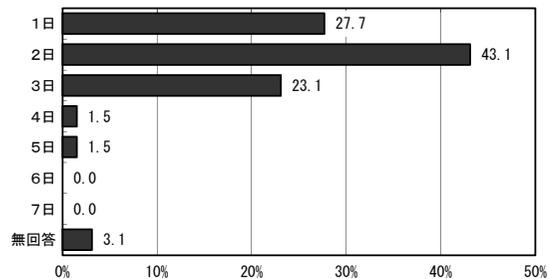
(SA) N=21



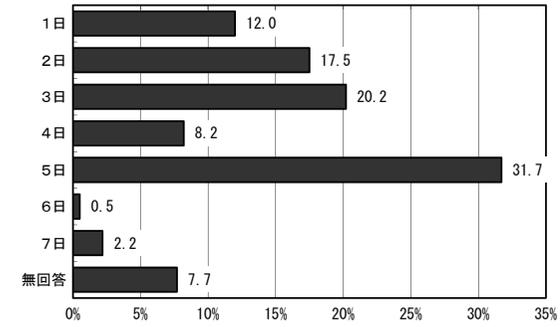
問 2 7 習い事 日数 (SA)

「2日」が43.1%で最も高くなっています。次いで「1日」が27.7%、「3日」が23.1%が続いています。

(SA) N=65



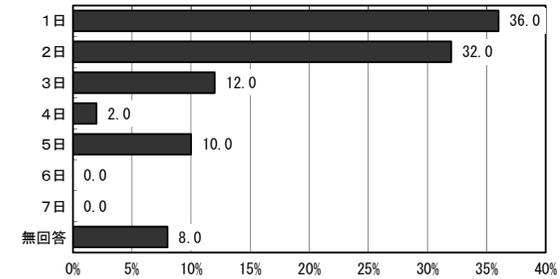
(SA) N=183



問 1 7 祖父母宅や友人・知人宅 日数 (SA)

「1日」が36.0%で最も高くなっています。次いで「2日」が32.0%、「3日」が12.0%が続いています。

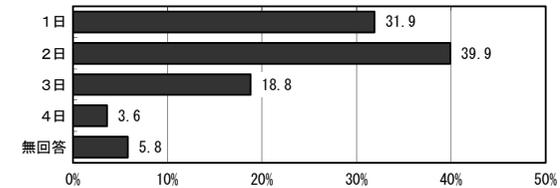
(SA) N=50



問 1 7 習い事 日数 (SA)

「2日」が39.9%で最も高くなっています。次いで「1日」が31.9%、「3日」が18.8%が続いています。

(SA) N=138



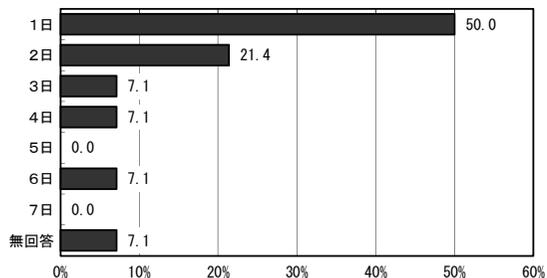
問 2 7 わかば児童館 日数 (SA)

「1日」に2人、「6日」に1人の回答があります。(N=3)。

問 2 7 放課後子ども教室 日数 (SA)

「1日」が50.0%で突出しています。「2日」が21.4%が続いています。

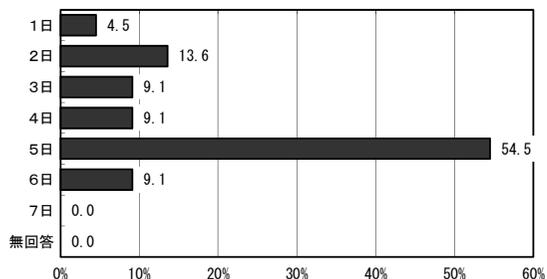
(SA) N=14



問 2 7 留守家庭児童教室 (サンホーム) 日数 (SA)

「5日」が54.5%で突出しています。「2日」が13.6%、「3日」が9.1%が続いています。

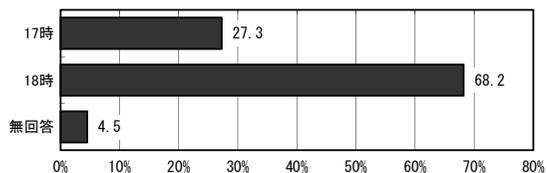
(SA) N=22



問 2 7 サンホームの終了時間 (数量)

「18時」が68.2%で最も高くなっています。

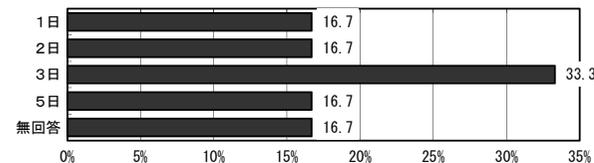
(数量) N=22



問 1 7 わかば児童館 日数 (SA)

「3日」が33.3%で突出しています。

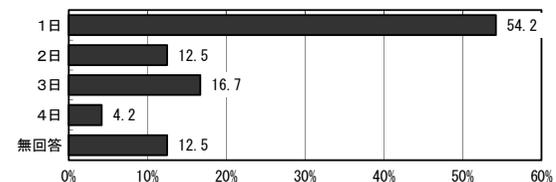
(SA) N=6



問 1 7 放課後子ども教室 日数 (SA)

「1日」が54.2%で突出しています。「3日」が16.7%、「2日」が12.5%が続いています。

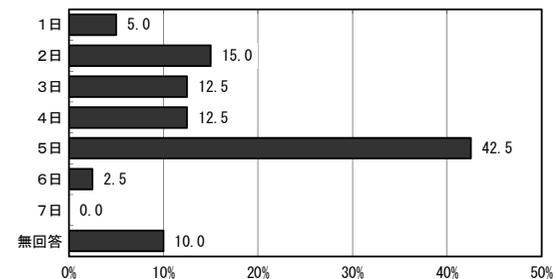
(SA) N=24



問 1 7 留守家庭児童教室 (サンホーム) 日数 (SA)

「5日」が42.5%で突出しています。「2日」が15.0%、「3日」が12.5%が続いています。

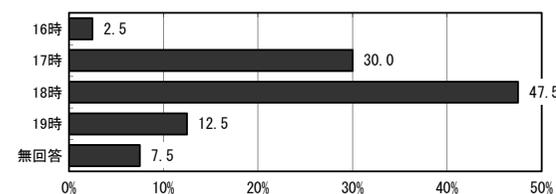
(SA) N=40



問 1 7 サンホームの終了時間 (数量)

「18時」が47.5%で最も高くなっています。次いで「17時」が30.0%、「19時」が12.5%が続いています。

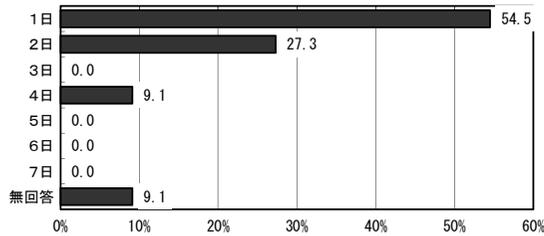
(数量) N=40



問 2 7 その他 日数 (SA)

「1日」が54.5%で突出しています。「2日」が27.3%が続いています。

(SA) N=11

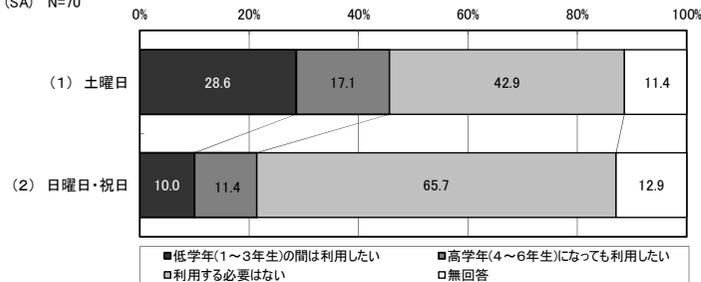


問 2 8 留守家庭児童教室 (サンホーム) の利用希望 (SA)

“ (1) 土曜日 ”では「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が28.6%、「高学年(4~6年生)の間は利用したい」が17.1%となっています。

“ (2) 日曜日・祝日 ”では「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が10.0%、「高学年(4~6年生)の間は利用したい」が11.4%となっています。

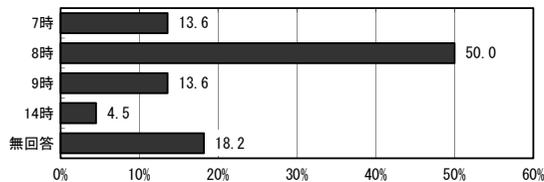
(SA) N=70



問 2 8 (1) 土曜日 開始時間 (数量)

「8時」が50.0%で突出しています。

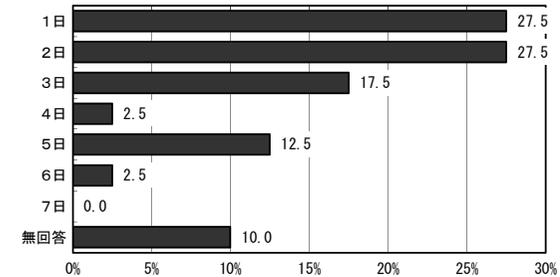
(数量) N=22



問 1 7 その他 日数 (SA)

「1日」が27.5%で最も高くなっています。次いで「2日」が27.5%、「3日」が17.5%が続いています。

(SA) N=40

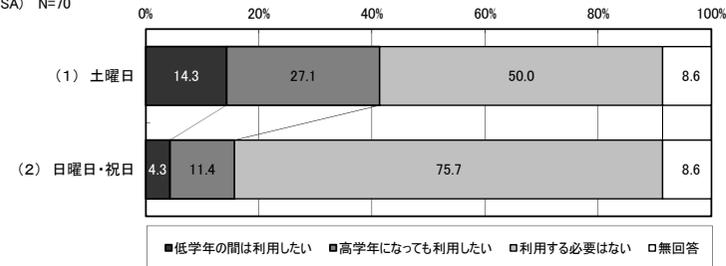


問 1 8 留守家庭児童教室 (サンホーム) の利用希望 (SA)

“ (1) 土曜日 ”では「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が27.1%、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が14.3%となっています。

“ (2) 日曜日・祝日 ”では「高学年(4~6年生)になっても利用したい」が11.4%、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が4.3%となっています。

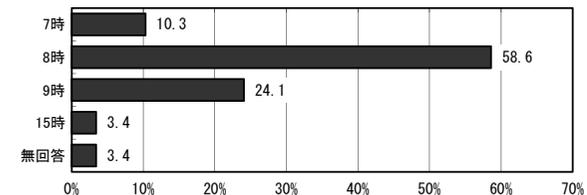
(SA) N=70



問 1 8 (1) 土曜日 開始時間 (数量)

「8時」が58.6%で突出しています。「9時」が24.1%、「7時」が10.3%が続いています。

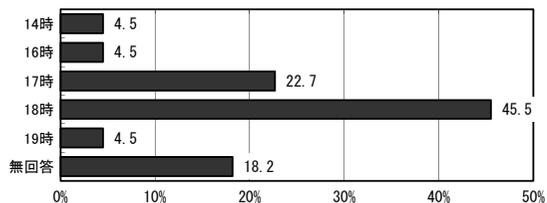
(数量) N=29



問28 (1) 土曜日 終了時間 (数量)

「18時」が45.5%で突出しています。

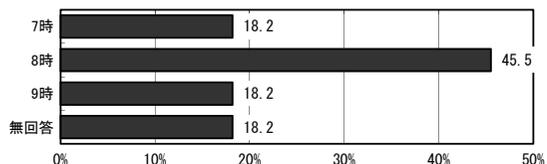
(数量) N=22



問28 (2) 日曜日・祝日 開始時間 (数量)

「8時」が45.5%で最も高く、次いで「7時」が18.2%となっています。

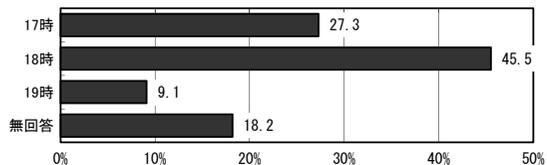
(数量) N=11



問28 (2) 日曜日・祝日 終了時間 (数量)

「18時」が45.5%で最も高く、次いで「17時」が27.3%となっています。

(数量) N=11



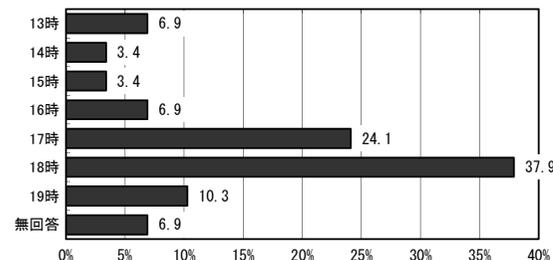
問29 あて名のお子さんについて、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の留守家庭児童教室（サンホーム）の利用希望はありますか。（SA）

「利用する必要はない」が37.7%で最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が25.1%となっています。

問18 (1) 土曜日 終了時間 (数量)

「18時」が37.9%で最も高くなっています。次いで「17時」が24.1%、「19時」が10.3%が続いています。

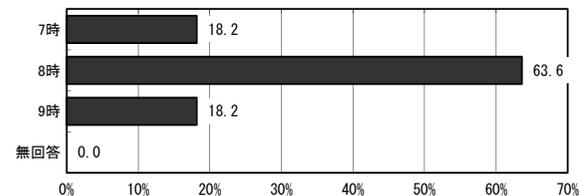
(数量) N=29



問18 (2) 日曜日・祝日 開始時間 (数量)

「8時」が63.6%を占めています。

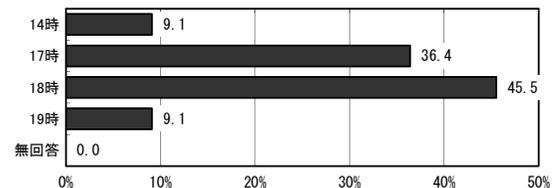
(数量) N=11



問18 (2) 日曜日・祝日 終了時間 (数量)

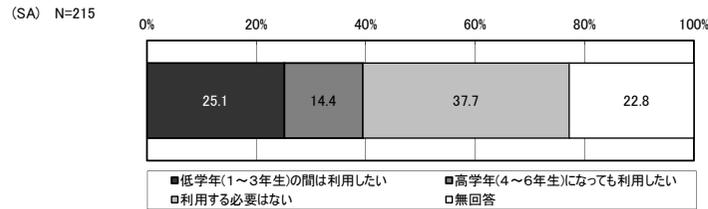
「18時」が45.5%で最も高くなっています。次いで「17時」が36.4%が続いています。

(数量) N=11



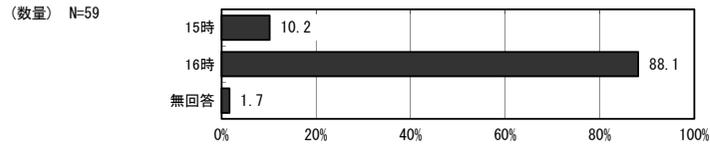
問19 あて名のお子さんについて、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の留守家庭児童教室（サンホーム）の利用希望はありますか。（SA）

「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が25.5%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が13.3%となっています。



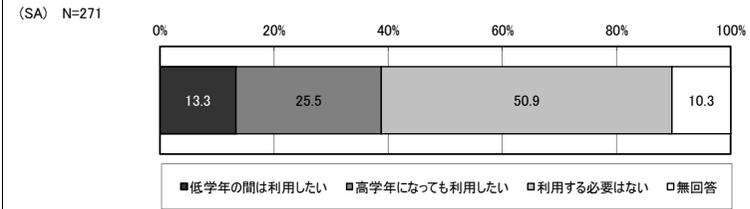
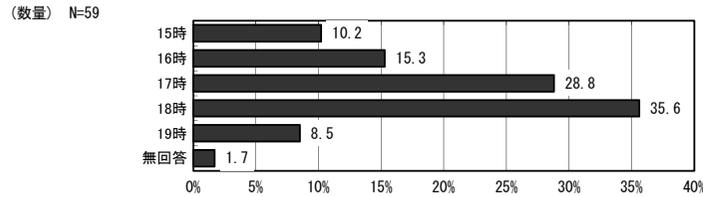
問 2 9 開始時間 (数量)

「16時」が88.1%で突出しています。



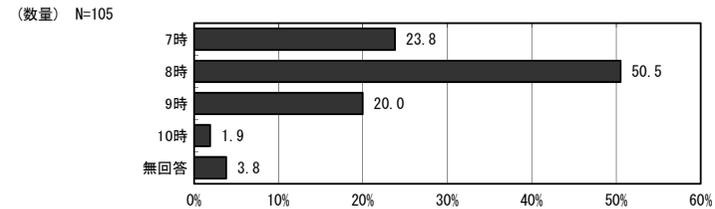
問 2 9 終了時間 (数量)

「18時」が35.6%で最も高くなっています。次いで「17時」が28.8%、「16時」が15.3%が続いています。



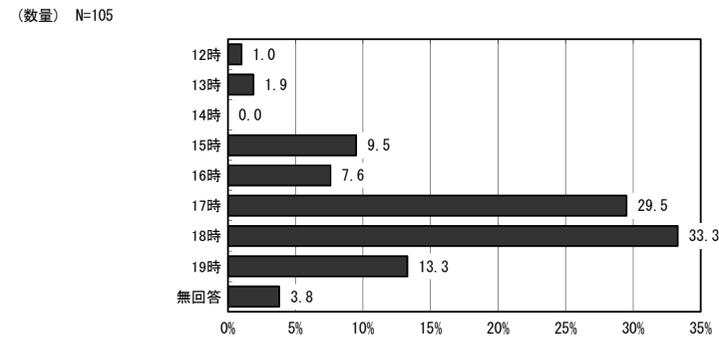
問 1 9 利用したい時間帯 開始時間 (数量)

「8時」が50.5%となっています。



問 1 9 利用したい時間帯 終了時間 (数量)

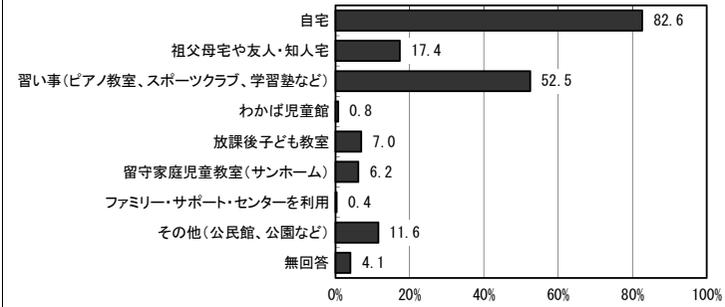
「18時」が33.3%で最も高くなっています。次いで「17時」が29.5%、「19時」が13.3%が続いています。



問 2 0 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)の間は、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(MA)

「自宅」が82.6%で最も高くなっています。次いで「習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)」が52.5%、「祖父母宅や友人・知人宅」が17.4%が続いています。

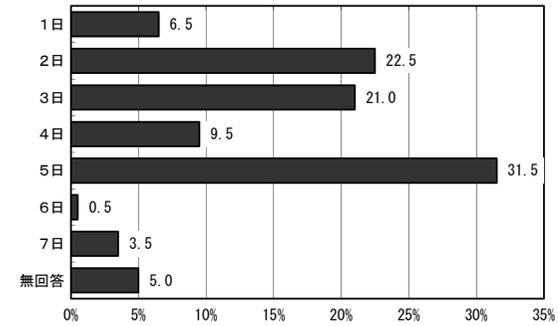
(MA) N=242



### 問20 自宅 日数 (SA)

「5日」が31.5%で最も高くなっています。次いで「2日」が22.5%、「3日」が21.0%が続いています。

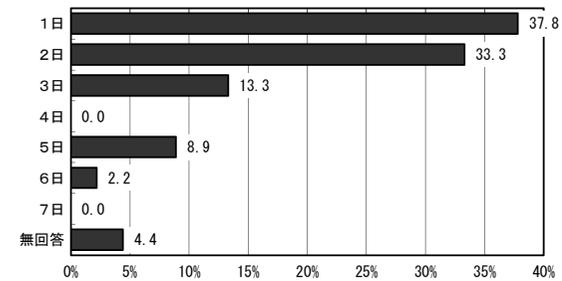
(SA) N=200



### 問20 祖父母宅や友人・知人宅 日数 (SA)

「1日」が37.8%で最も高くなっています。次いで「2日」が33.3%、「3日」が13.3%が続いています。

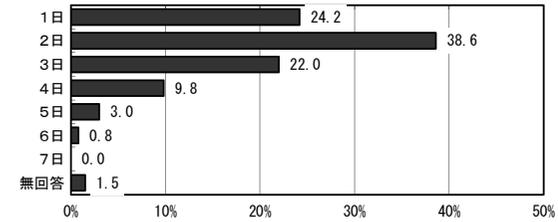
(SA) N=45



問20 習い事 日数 (SA)

「2日」が38.6%で最も高くなっています。次いで「1日」が24.2%、「3日」が22.0%が続いています。

(SA) N=132



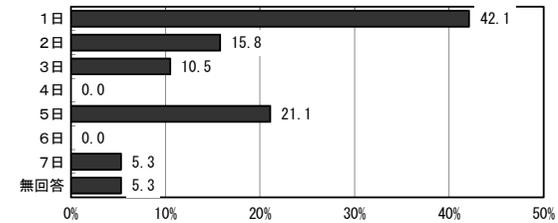
問20 わかば児童館 日数 (SA)

「2日」に2人、「1日」に1人の回答があります。(N=3)

問20 放課後子ども教室 日数 (SA)

「1日」が42.1%で突出しています。「5日」が21.1%、「2日」が15.8%が続いています。

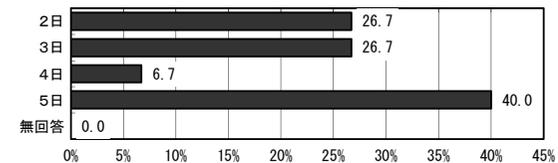
(SA) N=19



問20 留守家庭児童教室 (サンホーム) 日数 (SA)

「5日」が40.0%で最も高くなっています。次いで「2日」、「3日」が26.7%が続いています。

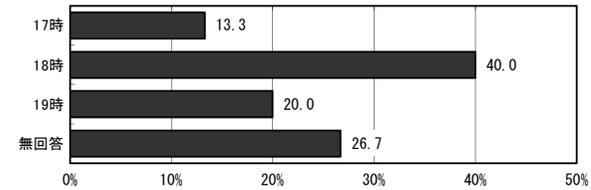
(SA) N=15



問20 サンホームの終了時間（数量）

「18時」が40.0%で最も高く、次いで「19時」が20.0%となっています。

(数量) N=15



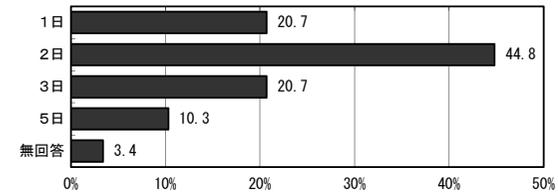
問20 ファミリー・サポート・センター 日数 (SA)

「1日」に1人の回答があります。(N=1)

問20 その他 日数 (SA)

「2日」が44.8%で突出しています。「1日」、「3日」が20.7%が続いています。

(SA) N=29

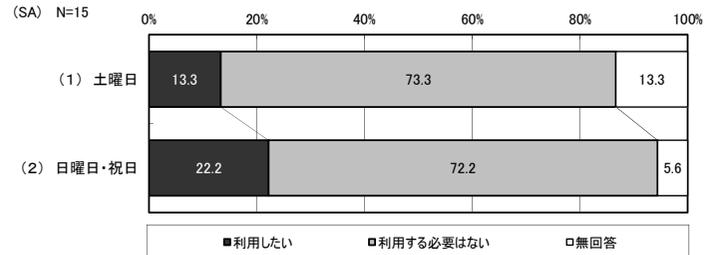


問21 留守家庭児童教室（サンホーム）の利用希望 (SA)

“（1）土曜日”では13.3%の方が「利用したい」と考えています。

“（2）日曜日・祝日”では22.2%の方が「利用したい」と考えています。

(SA) N=15



問2 1 (1) 土曜日 開始時間 (数量)

「8時」に2人の回答があります。(N=2)

問2 1 (1) 土曜日 終了時間 (数量)

「17時」に1人の回答があります。(N=2)

問2 1 (2) 日曜日・祝日 開始時間 (数量)

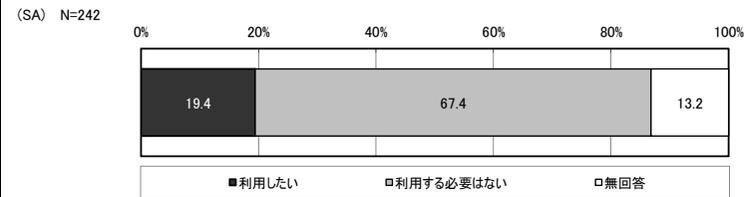
「8時」に3人、「7時」に1人の回答があります。(N=4)

問2 1 (2) 日曜日・祝日 終了時間 (数量)

「17時」に2人「18時」に2人の回答があります。(N=4)

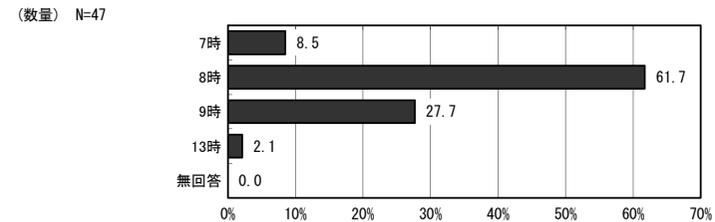
問2 2 あて名のお子さんについて、夏休みや冬休みなどの長期休暇中の留守家庭児童教室（サンホーム）の利用希望はありますか。(SA)

「利用する必要はない」が67.4%、「利用したい」が19.4%となっています。



問2 2 利用したい時間帯 開始時間 (数量)

「8時」が61.7%で突出しています。「9時」が27.7%、「7時」が8.5%が続いています。



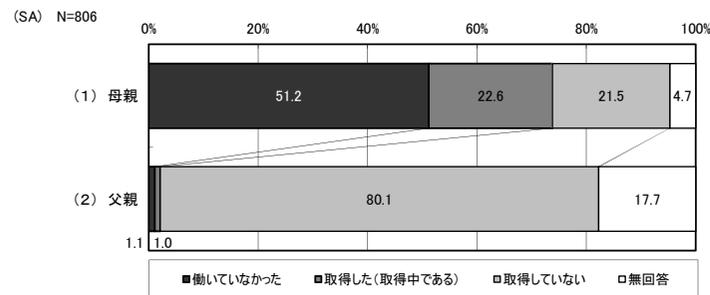
問2 2 利用したい時間帯 終了時間 (数量)

「18時」が25.5%で最も高くなっています。次いで「16時」が23.4%、「17時」が23.4%が続いています。

育児休業制度の利用について

問30 育児休業制度の利用 (SA)

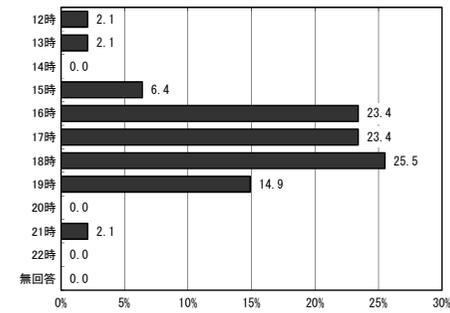
“(1) 母親”では「働いていなかった」が51.2%を占めています。  
 “(2) 父親”では「取得していない」が80.1%を占めています。



問30 取得していない理由 (MA)

「子育てや家事に専念するため退職した」が31.8%で突出しています。「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が17.3%、「その他」が10.4%が続いています。

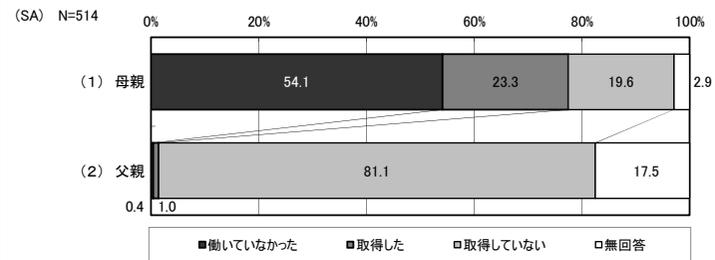
(数量) N=47



育児休業制度の利用について

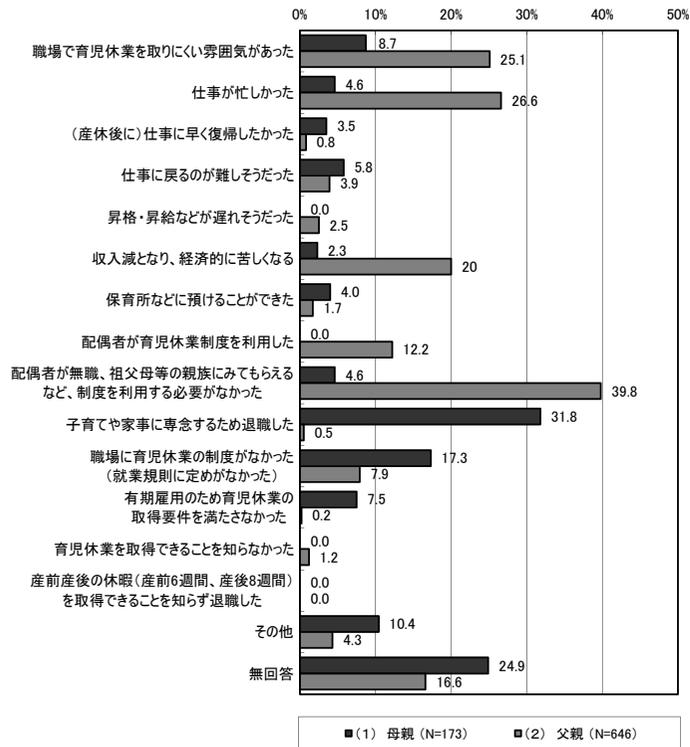
問23 育児休業制度の利用 (SA)

“(1) 母親”では「働いていなかった」が54.1%を占めています。  
 “(2) 父親”では「取得していない」が81.1%を占めています。



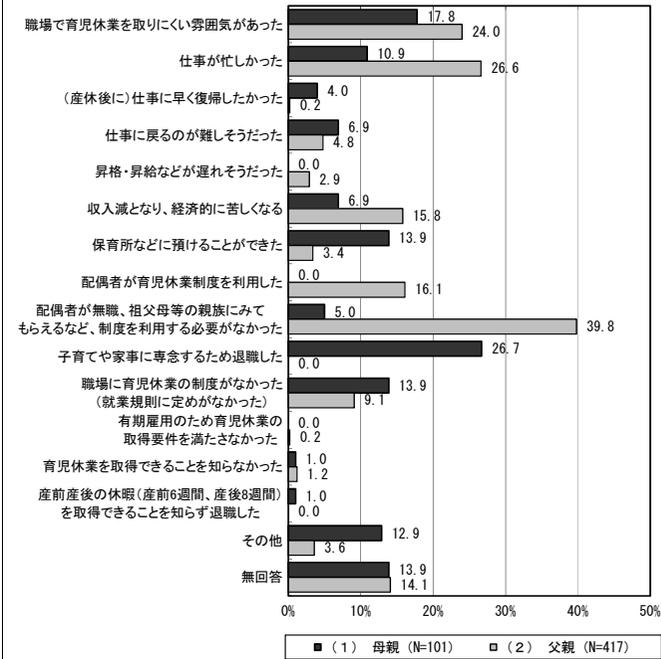
問23 取得していない理由 (MA)

“(1) 母親”では「子育てや家事に専念するため退職した」が26.7%で最も高くなっています。次いで「職場で育児休業を取りにくい雰囲気があった」が17.8%が続いています。  
 “(2) 父親”では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が39.8%で最も高くなっています。次いで「仕事が忙しかった」が26.6%、「職場で育児休業を取りにくい雰囲気があった」が24.0%が続いています。



問30(1) 母親 その他の内容	
パートだったため	6
里親	2
自営業のため	3
退職したため	3
引越しのため	2
転職して3ヶ月だったので取れなかった	
	など

問30(2) 父親 その他の内容	
自営業だから	7
里親	2
会社で取っている人を聞いたことがない	
3交代勤務の為、育休を取得しなくても育児を手伝ってくれたので	
今後取得予定	
転職したため	
会社に制度がないため	
なぜ男が休まないといけないのかと言われた	
	など



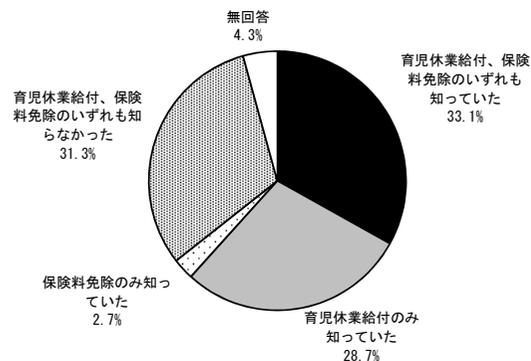
問23(1) 母親 その他の内容	
代わりの人がいない、人員不足などにより休めない	7
休むと職場に迷惑	
休むと信用がなくなる気がするのでさげたい	
	など

問23(2) 父親 その他の内容	
人員確保が不可能	

問30-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間は健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。(SA)

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が33.1%で最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が31.3%、「育児休業給付のみ知っていた」が28.7%が続いています。

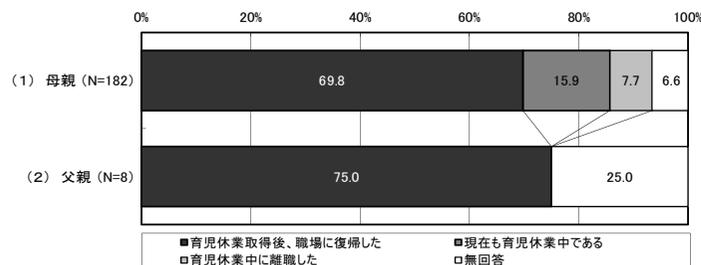
(SA) N=677



### 30-2 育児休業取得後の職場復帰 (SA)

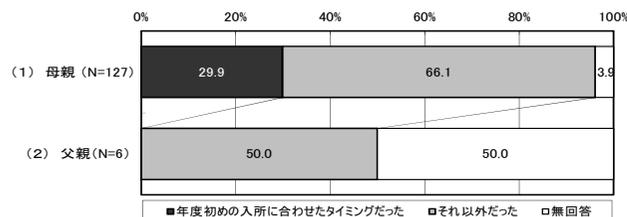
“(1) 母親”では「育児休業取得後、職場に復帰した」が69.8%を占めています。

“(2) 父親”では「育児休業取得後、職場に復帰した」が75.0%を占めています。



### 問30-3 職場復帰のタイミング (SA)

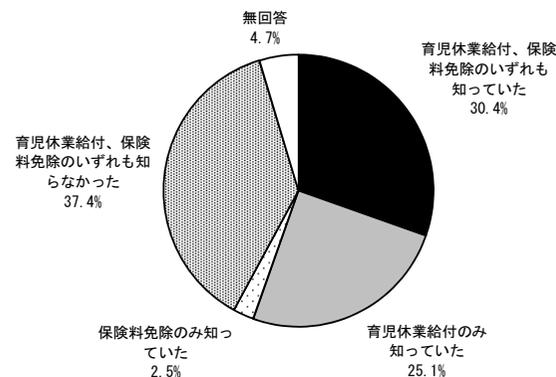
“(1) 母親”では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が3割をきっています。



問23-1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組みや子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間は健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。(SA)

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が37.4%で最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が30.4%、「育児休業給付のみ知っていた」が25.1%が続いています。

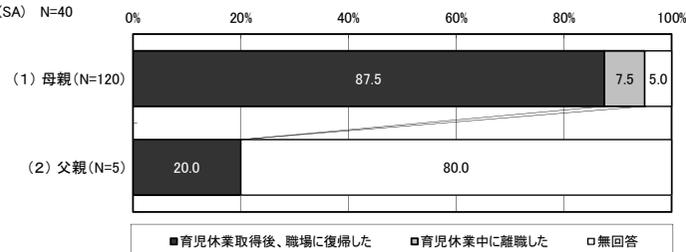
(SA) N=514



### 問23-2 育児休業取得後の職場復帰 (SA)

“(1) 母親”では「育児休業取得後、職場に復帰した」が87.5%を占めています。

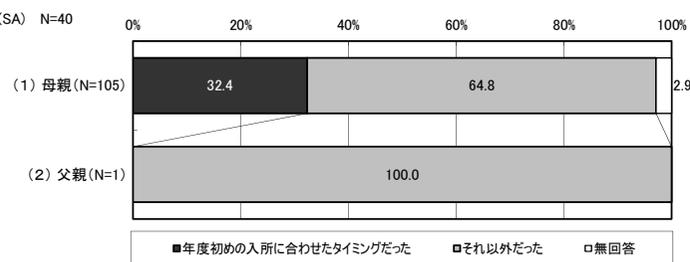
(SA) N=40



### 問23-3 職場復帰のタイミング (SA)

“(1) 母親”では「それ以外だった」が64.8%を占めています。

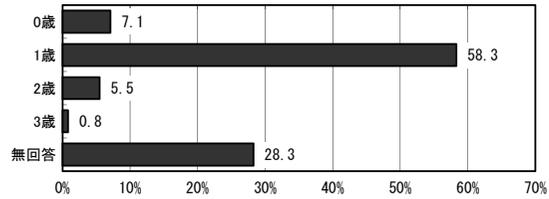
(SA) N=40



問30-4 育児休業の取得 (1) 母親 実際 歳 (数量)

「1歳」が58.3%で突出しています。

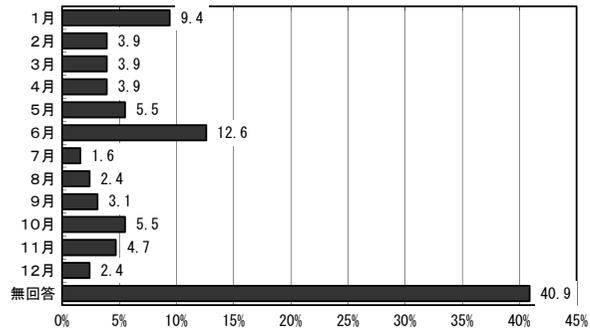
(数量) N=127



問30-4 育児休業の取得 (1) 母親 実際 月 (SA)

「6月」が12.6%で最も高くなっています。

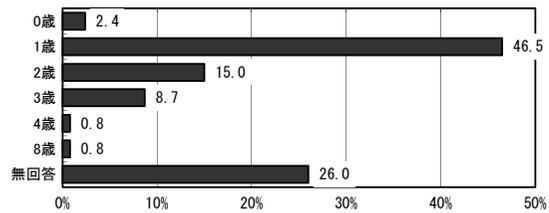
(SA) N=127



問30-4 育児休業の取得 (1) 母親 希望 歳 (数量)

「1歳」が46.5%で突出しています。「2歳」が15.0%、「3歳」が8.7%が続いています。

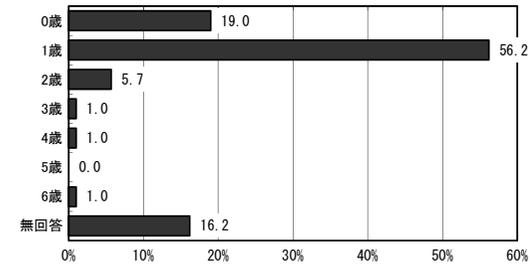
(数量) N=127



問23-4 育児休業の取得 (1) 母親 実際 歳 (数量)

「1歳」が56.2%で突出しています。「0歳」が19.0%、「2歳」が5.7%が続いています。

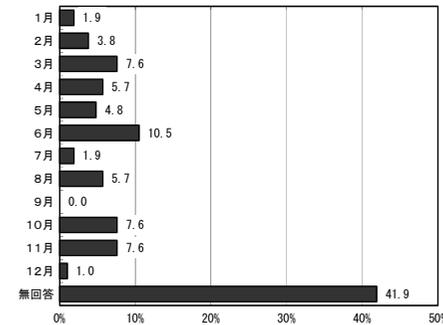
(数量) N=105



問23-4 育児休業の取得 (1) 母親 実際 月 (SA)

「6月」が10.5%で最も高くなっています。次いで「3月」が7.6%、「10月」が7.6%が続いています。

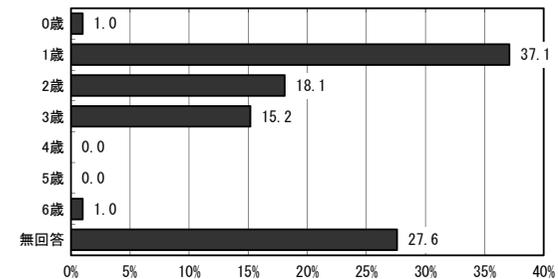
(SA) N=105



問23-4 育児休業の取得 (1) 母親 希望 歳 (数量)

「1歳」が37.1%で突出しています。「2歳」が18.1%、「3歳」が15.2%が続いています。

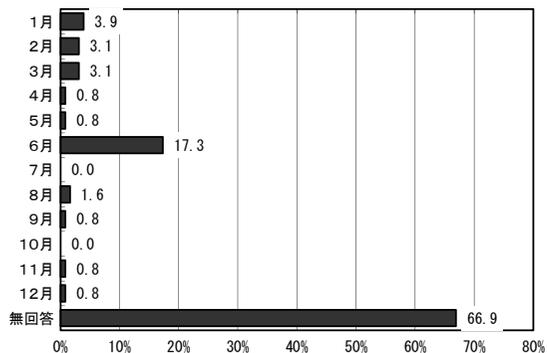
(数量) N=105



問30-4 育児休業の取得 (1) 母親 希望 月 (SA)

「6月」が17.3%で突出しています。「1月」が3.9%、「2月」が3.1%が続いています。

(SA) N=127



問30-4 育児休業の取得 (2) 父親 実際 歳 (数量)

「1歳」に1人の回答がありました。(N=6)

問30-4 育児休業の取得 (2) 父親 実際 月 (SA)

「1月」、「2月」に1人ずつの回答がありました。(N=6)

問30-4 育児休業の取得 (2) 父親 希望 歳 (数量)

回答者はありません。

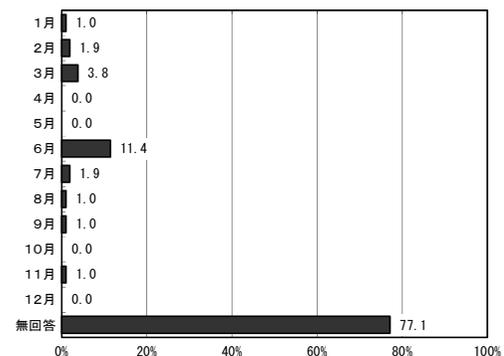
問30-4 育児休業の取得 (2) 父親 希望 月 (SA)

「1月」に1人の回答がありました。(N=6)

問23-4 育児休業の取得 (1) 母親 希望 月 (SA)

「6月」が11.4%で突出しています。「3月」が3.8%、「2月」が1.9%が続いています。

(SA) N=105



問23-4 育児休業の取得 (2) 父親 実際 歳 (数量)

「1歳」に1人の回答があります。(N=1)

問23-4 育児休業の取得 (2) 父親 実際 月 (SA)

「6月」に1人の回答があります。(N=1)

問23-4 育児休業の取得 (2) 父親 希望 歳 (数量)

「2歳」に1人の回答があります。(N=1)

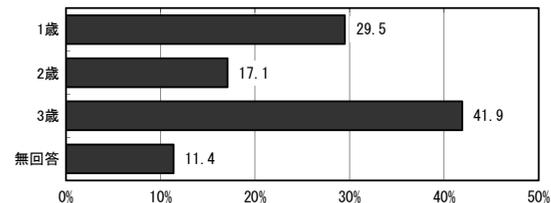
問23-4 育児休業の取得 (2) 父親 希望 月 (SA)

回答者はありません。

問23-5 3歳までの育児休業の希望 (1) 母親 歳 (数量)

「3歳」が41.9%で最も高く、次いで「1歳」が29.5%となっています。

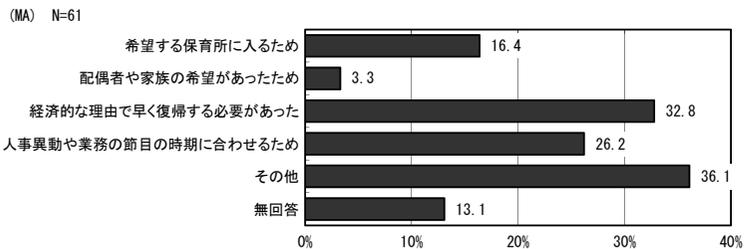
(数量) N=105



問30-6 希望の時期に職場復帰できなかった理由

(1) 希望時期より早かった ①母親 (MA)

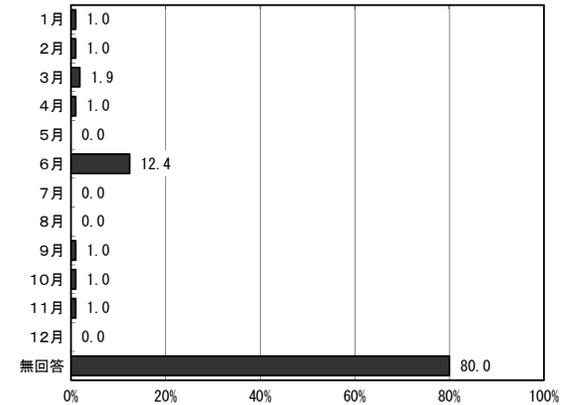
「その他」が36.1%で最も高くなっています。次いで「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が37.5%で続いています。



問23-5 3歳までの育児休業の希望 (1) 母親 月 (SA)

「6月」が12.4%で突出しています。「3月」が1.9%、「1月」が1.0%が続いています。

(SA) N=105



問23-5 3歳までの育児休業の希望 (2) 父親 歳 (数量)

回答者はありません。

問23-5 3歳までの育児休業の希望 (2) 父親 月 (SA)

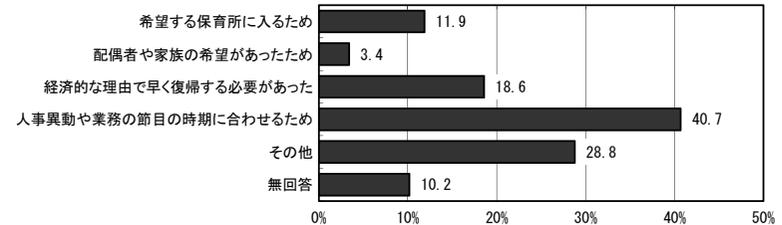
回答者はありません。

問23-6 希望の時期に職場復帰できなかった理由

(1) 希望時期より早かった ①母親 (MA)

「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が40.7%で最も高くなっています。「その他」が28.8%、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」が18.6%が続いています。

(MA) N=59



問30-6(1)①母親 その他の内容	
会社からの要請	8
1年しか育児休暇が取れなかった為	5
職場の人手不足	3
保育園が決まったため	2
仕事内容的に長期休業すると復帰が難しいから	
職場での復帰が1才～1才半の人が多いため、それ以上取りにくい	
職場の規則	
長期休みにくい雰囲気が職場にあったため(2人目の事も考えたため)	
	など

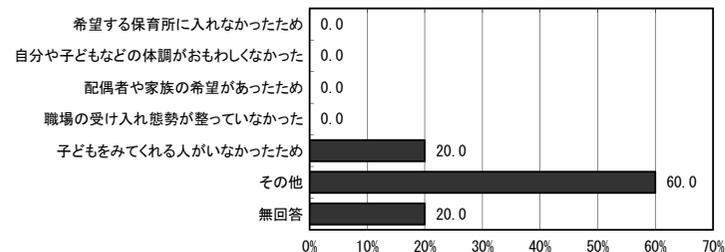
(1) 希望時期より早かった ②父親 (MA)

回答者なし

(2) 希望時期より遅かった ①母親 (MA)

「その他」に3人、「子どもをみてくれる人がいなかったため」に1人の回答がありました。

(MA) N=5



問30-6(2)①母親 その他の内容	
保育所に慣れるまでに時間がかかったため	
身体的な理由で延長した	

(2) 希望時期より遅かった ②父親 (MA)

回答者なし

#### 問30-7 短時間勤務制度の利用 (SA)

“(1) 母親”では「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が33.1%で最も高く、次いで「利用する必要がなかった」が29.9%となっています。

“(2) 父親”では「利用した」「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が16.7%となっています。

問23-6(1)①母親 その他の内容	
長期はとりにくい雰囲気がある	4
当時は3年取れる制度でなく、1年しかとれなかった	3
1年以降は社会保険からお金がもらえないから	
職場が忙しかった	
職場に保育所があったため	
1歳までしか保険料が免除されなかった為長く休むと復帰しにくくなる	
長く休めない職業だし、人数も少ないので	

(1) 希望時期より早かった ②父親 (MA)

回答者はありません。

(2) 希望時期より遅かった ①母親 (MA)

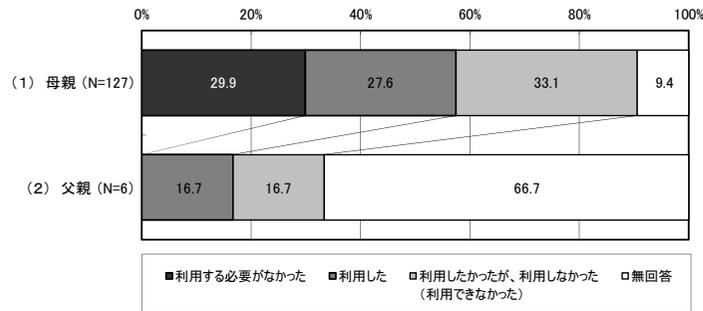
回答者はありません。

(2) 希望時期より遅かった ②父親 (MA)

回答者はありません。

#### 問23-7 短時間勤務制度の利用 (SA)

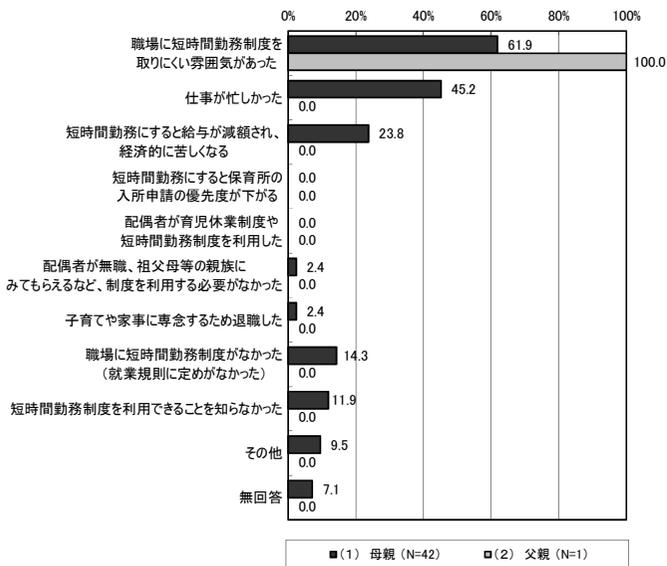
“(1) 母親”では「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が50.5%を占めています。



問30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由 (MA)

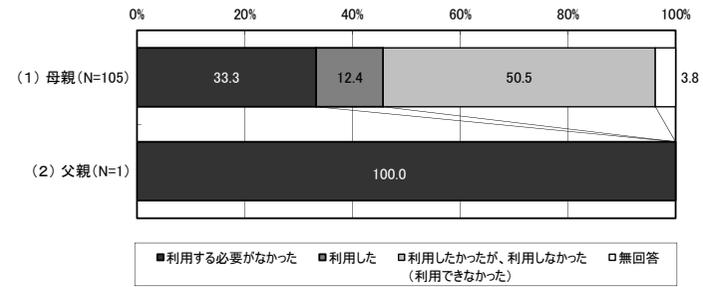
“(1) 母親”では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が61.9%で最も高くなっています。次いで「仕事が忙しかった」が45.2%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が23.8%で続いています。

“(2) 父親”では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」に1人が回答しています。



問30-8 (1) 母親 その他の内容

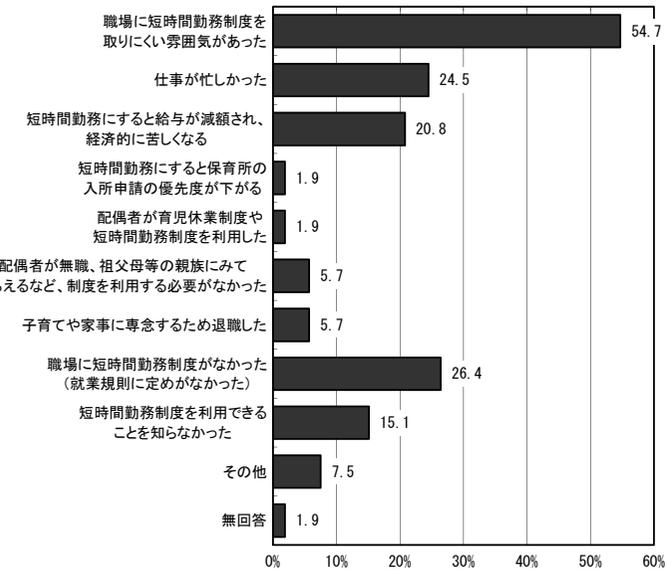
自営なので
勤務時間が固定されており、周りのシフトと折り合いを付けづらかった
子どもの体調不良時の休みやフレックス出勤での対応など比較的融通が利いたので対応できた。
制度を知らなかった
もともと短時間勤務のため
利用したいが職員数がギリギリでとれない



問23-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由 (1) 母親 (MA)

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が54.7%で突出しています。「職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった)」が26.4%、「仕事が忙しかった」が24.5%で続いています。

(MA) N=53



問23-8 (1) 母親 その他の内容

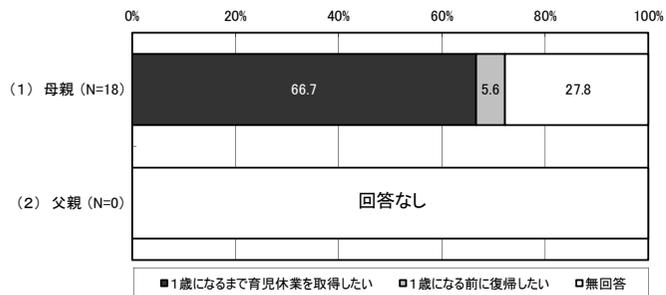
職場に制度が出来たのは復帰後だったから
職場の休暇やフレックスでの対応など比較的融通がきく状況にあったため、短時間制度までは申し出せなかった。

**問30-8(2) 父親 その他の内容 ※対象外回答者のため参考**

無理だと思った  
 自営のため  
 必要なし

**問30-9 1歳になるまでの育児休業取得 (SA)**

“(1) 母親”では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が66.7%を占めています。



**問23-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由 (2) 父親 (MA)**

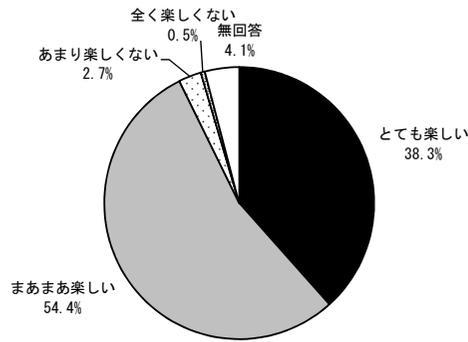
回答者はありません。

日常の子育てなどについて

問3 1 子育ては楽しいですか。(SA)

「まあまあ楽しい」が54.4%を占めています。

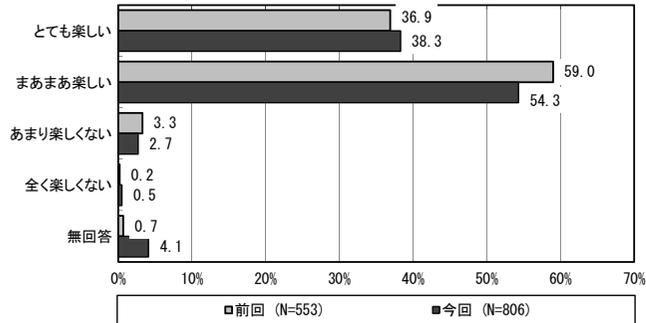
(SA) N=806



問3 1 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「まあまあ楽しい」が低くなっています。

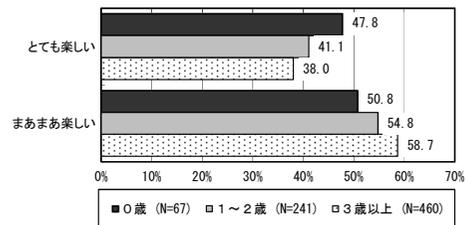
就学前(SA)



【問3 1 子育ての楽しさ】 × 【問2 年齢】 (一部抜粋)

年齢が高いほど、「とても楽しい」が低くなっています。

就学前(SA)

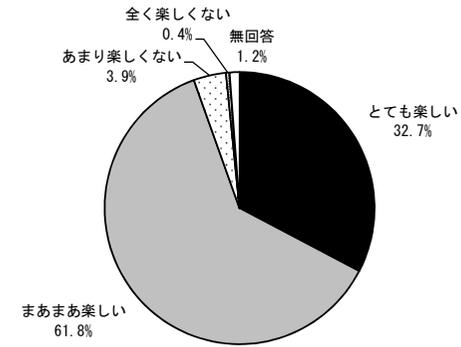


日常の子育てなどについて

問2 4 子育ては楽しいですか。(SA)

「まあまあ楽しい」が61.9%を占めています。

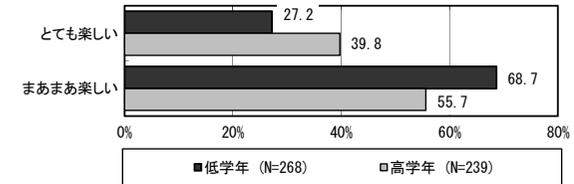
(SA) N=514



【問2 4 子育ての楽しさ】 × 【問2 学年】 (一部抜粋)

“低学年”に比べて、“高学年”のほうが、「とても楽しい」が高くなり、「まあまあ楽しい」が低くなっています。

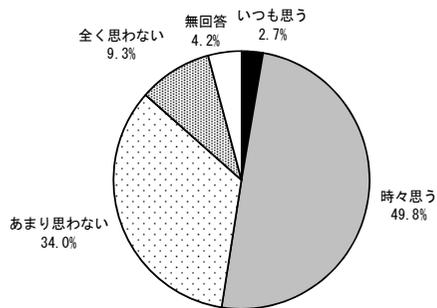
小学生(SA)



問3 2 子育てが辛いと思うことはありますか。(SA)

「時々思う」が49.8%で最も高く、次いで「あまり思わない」が34.0%、「全く思わない」が9.3%で続いています。

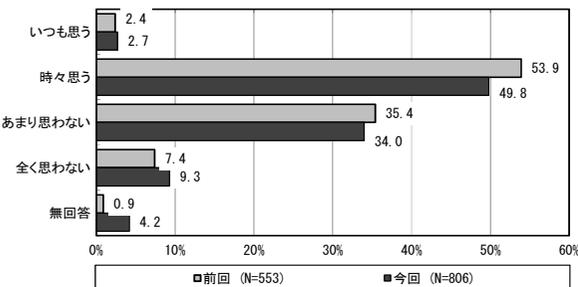
(SA) N=806



問3 2 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「時々思う」、「あまり思わない」が低くなっており、「全く思わない」が高くなっています。

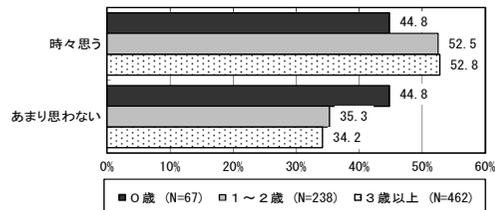
就学前(SA)



【問3 2 子育てのつらさ】 × 【問2 年齢】 (一部抜粋)

年齢が高いほど、「あまり思わない」が低くなっています。

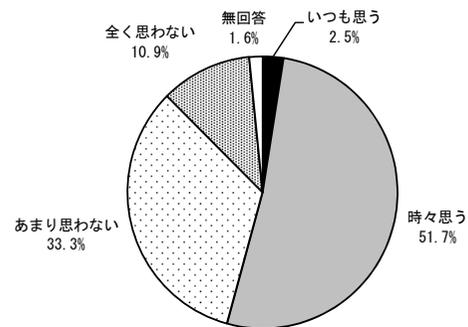
就学前(SA)



問2 5 子育てが辛いと思うことはありますか。(SA)

「時々思う」が51.8%を占めています。

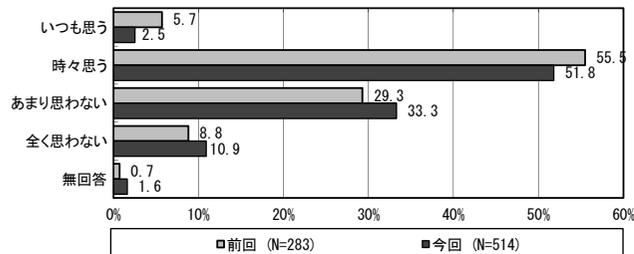
(SA) N=514



問2 5 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「いつも思う」、「時々思う」が低くなっており、「あまり思わない」、「全く思わない」が高くなっています。

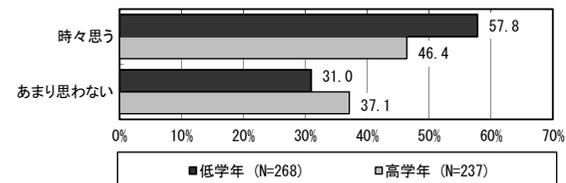
小学生(SA)



【問2 5 子育てのつらさ】 × 【問2 学年】 (一部抜粋)

“低学年”に比べて、“高学年”のほうが、「時々思う」が低くなり、「あまり思わない」が高くなっています。

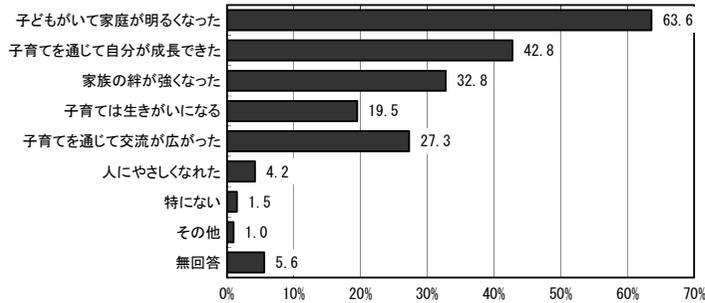
小学生(SA)



問33 子育てを通してよかったと感じていることは何ですか。(MA)

「子どもがいて家庭が明るくなった」が63.6%で最も高くなっています。次いで「子育てを通じて自分が成長できた」が42.8%、「家族の絆が強くなった」が32.8%で続いています。

(MA) N=806



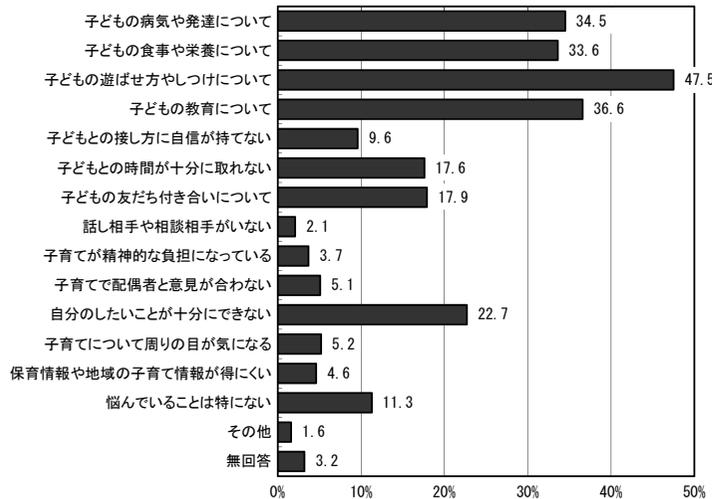
問33 その他の内容

子供の成長。とにかくかわいい
この子達がいて支えられている
自分より大切なものができた
にぎやかになった
一人の人間が生まれ、成長する様を見るのはとても貴重な体験

問34 子育てに関する悩みはありますか。(MA)

「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が47.5%で最も高くなっています。次いで「子どもの教育について」が36.6%、「子どもの病気や発達について」が34.5%で続いています。

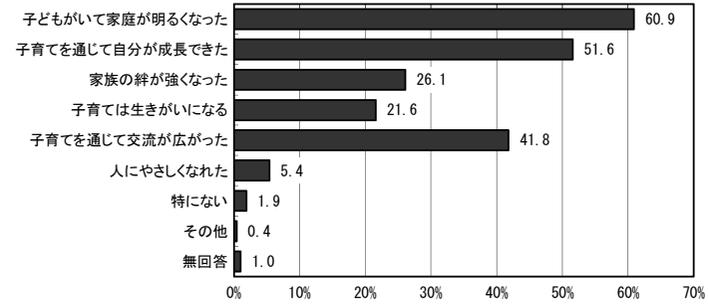
(MA) N=806



問26 子育てを通してよかったと感じていることは何ですか。(MA)

「子どもがいて家庭が明るくなった」が60.9%で最も高くなっています。次いで「子育てを通じて自分が成長できた」が51.6%、「子育てを通じて交流が広がった」が41.8%で続いています。

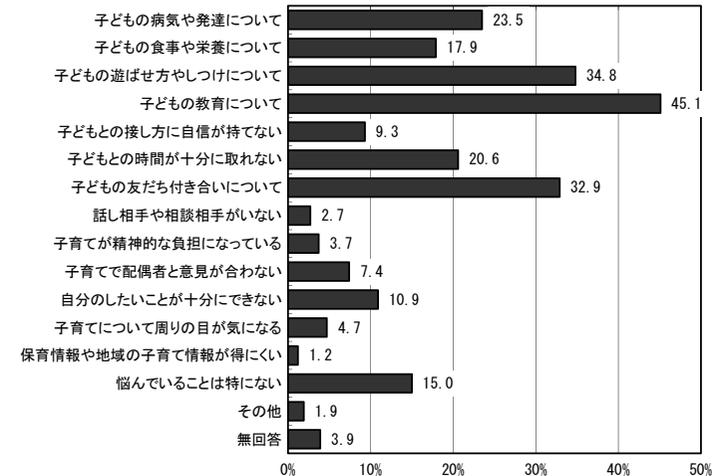
(MA) N=514



問27 子育てに関する悩みはありますか。(MA)

「子どもの教育について」が45.1%で最も高くなっています。次いで「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が34.8%、「子どもの友だち付き合いについて」が32.9%で続いています。

(MA) N=514



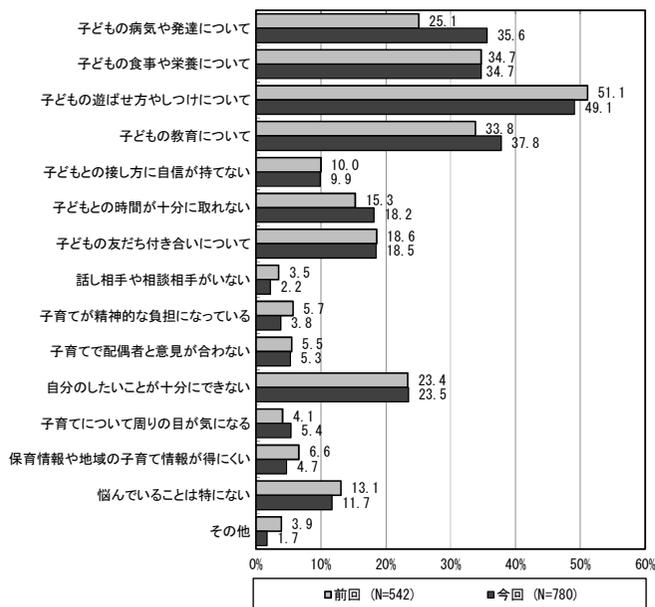
### 問34 その他の内容

子供が人見知りや激しい
再就職のタイミング、保育園 or 幼稚園の入園のタイミング、どちらに入れるか？何歳で入れるか？
仕事ができない。ついつい怒ってしまう。ママ友がいない
自分がやっている子育てで大丈夫か？ちゃんと成長していくかなど、これからのこと
数年前の子育てとの違いに戸惑っています
全てが母親である自分にのしかかっていること
たまり場になっており、ちょっとつかれる。
トイトレ
同級生の友達がいない。進学に不安
同居家族との子育ての意見が合わない
習い事など行きたがるが、時間が取れない
働きたくないが、働く必要があり、子供と過ごせない
働き出してからの突然の病気
夜勤をしており、その前後も育児があるため仮眠できないこと

### 問34 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「子どもの病気や発達について」、「子どもの教育について」が高くなっています。

就学前(SA) ※無回答は除いて集計



### 【問34 子育ての悩み】 × 【問2 年齢】 (一部抜粋)

年齢が高いほど、「子どもの食事や栄養について」や「悩んでいることは特にない」が低くなっています。

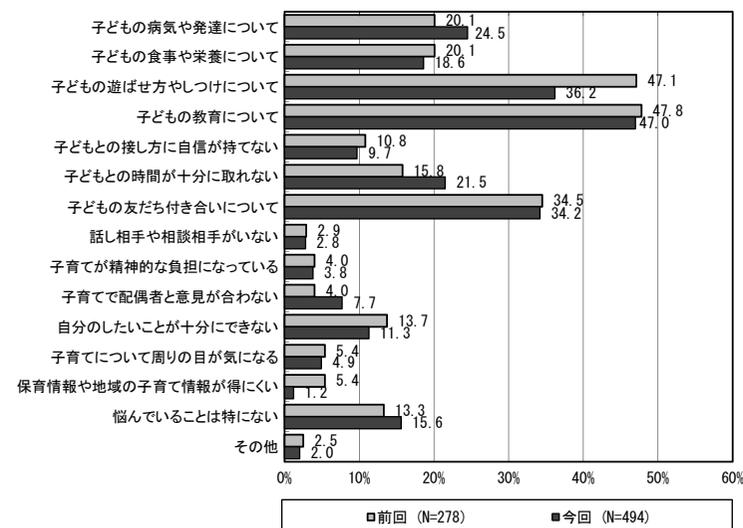
### 問27 その他の内容

親としての責任がはたせているのか
金銭面
思春期になる子供との接し方
同居の祖母と意見が違ふ
配偶者以外の親族に理解がない

### 問27 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」が特に低くなっており、「子どもとの時間が十分に取れない」が高くなっています。

小学生(MA) ※無回答は除いて集計



### 【問27 子育ての悩み】 × 【問2 学年】

“低学年”に比べて、“高学年”のほうが、「子どもの遊ばせ方やしつけについて」「子どもの教育について」が低くなっています。また、「悩んでいることは特にない」は高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	子どもの病気や発達について	子どもの食事や栄養について	子どもの遊ばせ方やしつけについて	子どもの教育について	子どもとの接し方に自信が持てない	子どもとの時間が十分に取れない	子どもの友だち付き合いについて
合計	775 100.0	277 35.7	269 34.7	381 49.2	292 37.7	77 9.9	142 18.3	141 18.2
0歳	64 100.0	21 32.8	33 51.6	32 50.0	20 31.3	6 9.4	6 9.4	9 14.1
1~2歳	243 100.0	88 36.2	98 40.3	134 55.1	79 32.5	23 9.5	32 13.2	29 11.9
3歳以上	468 100.0	168 35.9	138 29.5	215 45.9	193 41.2	48 10.3	104 22.2	103 22.0

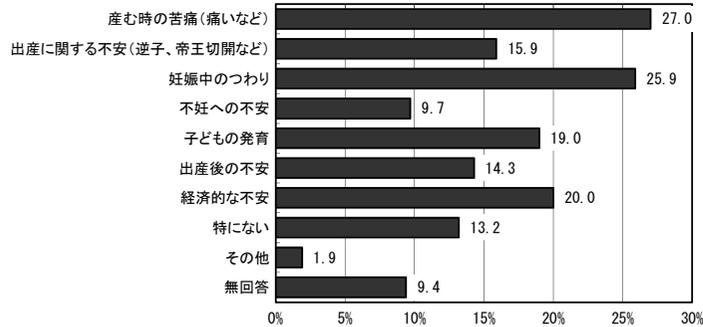
  

上段:度数 下段:%	合計	話し相手や相談相手がない	子育てが精神的な負担になっている	子育てで配偶者と意見が合わない	子育てで配偶者と意見が合わない	子育てについて周りの目が気になる	保育情報や地域の子育て情報が得にくい	悩んでいることは特にない	その他
合計	17 2.2	30 3.9	41 5.3	182 23.5	42 5.4	37 4.8	91 11.7	13 1.7	
0歳	2 3.1	2 3.1	1 1.6	17 26.6	4 6.3	5 7.8	12 18.8	1 1.6	
1~2歳	5 2.1	8 3.3	6 2.5	65 26.8	17 7.0	12 4.9	32 13.2	6 2.5	
3歳以上	10 2.1	20 4.3	34 7.3	100 21.4	21 4.5	20 4.3	47 10.0	6 1.3	

問35 妊娠・出産に不安や悩みがありましたか。(MA)

「産む時の苦痛(痛いなど)」が27.0%で最も高くなっています。次いで「妊娠中のつわり」が25.9%、「経済的な不安」が20.0%で続いています。

(MA) N=806



問35 その他の内容

切迫早産	6
切迫流産	3
1人親のため、自分に何かあったときの上の子の将来	
高齢出産だったのでダウン症が心配だった	
死産、流産をしているので、妊娠中は何かと不安が多かった	
持病	
妊娠に関して、会社内の対応、環境が整っていない為、不安や不信感を感じることが度々あった	
配偶者の協力、理解が不足していた	

上段:度数 下段:%	合計	子どもの病気や発達について	子どもの食事や栄養について	子どもの遊ばせ方やしつけについて	子どもの教育について	子どもとの接し方に自信が持てない	子どもとの時間が十分に取れない	子どもの友だち付き合いについて
合計	493 100.0	120 24.3	91 18.5	178 36.1	231 46.9	48 9.7	106 21.5	169 34.3
低学年	262 100.0	64 24.4	54 20.6	115 43.9	131 50.0	27 10.3	58 22.1	93 35.5
高学年	231 100.0	56 24.2	37 16.0	63 27.3	100 43.3	21 9.1	48 20.8	76 32.9

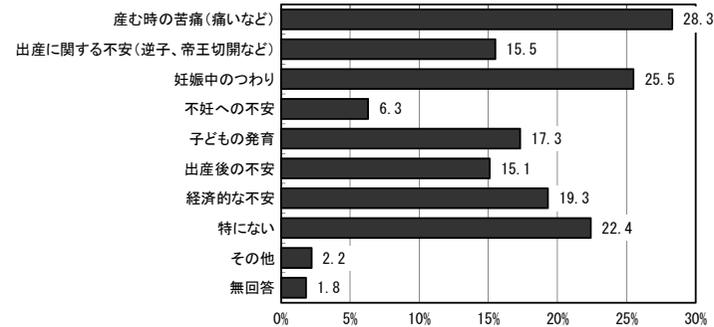
  

上段:度数 下段:%	合計	話し相手や相談相手がない	子育てが精神的な負担になっている	子育てで配偶者と意見が合わない	子育てについて周りの目が気になる	保育情報や地域の子育て情報が得にくい	悩んでいることは特にない	その他
合計	14 2.8	19 3.9	38 7.7	56 11.4	24 4.9	6 1.2	77 15.6	10 2.0
低学年	5 1.9	10 3.8	22 8.4	33 12.6	18 6.9	4 1.5	30 11.5	3 1.2
高学年	9 3.9	9 3.9	16 6.9	23 10.0	6 2.6	2 0.9	47 20.4	7 3.0

問28 妊娠・出産に不安や悩みがありましたか。(MA)

「産む時の苦痛(痛いなど)」が28.3%で最も高くなっています。次いで「妊娠中のつわり」が25.5%、「特にない」が22.4%で続いています。

(MA) N=491



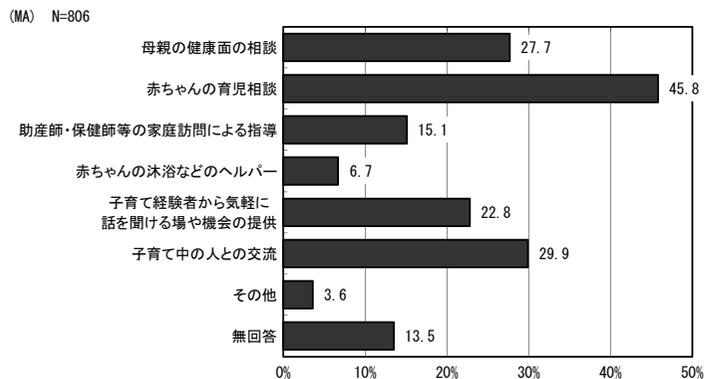
問28 その他の内容

夫が単身赴任であり仕事しきしない為	
仕事との両立	
自分が母たりうるか	
切迫早産で入院した	
先天的な病気	

一人目の赤ちゃん返りが心配だった  
 私に母親がいないため産後のお手伝いがなかったのできつかった  
 早産で入院した時、上の子ども小さかったため、十分に関わることができなかった

問36 妊娠中や出産後のサポートとして、どのようなサービスが重要だと思いますか。(MA)

「赤ちゃんの育児相談」が45.8%で最も高くなっています。次いで「子育て中の人との交流」が29.9%、「母親の健康面の相談」が27.7%が続いています。



問36 その他の内容

家事サポート	4
子供を短時間でも、気軽に預けられる所	3
子連れでも気軽にいける飲食店の充実	
出産した病院へ気軽に相談できる	
親族や友人で充分なので、見知らぬ人に威圧的に色々意見される様な雰囲気がかえって苦痛です。	
全ての当事者によりたくさんの”情報”が行き届くよう、育児新聞のようなものが毎月発行されると良い	
男性の育児参加	
乳房マッサージのための助産師の訪問(有料でいいので)	
妊娠初期のつわり、流産に対する配慮、制度	
母親の心のケア、産後うつなど	
リユースネットを利用すればベビーグッズは買わなくて済むし、そんなに産んで急にお金がかかるといことはない。お金がかかるイメージをなくしたい	
経済的な支援	
新生児期間里帰りできなかった場合、家事や上の兄弟のお世話ができるサポートが欲しかった	

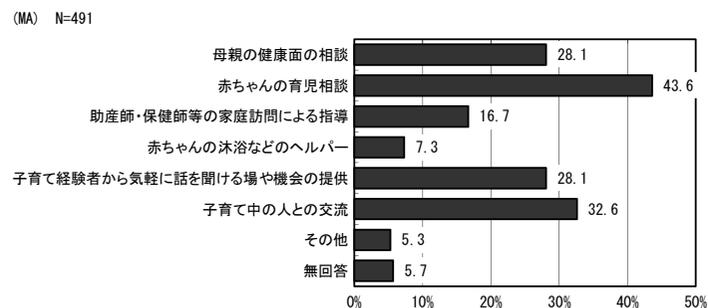
問36 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「母親の健康面の相談」、「赤ちゃんの育児相談」が高くなっており、「子育て中の人との交流」が低くなっています。

妊娠中の早産の可能性  
 妊娠中の病気。妊娠糖尿病と診断されたため  
 不育症

問29 妊娠中や出産後のサポートとして、どのようなサービスが重要だと思いますか。(MA)

「赤ちゃんの育児相談」が43.6%で最も高くなっています。次いで「子育て中の人との交流」が32.6%、「母親の健康面の相談」が28.1%が続いています。



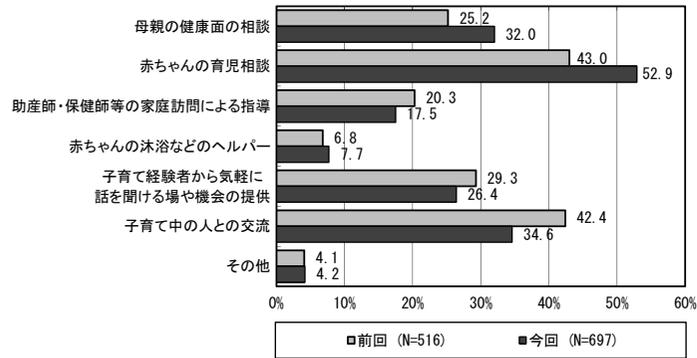
問29 その他の内容

家事のサポート	3
通院、買い物など外出時のサポート	2
子どもを預けられるサービス	2
フルタイムで働いていても利用できるサービス	
相談に家に訪問してくれる専門の方がいたら利用したかった。	
母親の精神面の相談、子供をあずけるサービスなど	
母親の産後1か月検診の料金負担	
妊娠中、体調が悪かった時期に母子推進の方が来られたが少し時期をずらしてもらいたい。	
産後の母親のケア専門も医療があればと思う。	
検診にいつもわりとあっさり終わるのでよく分からないままにすぎていった所もある。病院へ足を運ぶ際に、検診以外の色々な情報を得るといいと思う。	
全て必要だと思いますが、必要な人がサポートしてほしい時だけ、頼めるといい。	
自分でマイペースにやりたい人には強要するものではないと思います。	
末子の妊娠中に上の子の保育園受け入れがなく辛かった。一時保育を利用したが経済的に負担も大きかった。	
人見知り等、子育て中外出するのが辛い時期があった。	
など	

問29 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「赤ちゃんの育児相談」が特に高くなっており、「子育て中の人との交流」が特に低くなっています。

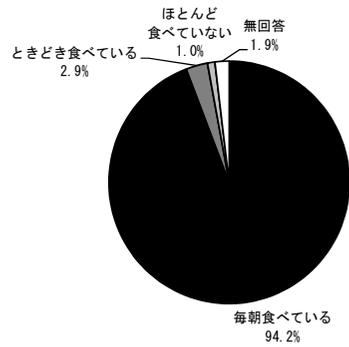
就学前(MA) ※無回答は除いて集計



問37 お子さんは毎日朝食を食べていますか。(SA)

「毎朝食べている」が94.2%を占めています。

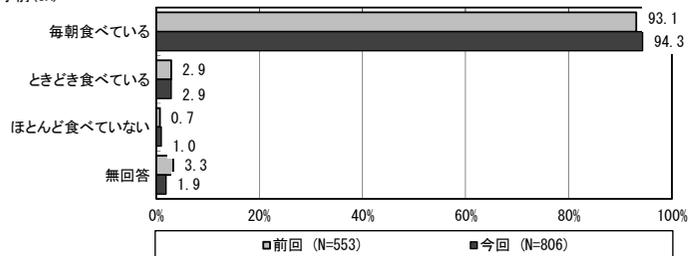
(SA) N=806



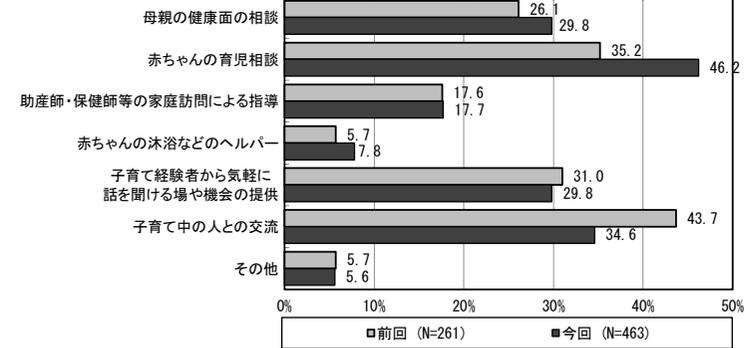
問37 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、全体的にあまり変化はありません。

就学前(SA)



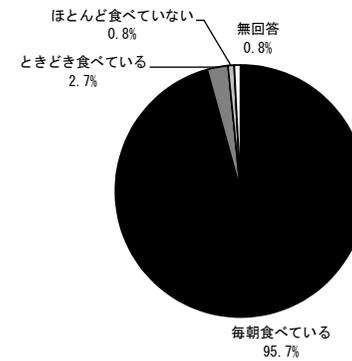
小学生(MA) ※無回答は除いて集計



問30 お子さんは毎日朝食を食べていますか。(SA)

「毎朝食べている」が95.7%を占めています。

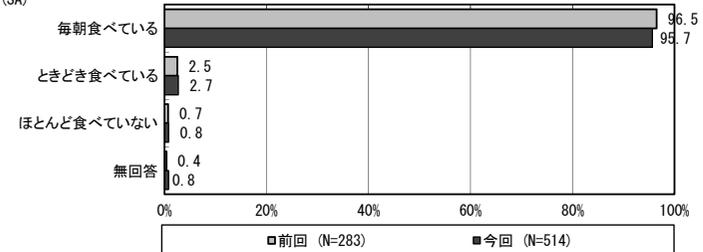
(SA) N=514



問30 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、全体的にあまり変化はありません。

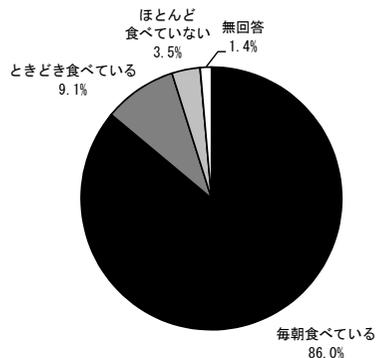
小学生(SA)



問37-1 あなたは毎日朝食を食べていますか。(SA)

「毎朝食べている」が86.1%を占めています。

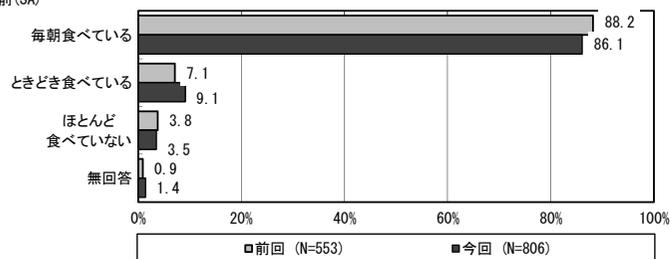
(SA) N=806



問37-1 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「毎朝食べている」が若干低くなっており、「ときどき食べている」が若干高くなっています。

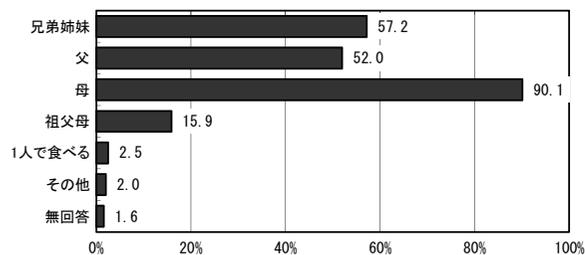
就学前(SA)



問37-2 お子さんと夕食を一緒に食べる方はどなたですか。(MA)

「母」が90.1%で最も高くなっています。次いで「兄弟姉妹」が57.2%、「父」が52.0%が続いています。

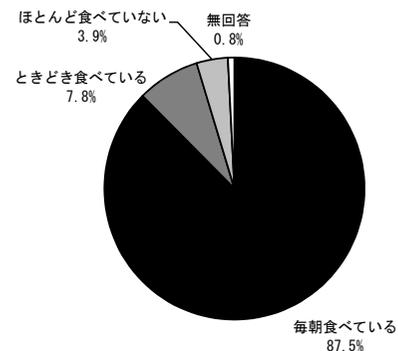
(MA) N=806



問30-1 あなたは毎日朝食を食べていますか。(SA)

「毎朝食べている」が87.5%を占めています。

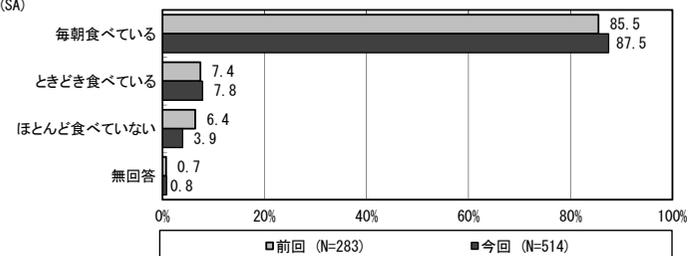
(SA) N=514



問30-1 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「毎朝食べている」が高くなっており、「ほとんど食べていない」が低くなっています。

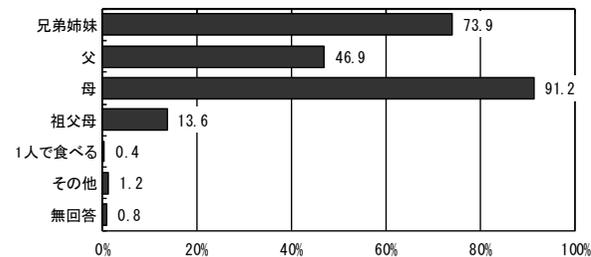
小学生(SA)



問30-2 お子さんと夕食を一緒に食べる方はどなたですか。(MA)

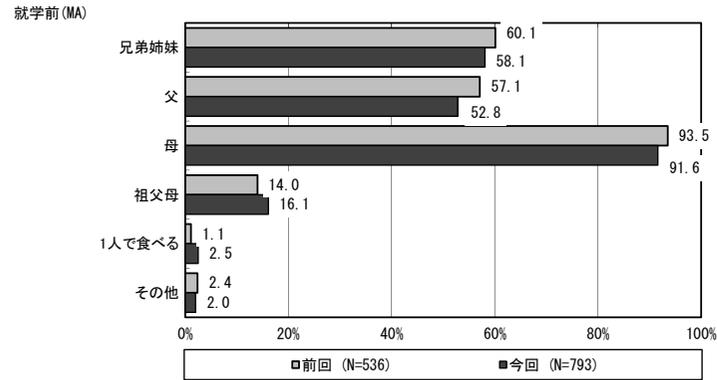
「母」が91.2%で最も高くなっています。次いで「兄弟姉妹」が73.9%、「父」が46.9%が続いています。

(MA) N=514



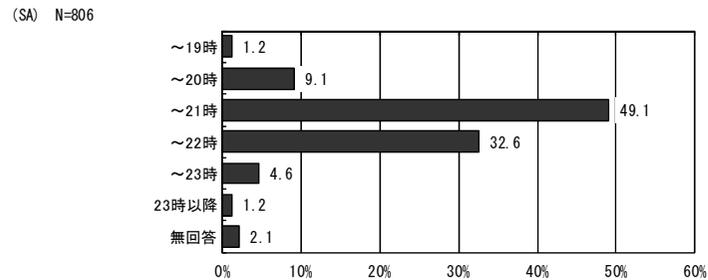
問37-2 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「兄弟姉妹」、「父」、「母」が若干低くなっており、「祖父母」、「1人で食べる」が若干高くなっています。



問38 お子さんは普段何時に寝ていますか。(SA)

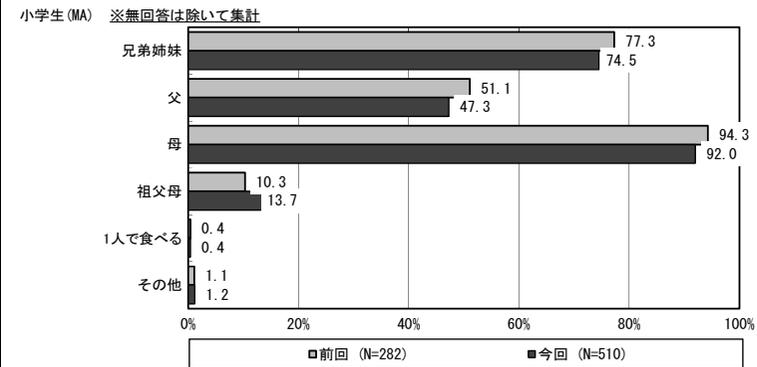
「～21時」が49.1%で最も高くなっています。次いで「～22時」が32.6%、「～20時」が9.1%で続いています。



※前回との比較は、数値に変動がほぼないため省略

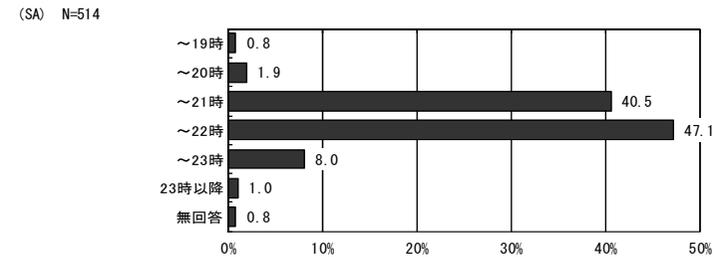
問30-2 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「兄弟姉妹」、「父」、「母」が若干低くなっており、「祖父母」が若干高くなっています。



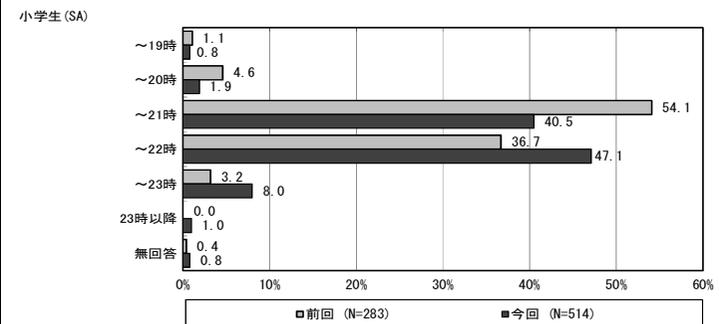
問31 お子さんは普段何時に寝ていますか。(SA)

「～22時」が47.1%で最も高くなっています。次いで「～21時」が40.5%、「～23時」が8.0%で続いています。



問31 【前回（平成21年）結果との比較】

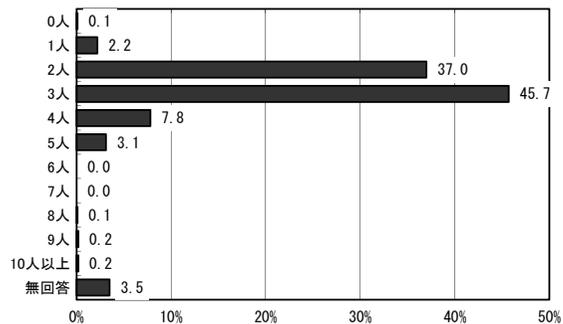
前回に比べて今回は、「～21時」が低くなっており、「～22時」、「～23時」が高くなっています。



問3 9 お子さんの人数 ①お子さんを何人育てたいと考えますか。(理想) (数量)

「3人」が45.7%で最も高くなっています。次いで「2人」が37.0%で続いています。

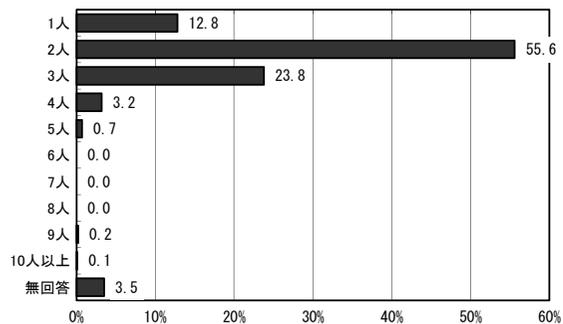
(数量) N=806



問3 9 お子さんの人数 ②現実に育てられると思う人数は何人ですか。(数量)

「2人」が55.6%で最も高くなっています。次いで「3人」が23.8%、「1人」が12.8%が続いています。

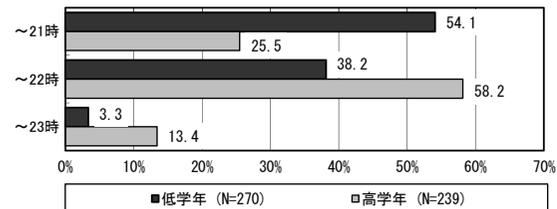
(数量) N=806



【問3 1 就寝時間】 × 【問2 学年】 (一部抜粋)

“低学年”に比べて、“高学年”のほうが、遅い時間に寝ています。

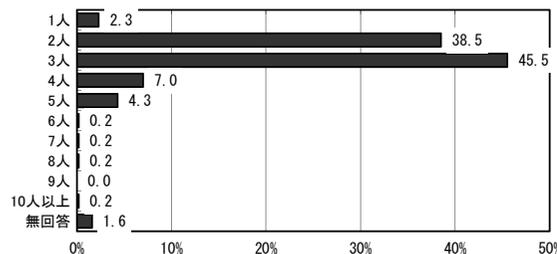
小学生 (SA)



問3 2 お子さんの人数 ①お子さんを何人育てたいと考えますか。(理想) (数量)

「3人」が45.5%で最も高くなっています。次いで「2人」が38.5%が続いています。

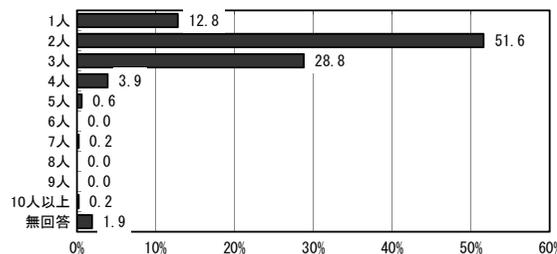
(数量) N=514



問3 2 お子さんの人数 ②現実に育てられると思う人数は何人ですか。(数量)

「2人」が51.6%で最も高くなっています。次いで「3人」が28.8%が続いています。

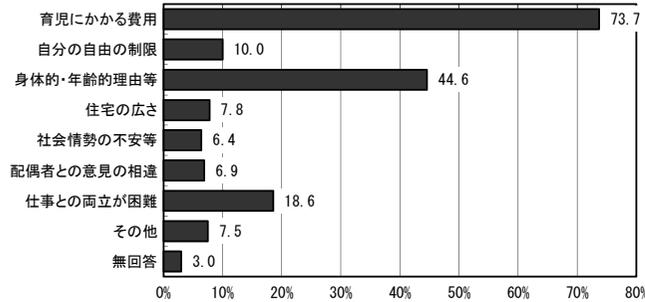
(数量) N=514



問39-1 理想の人数のお子さんを持つことができない理由は何ですか。(MA)

「育児にかかる費用」が73.7%で最も高くなっています。次いで「身体的・年齢的理由等」が44.6%、「仕事との両立が困難」が18.6%で続いています。

(MA) N=361



問39-1 その他の内容

母子家庭のため	4
不妊のため	4
健康面	2
いざとなった時助けてくれる人がいない	
教育にかかる費用	
現在2人の育児で大変だから	
子供が入退院を繰り返しているため	
産後うつになった。子育てが大変すぎる	
精神的なもの	
配偶者の死別	
増える分、1人1人の子どもに関わる時間が減ると思う	
妊娠出産時の恐怖心	

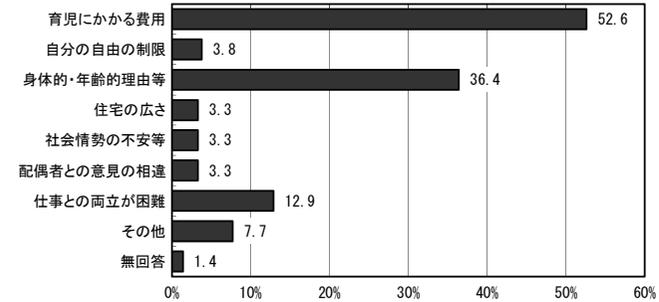
問39-1 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、特に「身体的・年齢的理由等」が高くなっています。

問32-1 理想の人数のお子さんを持つことができない理由は何ですか。(MA)

「育児にかかる費用」が52.6%で最も高くなっています。「身体的・年齢的理由等」が36.4%、「仕事との両立が困難」が12.9%で続いています。

(MA) N=209



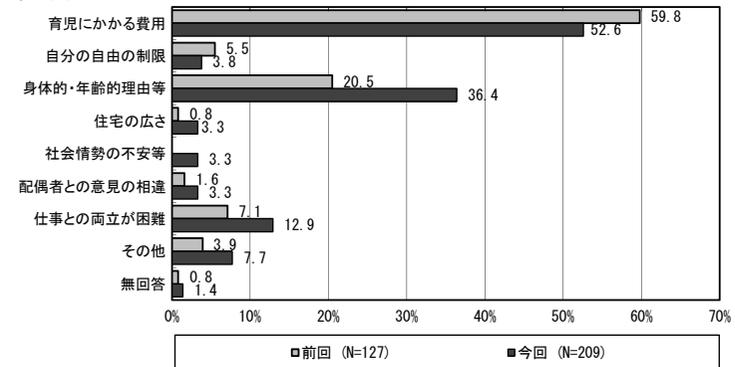
問32-1 その他の内容

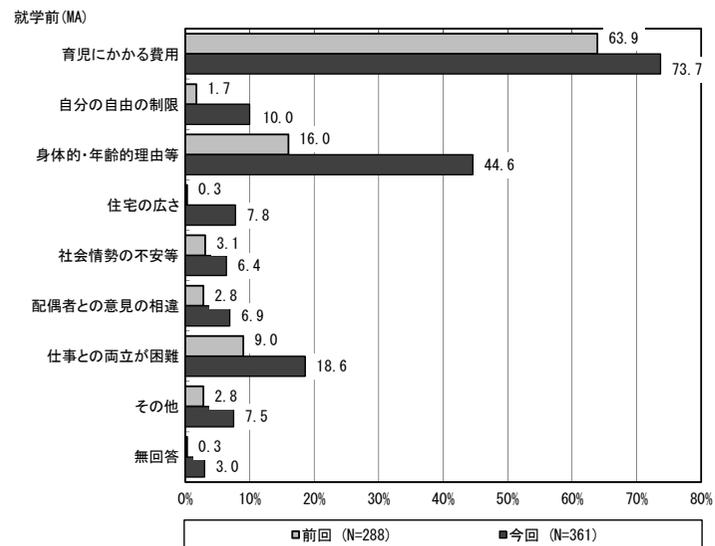
母子家庭の為	2
不妊のため	2
2人でちょうどいい。歳が離れすぎ	
教育にかかる費用	
単純に産み分けができるのであれば欲しいと思うが、現状で満足	
配偶者がいないのでもし機会があればの事です。	
一人で見れる子供の人数	

問32-1 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「育児に係る費用」が低くなっており、「身体的・年齢的理由等」、「仕事との両立が困難」が高くなっています。

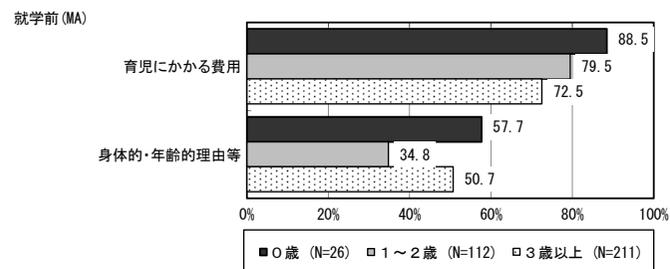
小学生(MA)





【問39-1 理想の子どもの人数ではない理由】 × 【問2 年齢】 (一部抜粋)

年齢が高いほど、「育児にかかる費用」が低くなっています。

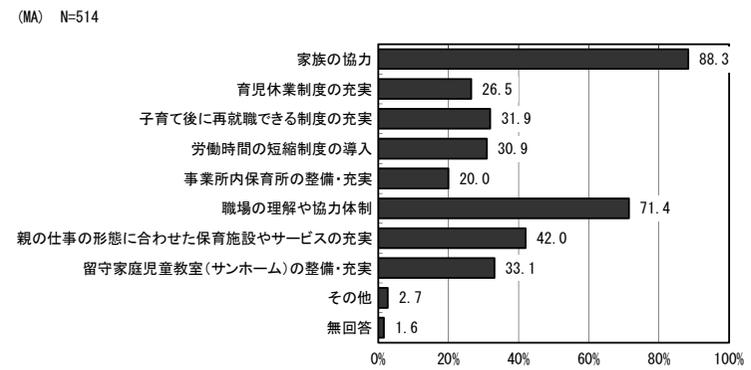
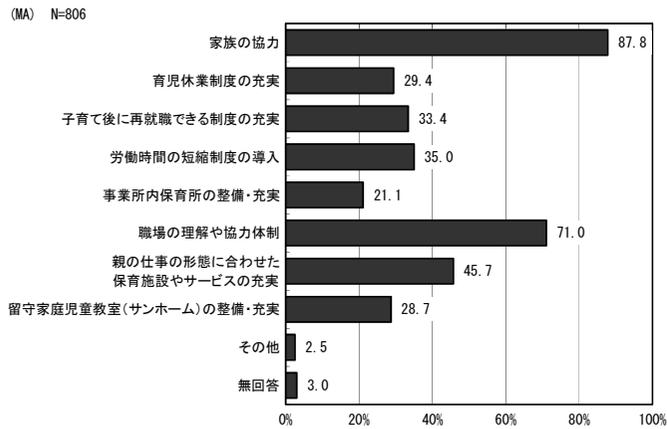


問40 子どもを育てるうえで、仕事と子育てを両立させるためには何が必要だと思いますか。(MA)

「家族の協力」が87.8%で最も高くなっています。次いで「職場の理解や協力体制」が71.0%、「親の仕事の形態に合わせた保育施設やサービスの充実」が45.7%が続いています。

問33 子どもを育てるうえで、仕事と子育てを両立させるためには何が必要だと思いますか。(MA)

「家族の協力」が88.3%で最も高くなっています。次いで「職場の理解や協力体制」が71.4%、「親の仕事の形態に合わせた保育施設やサービスの充実」が42.0%が続いています。



問4 0 その他の内容	
病児保育の充実	8
フレックス導入、ワークシェアリングなどの労働環境	3
学童保育の拡充	2
1日短時間でも保険をつけてもらえる職場があればすごく良いと思う	
あいぱーくでの1才半健診とかの要領の悪さが10年間で変わっていないこと。	
もっとスムーズに子供と親に負担なくスムーズに流れるように工夫して欲しい	
お母さんの前向きな気持ち	
子育てと仕事は両立できない	
子供を作りたいと思える環境と支援のある環境	
時間外勤務をさせないようにする事業所の取り組み	
仕事が無くても保育所に預けられる病児保育	
職場の人員確保によるゆとり、給料	
専業主婦であっても複数児がいる場合の制度的な配慮	
待機児童の解消	
通園している幼稚園では暖かくサポートしてくださるので、助かっている。子どもが安心していられる場所での援助。その場限りでは無理	
夏休みに対応して長期休暇。夏休みが各家庭で色々勉強できる唯一の時間なので、出来れば家にいたい。	
働く会社ももっと産育休に理解や協力的で取りやすい環境。1人目のとき、産育休が何とか取れたが、2人目は理解してもらえず、とれなかった。	
母の心のよりどころ。子育てより仕事に逃げている母が多いように思う。子どもが寂しがっているように思う	
保育料	
夜勤の人のための夜間保育	
など	

問3 3 その他の内容	
国民(社会全体)の意識改革	2
必ずしも両立しなくてもいいと思います。専業主婦として子育てしていけるだけの夫の仕事と収入の安定する世の中であってほしい。	
子供が小さいうちは一緒にいて小中学生ころから働きだす。子供も理解できる。	
子供の自立	
子供を集団生活に入れるととにかく最初の1~2年は病気ばかりです。	
労働時間の短縮も必要ですが、一律に短くするのではなく、フレックスでの出勤や早退など融通がきく労働時間体制だと働きやすいと思います。	
時間外勤務をさせない職場の制度の構築	
地域の協力	

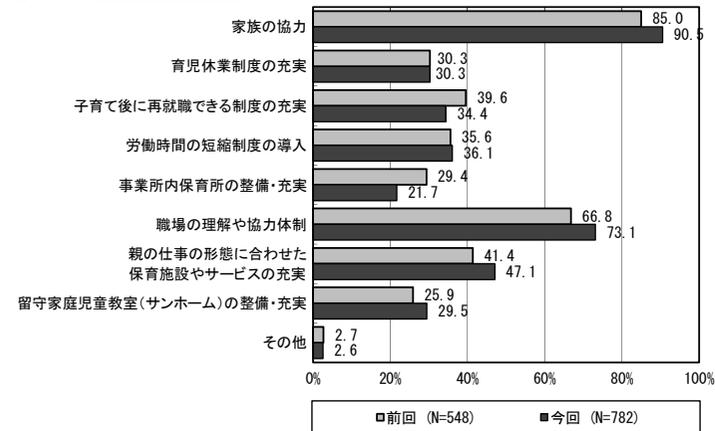
問4 0 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「家族の協力」、「職場の理解や協力体制」、「親の仕事の形態に合わせた保育施設やサービスの充実」、「留守家庭児童教室(サンホーム)の整備・充実」が高くなっています。

問3 3 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「子育て後に再就職できる制度の充実」、「労働時間の短縮制度の導入」、「事業所内保育所の整備・充実」が低くなっています。

就学前(MA) ※無回答は除いて集計

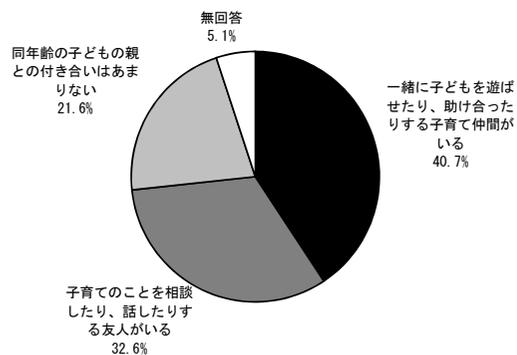


地域での子育ての支援について

問 4 1 子をもつ親同士のつきあい、育児のグループ等の子育ての仲間はいますか。(SA)

「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」が40.7%で最も高く、次いで「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」が32.6%となっています。

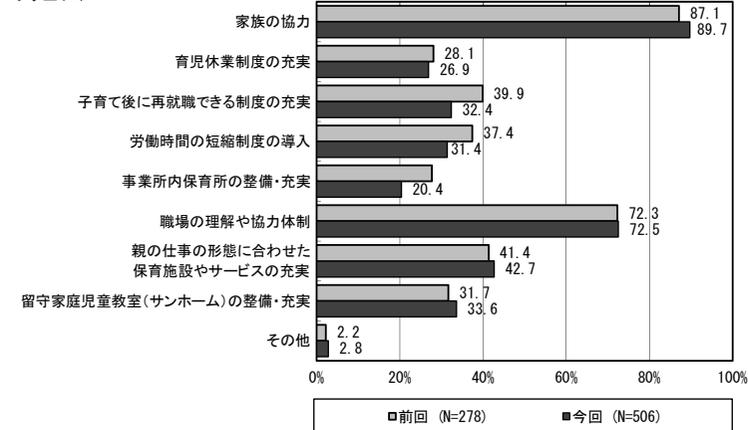
(SA) N=806



問 4 1 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」、「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」が高くなっています。

小学生(MA)

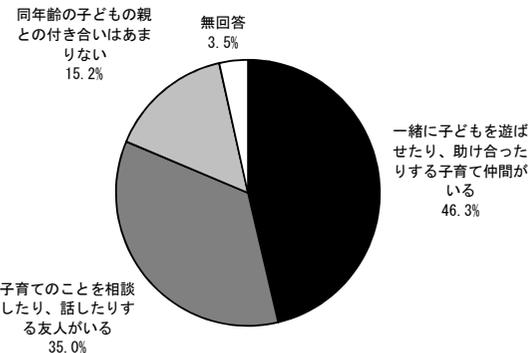


地域での子育ての支援について

問 3 4 子をもつ親同士のつきあい、育児のグループ等の子育ての仲間はいますか。(SA)

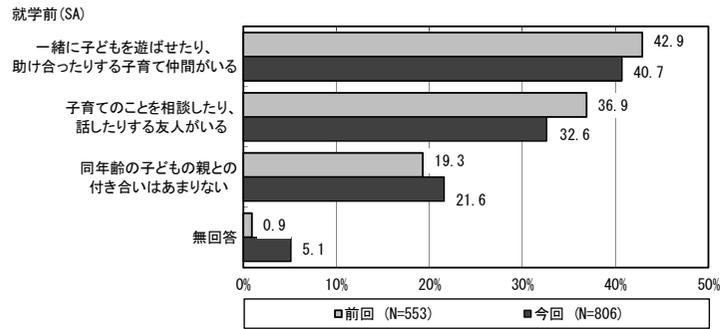
「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」が46.3%で最も高く、次いで「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」が35.0%となっています。

(SA) N=514



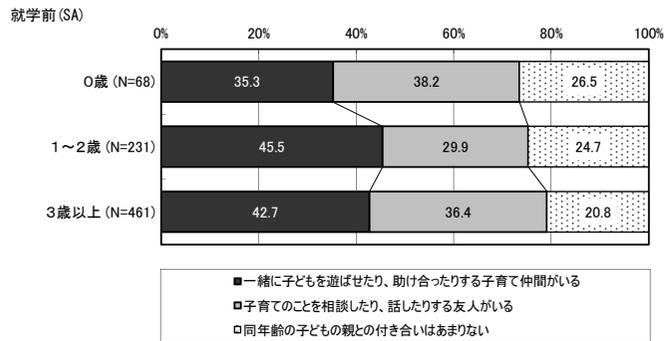
問 3 4 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」が低くなっています。



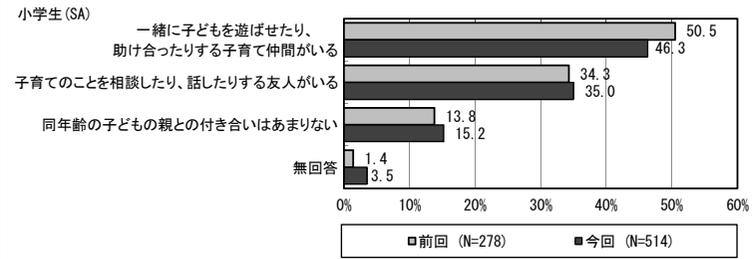
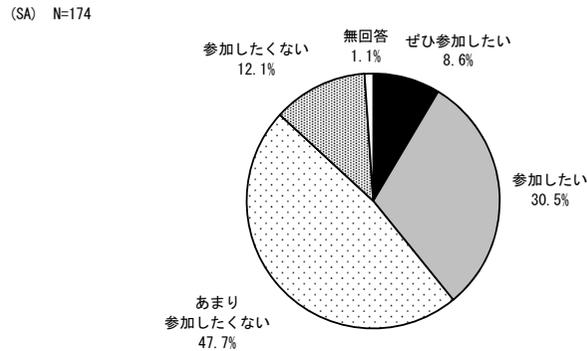
【問4 1 子育ての仲間】 × 【問2 年齢】

年齢が高いほど、「同年齢の子どもの親との付き合いはあまりない」が低くなっています。



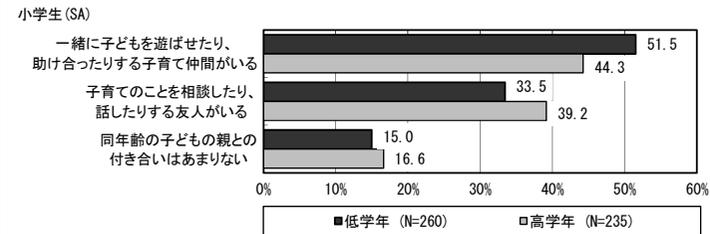
問4 1 - 1 子育ての仲間作りの機会があれば、参加したいと思いますか。(SA)

「あまり参加したくない」が47.7%で最も高く、次いで「参加したい」が30.5%、「参加したくない」が12.1%で続いています。



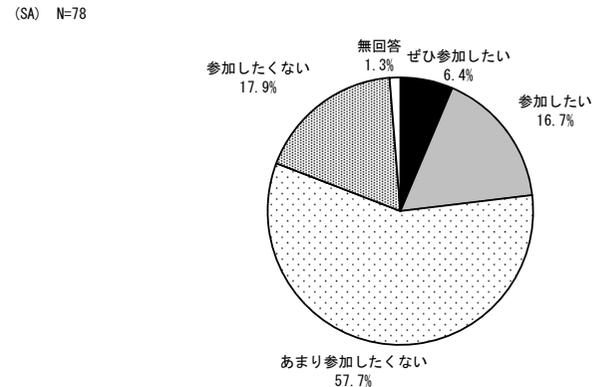
【問3 4 子育ての仲間】 × 【問2 学年】

“低学年”に比べて、“高学年”のほうが、「一緒に子どもを遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいる」が低くなっており、「子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる」が高くなっています。



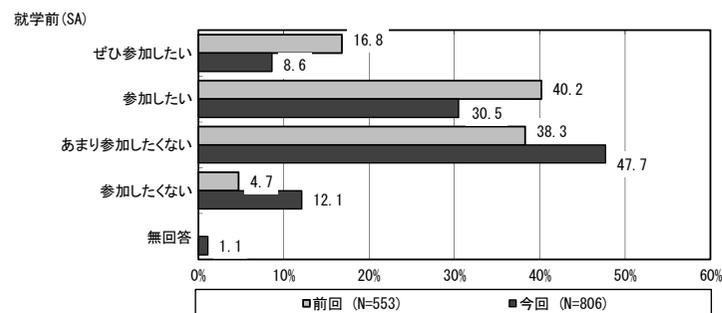
問3 4 - 1 子育ての仲間作りの機会があれば、参加したいと思いますか。(SA)

「あまり参加したくない」が57.7%を占めています。



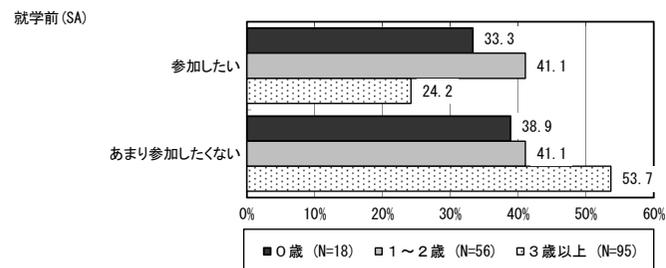
問4 1 - 1 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「ぜひ参加したい」、「参加したい」が低くなっており、「あまり参加したくない」、「参加したくない」が高くなっています。



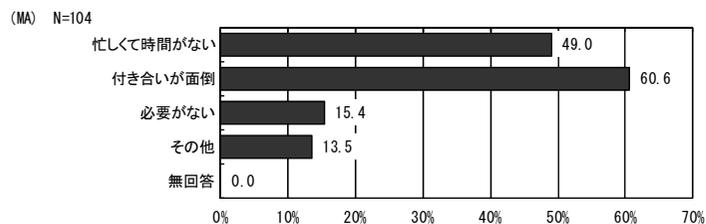
【問4 1 - 1 仲間づくり機会への参加】 × 【問2 年齢】 (一部抜粋)

年齢が高いほど、「あまり参加したくない」が高くなっています。



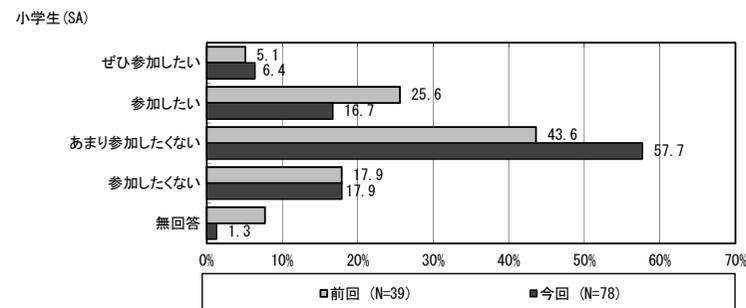
問4 1 - 2 参加したくない理由は何ですか。(MA)

「付き合いが面倒」が60.6%で最も高くなっています。次いで「忙しくて時間がない」が49.0%、「必要がない」が15.4%で続いています。



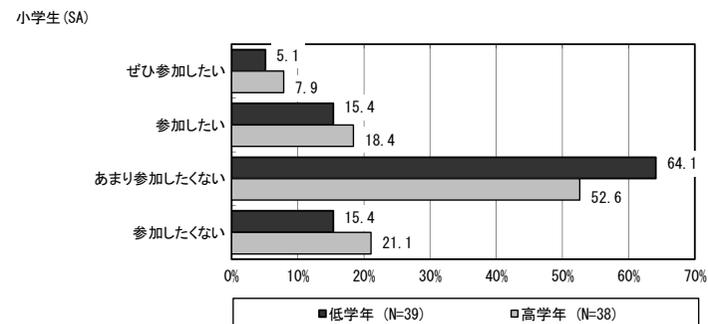
問3 4 - 1 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「参加したい」が低くなっており、「あまり参加したくない」が高くなっています。



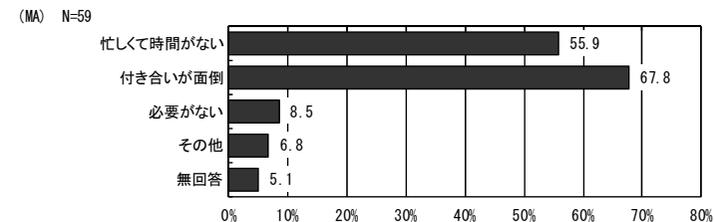
【問3 4 - 1 仲間づくり機会への参加】 × 【問2 学年】

“低学年”に比べて、“高学年”のほうが、「あまり参加したくない」が低くなっています。



問3 4 - 2 参加したくない理由は何ですか。(MA)

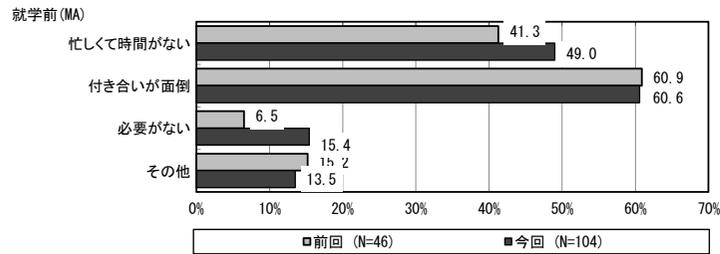
「付き合いが面倒」が67.8%で最も高くなっています。次いで「忙しくて時間がない」が55.9%、「必要がない」が8.5%で続いています。



問4 1-2 その他の内容	
もう十分に仲間が居る	3
自分が人見知りをするので、人の輪に入っていくのが苦手	2
後から入ると既にグループができているため、参加しても話すことができない	
同じ年の子どもと遊ばせたいが、親が監督したら親同士が仲良くしなきゃいけないし、指導者が監督してくれる場所に行きたい。	
親が息抜きできて、子どもは子供同士が交流できるようなものがいい	
グループだと価値観が異なる人も集うので大変なことが多いと感じた	
子育て仲間は作りたいが、子供のお昼寝時間に行う時間が重なり、生活のリズムを崩してしまうのが嫌だから	
自信がない(年齢差があるので…)。子供が他児とうまくかかわれるかも心配	
付き合いが負担になる。学校の友達など、必ず付き合わなくてはいけない年齢にはまだ達していないので	
妊娠中のため	
私の体があまり健康でないため、他の人に合わせて行動するのが難しい	
信用できない。	
	など

問4 1-2 【前回(平成21年)結果との比較】

前年に比べて今回は、「忙しくて時間がない」、「必要がない」が高くなっています。



【問4 1-2 不参加の理由】 × 【問2 年齢】

年齢が高いほど、「必要がない」が低くなっています。

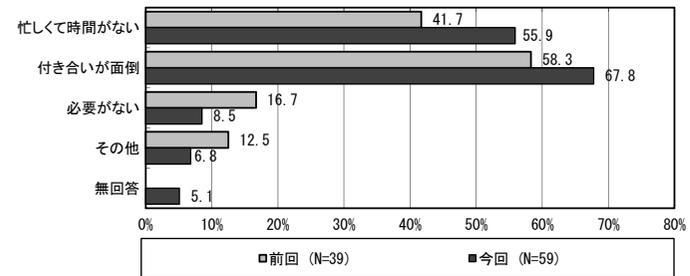
	合計	忙しくて時間がない	付き合いが面倒	必要がない	その他
上段:度数					
下段:%					
合計	102	51	61	16	14
	100.0	50.0	59.8	15.7	13.7
0歳	8	3	5	2	2
	100.0	37.5	62.5	25.0	25.0
1~2歳	29	15	17	7	3
	100.0	51.7	58.6	24.1	10.3
3歳以上	65	33	39	7	9
	100.0	50.8	60.0	10.8	13.9

問3 4-2 その他の内容	
付き合いが苦手	5
すでに十分なつながりがある	2
良い人ばかりなら良いがトラブル等に巻き込まれたら、精神的負担が大きい	
上の子はみんな大きいので今の子の親子さんとは年代が違いすぎる。	
人の悪い所ばかりを探して悪口を言う場所になるから	
面倒な事が増えた気がします	

問3 4-2 【前回(平成21年)結果との比較】

前年に比べて今回は、「忙しくて時間がない」、「付き合いが面倒」が高くなっています。

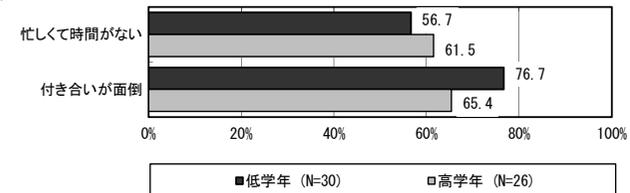
小学生(MA)



【問3 4-2 不参加の理由】 × 【問2 学年】 (一部抜粋)

“低学年”に比べて、“高学年”のほうが、「付き合いが面倒」が低くなっています。

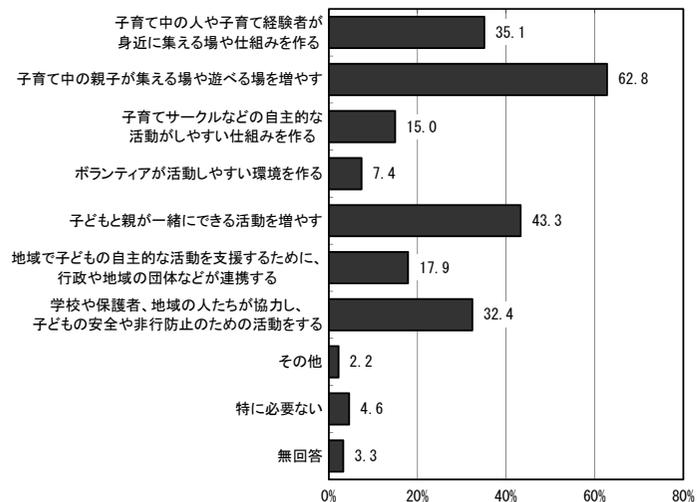
小学生(MA)



問4 2 安心して子育てをするために、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。(MA)

「子育て中の親子が集える場や遊べる場を増やす」が62.8%で最も高くなっています。次いで「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が43.3%、「子育て中の人や子育て経験者が身近に集える場や仕組みを作る」が35.1%で続いています。

(MA) N=806



問4 2 その他の内容

C S P の講座
学童保育の無くなる4年生～利用できる、放課後に小学校での各種教室(運動、勉強、音楽その他)。地域に居るシニアに先生をしてもらうなど、安価で安心な教室
家事サポート、父の職場理解(3歳までの子がいる人は17時に帰るなど)
公園で子供だけで遊べるよう、ボランティアさんの見守りなどしてほしい
公的機関では市役所HPと地域HPの連携、充実、情報共有。歩道、自転車道の整備
子供連れの人やお年寄りの方が安全に公園やスーパーなどに行き来できるような環境づくりをしてほしい
小学校に上がれば友達が出来たらうから必要ない
たくさんのお金がかからず、自然の中で集い、遊んだり、あいばーなどでイベントがたくさんあると嬉しいです。(何か作品を作ったり、何か学んだり、食育の機会をもっと増やしたり。)
働いているのでそういう場があっても参加する時間が無い(土、日勤務が通常のため)
未婚者を減らすことが大事。結婚し、子供を持てば、子育てはしたくなる。結婚しない人が多い。子持ちに仕事させる前に、家庭を増やしてはどうか?
未就学では地域内に子どもがいるかどうか全くわからない。小学生と未就学の子が触れ合うイベントがあったらよいかも
地域の公園がとても汚いので、遊具の充実や雑草、ハチ等整備して欲しい

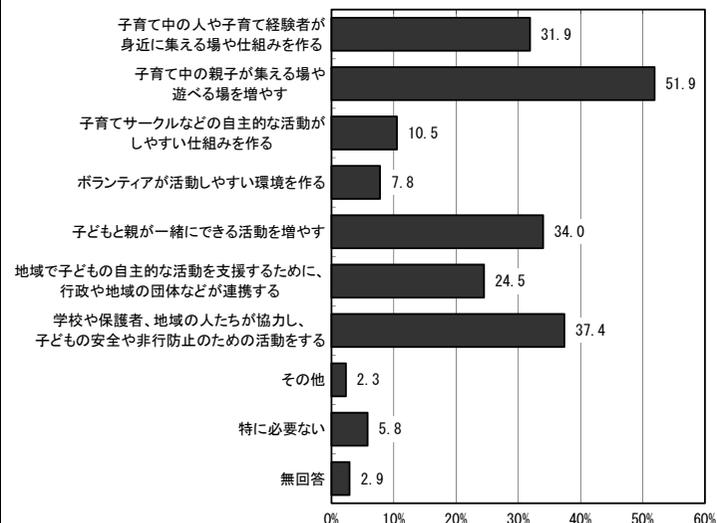
問4 2 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「子育て中の人や子育て経験者が身近に集える場や仕組みを作る」が低くなっています。

問3 5 安心して子育てをするために、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。(MA)

「子育て中の親子が集える場や遊べる場を増やす」が51.9%で最も高くなっています。次いで「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止のための活動をする」が37.4%、「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が34.0%で続いています。

(MA) N=514



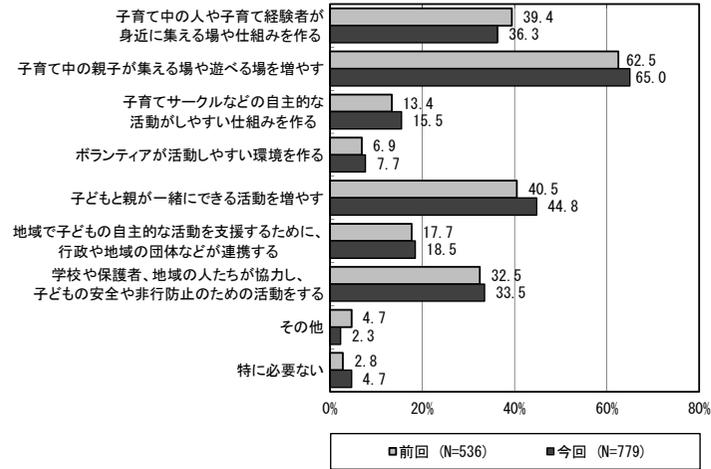
問3 5 その他の内容

今の状況で充分有り難いと思っています。皆様よくしてもらっています
光市は公園遊具等少ない=交流できる場がない
日頃から地域の人と交流を図る
歩道、自転車道の整備。市ホームページと地域ホームページの連携情報共有
遊具ある公園をふやす

問3 5 【前回(平成21年)結果との比較】

前回に比べて今回は、「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が高くなっており、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止のための活動をする」が低くなっています。

就学前 (MA) ※無回答は除いて集計



【問4 2 地域に必要な取組み】 × 【問2 年齢】

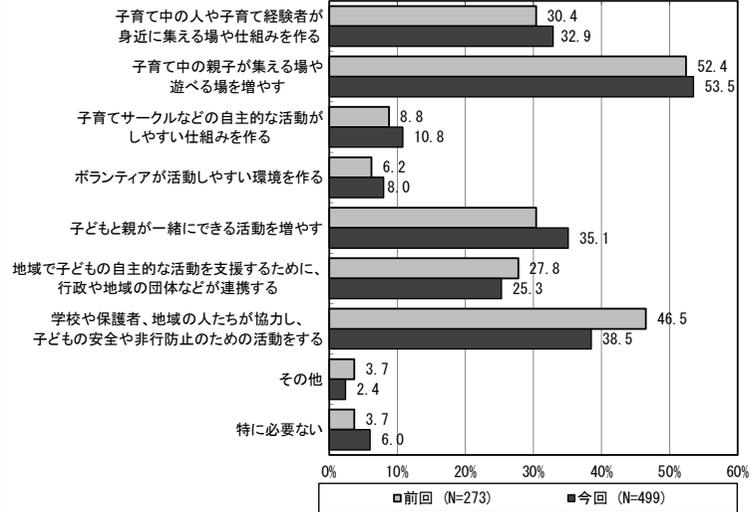
年齢が高いほど、「子育て中の親子が集える場や遊べる場を増やす」や「子どもと親と一緒にできる活動を増やす」が低くなっています。また、「学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止のための活動をする」が高くなっています。

上段:度数 下段:%	地域に必要な取組み					
	合計	子育て中の人や子育て経験者が身近に集える場や仕組みを作る	子育て中の親子が集える場や遊べる場を増やす	子育てサークルなどの自主的な活動がしやすい仕組みを作る	ボランティアが活動しやすい環境を作る	子どもと親と一緒にできる活動を増やす
合計	775 100.0	282 36.4	505 65.2	119 15.4	60 7.7	
0歳	66 100.0	26 39.4	52 78.8	12 18.2	7 10.6	
1~2歳	237 100.0	97 40.9	169 71.3	45 19.0	10 4.2	
3歳以上	472 100.0	159 33.7	284 60.2	62 13.1	43 9.1	

上段:度数 下段:%	地域で必要な取組み					
	合計	子どもと親と一緒にできる活動を増やす	地域で子どもの自主的な活動を支援するために、行政や地域の団体などが連携する	学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止のための活動をする	その他	特に必要ない
合計	346 100.0	142 44.7	260 18.3	18 33.6	37 2.3	37 4.8
0歳	36 100.0	13 54.6	13 19.7	16 24.2	-	2 3.0
1~2歳	110 100.0	35 46.4	35 14.8	72 30.4	4 1.7	6 2.5
3歳以上	200 100.0	94 42.4	94 19.9	172 36.4	14 3.0	29 6.1

小学生 (MA) ※無回答は除いて集計



【問3 5 地域に必要な取組み】 × 【問2 学年】

“低学年”に比べて、“高学年”のほうが、「子育て中の親子が集える場や遊べる場を増やす」が低くなっています。

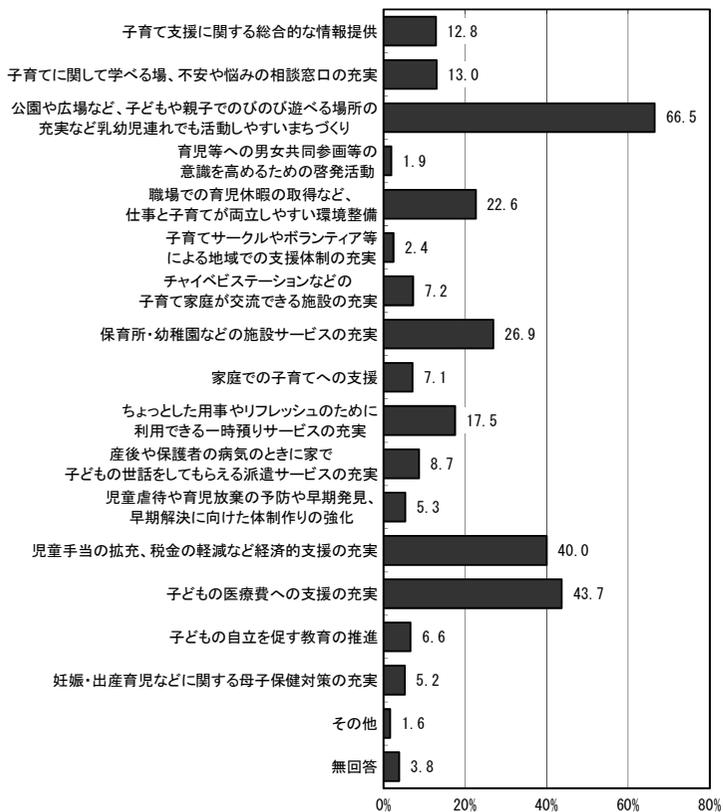
上段:度数 下段:%	合計	地域に必要な取組み										
		子育て中の人や子育て経験者が身近に集える場や仕組みを作る	子育て中の親子が集える場や遊べる場を増やす	子育てサークルなどの自主的な活動がしやすい仕組みを作る	ボランティアが活動しやすい環境を作る	子どもと親と一緒にできる活動を増やす	地域で子どもの自主的な活動を支援するために、行政や地域の団体などが連携する	学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止のための活動をする	その他	特に必要ない		
合計	498 100.0	164 32.9	267 53.6	54 10.8	40 8.0	175 35.1	126 25.3	191 38.4	12 2.4	30 6.0		
低学年	265 100.0	84 31.7	156 58.9	26 9.8	23 8.7	103 38.9	82 23.4	97 36.6	4 1.5	14 5.3		
高学年	233 100.0	80 34.3	111 47.6	28 12.0	17 7.3	72 30.9	64 27.5	94 40.3	8 3.4	16 6.9		

今後の要望等について

問43 子育て支援等について、重点的に取り組んでほしい事は何ですか。(MA)

「公園や広場など、子どもや親子でのびのび遊べる場所の充実など乳幼児連れでも活動しやすいまちづくり」が66.5%で最も高くなっています。次いで「子どもの医療費への支援の充実」が43.7%、「児童手当の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実」が40.0%で続いています。

(MA) N=806



問43 その他の内容

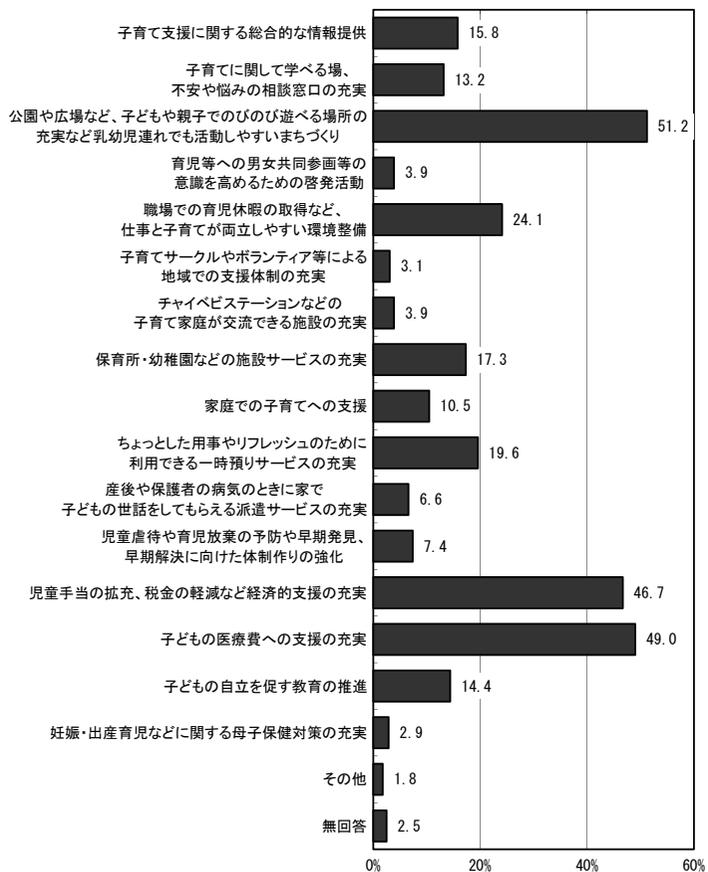
病児保育	4
3番目も医療費が自己負担なのは厳しい。	
CSP講座を継続して行う	
育児休暇取得日数の延長	
今、市内の病時保育が休み中で困っている。いつもは保育園ですが、病気の時は親もなかなか休まず、市外の祖父母に預かってもらっています。できるだけ早く復活し、人数も4人を増やしてほしい	
親の教育	

今後の要望等について

問36 子育て支援等について、重点的に取り組んでほしい事は何ですか。(MA)

「公園や広場など、子どもや親子でのびのび遊べる場所の充実など乳幼児連れでも活動しやすいまちづくり」が51.2%で最も高くなっています。次いで「子どもの医療費への支援の充実」が49.0%、「児童手当の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実」が46.7%で続いています。

(MA) N=514



問36 その他の内容

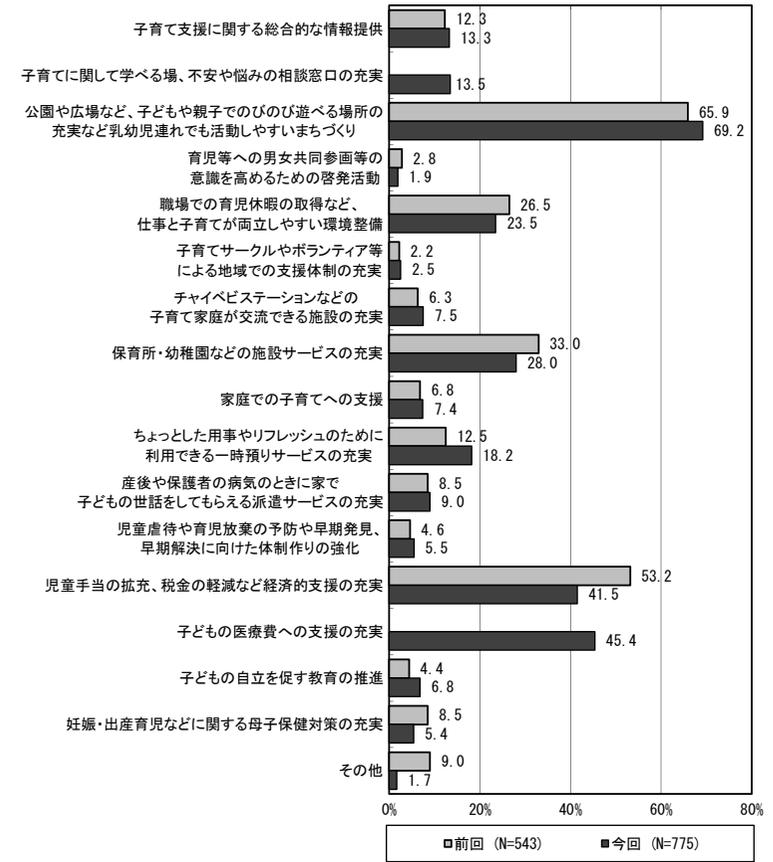
病児保育、病後児童の預かり保育
-----------------

子供が小さい間は母親が働かなくても良い環境にしてほしい。何故働かそうとするのか？男性だけで生活できる給料、支援があればもっと安心して子供が産めて育てられる
小学生対象の科学教室とか、体育館の自由使用（雨天時）とさせてほしい
父親の意識が低すぎる。企業でも積極的に父親教室などして、母親、子どもへのかかわりを勉強すべき。周りでも父親が無関心な人が多く、みんなあきらめている。市でも父親を教育する会など、立ち上げてみては？最近でNHKでもおとうさんといっしょという番組が人気。これからは父親のかかわりが大切。家では子どもがいるときは、積極的に父親に風呂に入れさせたり、遊ばせるようにしている。メールやアンケートなどによる、2～3ヶ月に1回程度の気軽な家庭内の近況報告をするシステムがあるといいとおもいます。
公園の整備。遊具をなくすだけの管理は子供の遊び場をなくします。
など

問43 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「保育所・幼稚園などの施設サービスの充実」、「児童手当の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実」が低くなっています。

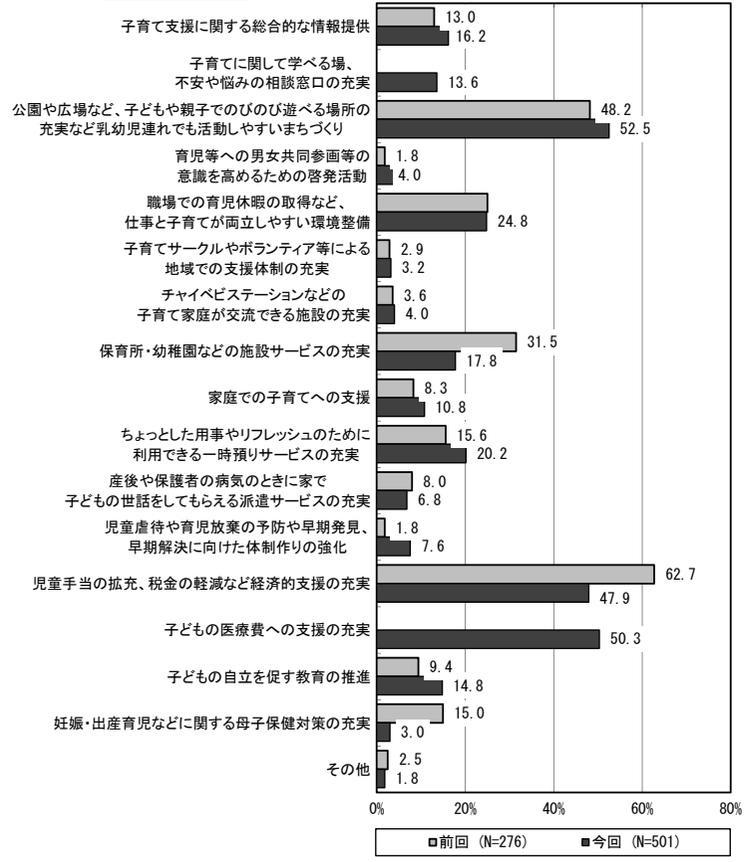
就学前(MA) ※無回答は除いて集計



問36 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「保育所・幼稚園などの施設サービス」が低くなっています。ただし、前回の選択肢には『放課後児童クラブ』についても書かれており、割合の低くなる要因と考えられます。その他「児童手当の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実」が低くなっています。

小学生(MA) ※無回答は除いて集計



【問4 3 取り組んでほしい子育て支援】 × 【問2 年齢】 (一部抜粋)

年齢が高いほど、「児童手当の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実」が高くなっています。

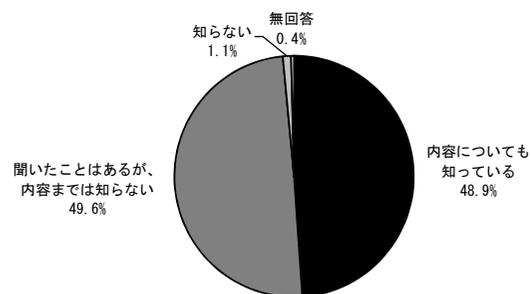
上段:度数 下段:%	合計	連れても活動しやすいまちづくり	公園や広場など、子どもや親子でのびのび遊べる場所の充実など乳幼児	職場での育児休暇の取得など、仕事と子育てが両立しやすい環境整備	保育所・幼稚園などの施設サービスの充実	ちよっとした用事やリフレッシュのために利用できる一時預りサービスの充実	児童手当の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実	子どもの医療費への支援の充実
合計	770	533	182	216	141	320	349	
	100.0	69.2	23.6	28.1	18.3	41.6	45.3	
0歳	68	49	17	19	15	13	28	
	100.0	72.1	25.0	27.9	22.1	19.1	41.2	
1~2歳	232	172	68	67	56	86	91	
	100.0	74.1	29.3	28.9	24.1	37.1	39.2	
3歳以上	470	312	97	130	70	221	230	
	100.0	66.4	20.6	27.7	14.9	47.0	48.9	

おっばい都市宣言について

問4 4 「おっばい都市宣言」について、ご存じですか。(SA)

「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が49.6%で最も高く、次いで「内容についても知っている」が48.9%となっています。

(SA) N=806



【問3 6 取り組んでほしい子育て支援】 × 【問2 学年】 (一部抜粋)

“低学年”に比べて、“高学年”のほうが、「公園や広場など、子どもや親子でのびのび遊べる場所の充実など乳幼児連れでも活動しやすいまちづくり」が低くなっています。また、「児童手当の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実」は高くなっています。

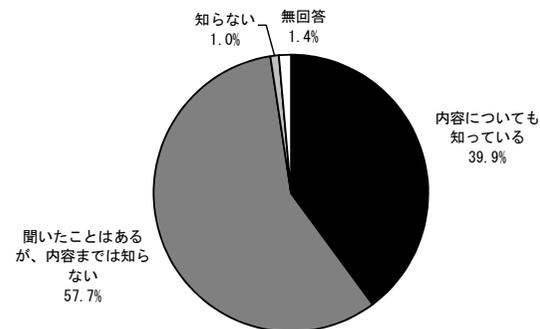
上段:度数 下段:%	合計	連れても活動しやすいまちづくり	公園や広場など、子どもや親子でのびのび遊べる場所の充実など乳幼児	職場での育児休暇の取得など、仕事と子育てが両立しやすい環境整備	ちよっとした用事やリフレッシュのために利用できる一時預りサービスの充実	児童手当の拡充、税金の軽減など経済的支援の充実	子どもの医療費への支援の充実
合計	500	263	124	101	239	251	
	100.0	52.6	24.8	20.2	47.8	50.2	
低学年	264	156	66	57	102	139	
	100.0	59.1	25.0	21.6	38.6	52.7	
高学年	236	107	58	44	137	112	
	100.0	45.3	24.6	18.6	58.1	47.5	

おっばい都市宣言について

問3 7 「おっばい都市宣言」について、ご存じですか。(SA)

「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が57.8%を占めています。

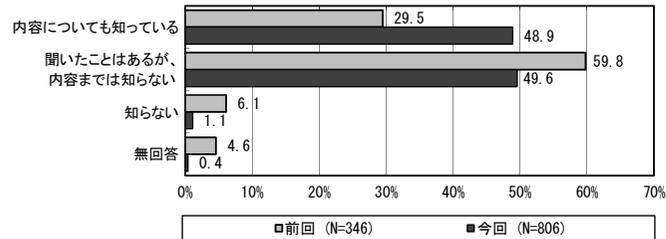
(SA) N=514



問 4 4 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「内容についても知っている」が高くなっており、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が低くなっています。

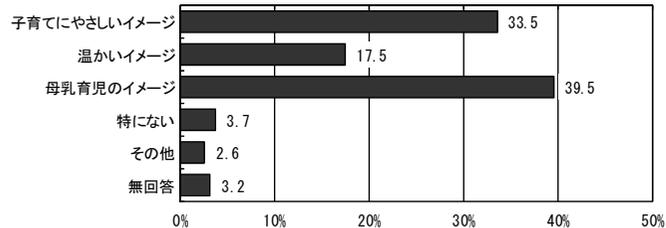
就学前(SA) ※前回の対象者は20～79歳の男女



問 4 5 「おっぱい都市宣言」について、どのようなイメージをお持ちですか。(SA)

「母乳育児のイメージ」が39.5%で最も高くなっています。次いで「子育てにやさしいイメージ」が33.5%、「温かいイメージ」が17.5%が続いています。

(SA) N=806



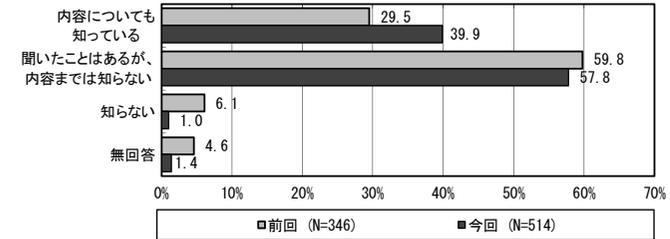
問 4 5 その他の内容（主なもの）

母乳育児ができず、プレッシャーに感じるため、あまり良いイメージではない	7
イメージはあるが、実際の内容が伴っていない	6
ネーミングが好きでない	2
子どもに対する母親の責任を強調されているようで複雑	
あまり内容を知っている人が少ない	
地域・行政・学校が連携した横のつながりと乳児・幼児・小・中・高の縦のつながりを重視した総合的な意味での育児と捉えている	
内容を知っているから正しく理解しているが、初めて聞いたときは「母乳育児推奨」だと思った	
ネーミングにインパクトがあるが、意味、内容がわかりにくい	
光市の方々は暖かな方が多く、外出しても買い物もしやすいです。また、自然も多く、子育てがしやすいと思います	
光市の子育てしやすい環境は有名で、「子育てしやすいんでしょ」と言われます。サービスが充実していてとても助かっています。これからもよろしく願います	
など	

問 3 7 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「内容についても知っている」が高くなっており、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が低くなっています。

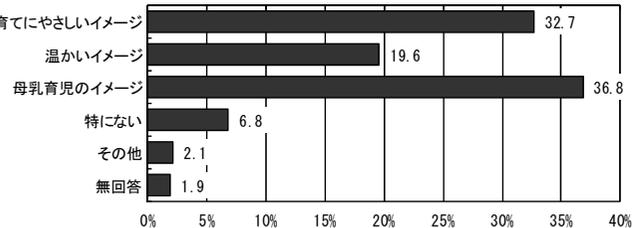
小学生(SA) ※前回の対象者は20～79歳の男女



問 3 8 「おっぱい都市宣言」について、どのようなイメージをお持ちですか。(SA)

「母乳育児のイメージ」が36.8%で最も高くなっています。次いで「子育てにやさしいイメージ」が32.7%、「温かいイメージ」が19.6%が続いています。

(SA) N=514



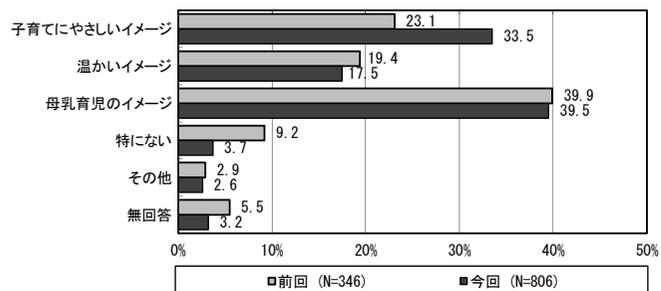
問 3 8 その他の内容

あまりイメージがよくない	2
内容がともなっていないと思う	2
あまりネーミングが好ましくないと思う。意図はよく分かり良いと思うが、意味が分からない	
宣言しているからと言って具体的に何がどうなのかが分からない。	
乳幼児の子育てに力を入れているイメージ	
光市は子育てにくい市だと思う。	
母乳育児でなかったためプレッシャーを感じた。	
母乳で育てる事ができていればイメージも違っていたかもしれない	
など	

問45 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「子育てにやさしいイメージ」がとて高くなっています。

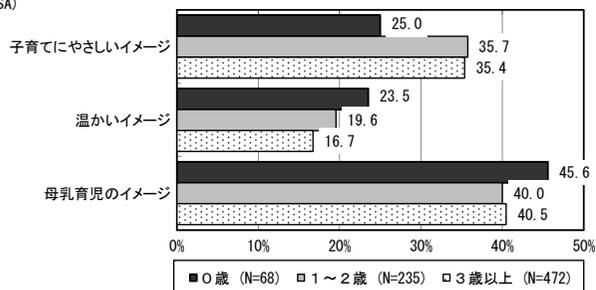
就学前(SA) ※前回の対象者は20～79歳の男女



【問45 おっぱい都市宣言のイメージ】 × 【問2 年齢】 (一部抜粋)

年齢が高いほど、「温かいイメージ」が低くなっています。

就学前(SA)

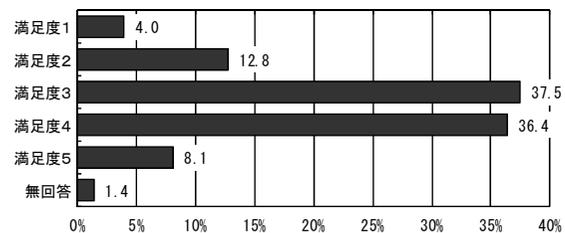


子育て環境や支援への満足度について

問46 光市における子育ての環境や支援への満足度はどのくらいですか。(SA)

「満足度3」が37.5%、「満足度4」が36.4%で群を抜いて高くなっています。「満足度2」が12.8%で続いています。

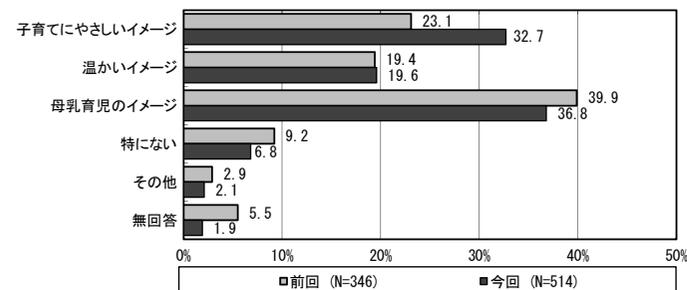
(SA) N=806



問38 【前回（平成21年）結果との比較】

前回に比べて今回は、「子育てにやさしいイメージ」が高くなっており、「母乳育児のイメージ」が低くなっています。

小学生(SA) ※前回の対象者は20～79歳の男女

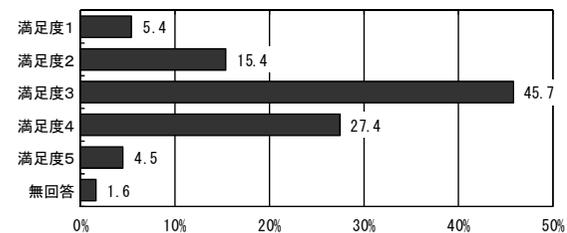


子育て環境や支援への満足度について

問39 光市における子育ての環境や支援への満足度はどのくらいですか。(SA)

「満足度3」が45.7%で突出しています。「満足度4」が27.4%、「満足度2」が15.4%で続いています。

(SA) N=514



【問46 光市への満足度】 × 【問2 年齢】

年齢が高いほど、「満足度3」が高くなり、「満足度4」が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	満足度 1	満足度 2	満足度 3	満足度 4	満足度 5
合計	790 100.0	31 3.9	103 13.0	301 38.1	291 36.8	64 8.1
0歳	68 100.0	3 4.4	7 10.3	19 27.9	34 50.0	5 7.4
1~2歳	245 100.0	8 3.3	23 9.4	88 35.9	101 41.2	25 10.2
3歳以上	477 100.0	20 4.2	73 15.3	194 40.7	156 32.7	34 7.1

問47 光市の教育・保育環境や子育ての環境や支援に関するご意見ご要望がございましたらご自由にご記入ください。

問47 内容(主なもの)
子どもの一時的な預かりが、もっと簡単に気軽にできるとよい。
一時預かりが、半日単位でなく、30分単位で利用料が設定されると助かる。
日曜、祝日など休みの日の一時預かりがあるとよい。
休日や夜間に小児科で診てもらえる体制(光市内で)
子どもの医療費助成(乳幼児医療費助成)の所得制限を撤廃してほしい。
医療費助成の適用が前年の収入で判断されるので、育休中に困った。
医療費の無償化の対象年齢を拡大(小学生や中学生まで)してほしい。
出勤時間との関係で長期休暇中のサンホームの開始時間が早くなると助かる。
サンホームの利用学年を3年生までから6年生までに引き上げて欲しい
土、日、祝日も定期的に園庭開放してほしい
親子で参加できるイベントがあればうれしい
集団健診を決まった日にするのではなく、自分の空いた日から選べるようになるとよい
市役所とあいぱーくが離れているので、小さい子どもを連れて2か所手続きに行くのに不便を感じた
第3子以降の子ども(多子世帯)への手当ての充実
家から歩いていけると公園があるとよい
公園には、大きい子ども向けの遊具のところが多く、小さな子どもが遊べる遊具をつくってほしい
より身近なところで子育てサークルや集いの場、憩いの場があるとよい
雨の日でものびのび遊べるような屋内施設があったらうれしい
安心して遊べる子どもの遊び場を増やしてほしい
産後のヘルパーがいたら助かる
子どもたちが関わる公共施設が老朽化しており、少々不安
小・中学校のトイレをきれいにしてほしい。また、洋式にしてほしい
児童館が少ない
行政だけでなく、家庭や地域がともに子育てについて取組める環境が必要
園ごとの違いや空き状況などの情報を提供してほしい
制度はあるのかもしれないが、知らないと利用できないので、情報がすぐ分かるようにしてほしい
集いの場などに積極的に出て行けない家庭への支援

【問39 光市への満足度】 × 【問2 学年】

“低学年”に比べて、“高学年”のほうが、「満足度3」が高くなっています。また、「満足度4」は低くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	満足度 1	満足度 2	満足度 3	満足度 4	満足度 5
合計	505 100.0	28 5.5	79 15.6	234 46.3	141 27.9	23 4.6
低学年	266 100.0	14 5.3	45 16.9	107 40.2	84 31.6	16 6.0
高学年	239 100.0	14 5.9	34 14.2	127 53.1	57 23.9	7 2.9

問40 光市の教育・保育環境や子育ての環境や支援に関するご意見ご要望がございましたらご自由にご記入ください。

問40 内容(主なもの)
一時預かりサービスは、あるととても助かる
子どもの夜間の救急は周南市になってしまう
年齢で制限(3歳までなど)してもいいので、所得制限せず一律無料にしてほしい
義務教育期間中の医療費無料化
小学校就学後も、医療費無料とまではいかなくとも、自己負担を一部(負担上限を設けるなど)にするなど、医療費支援の充実
すべて行政主導ではなく、親の主体性を促すような支援になればよいと思う
サンホームは長期休暇中朝8時からだが、仕事に間に合わないので早くなるとよい
サンホームの利用を高学年まで拡大してほしい
道徳教育を増やす。子どもたちの態度、ふるまいが目に見えることがある。
子育て支援を小さい子に限定せずに大きく考えてほしい
子どもはたくさんほしいが、経済的に難しい
集団健診では決まった日に行くのは難しいので、個人でかかりつけの病院できるとよい
地域の公園にあった遊具が老朽化や危険ということで撤去され少なくなっている
地域の方との交流や高齢者の方と子どもの交流があれば、自然と学ぶこともあると思う
子どもがのびのび遊べる場所が少ない
ボールなどで子どもたちが走り回って遊べる環境があるとよい。学校開放はとてありがたいこと
放課後や長期休暇中に高学年の子どもが安心して過ごせる場所があればよい
小学校が少人数で、よさもあるが、今後、中学校、高校と人数が多くなる中でコミュニケーションの取り方は大丈夫かと不安を感じることもある
制度を知らないと、いざと言う時に利用できない。制度のアピールが必要だと思う
スポーツ、習い事、塾など、市の教育として情報提供があればよい
中学校で不登校の子どもが結構いると聞く。中学校時代は色々な体験や友だちとの関わりで多くのことを学んだ時期。少しでも社会に出て行けるよう支援してほしい
コミュニティスクールが始まったが、学校と地域の行事が重なるなど、まだまだ連携が必要。子、親、地域が色々な面で関わりが持てるようになってほしい。
市内の病時保育が休業しているので不安
様々な勤務体系に対応した保育サービスが増えると助かる人が増えると思う
子どもの年齢が離れており、同時入所の保育料無料化の恩恵を受けられなかった。

相談を受ける人の質の向上
子育て中の母親は、年齢を問わず悩み、孤独になりがち。子どものことでも仕事のことでも何でも話せるときがあると楽になるのでは。専門家でなく、母親同士でもよいのかも
仕事を辞めると保育園を退園し、友達と別れ、新しい環境に入らなければならない。認定こども園では、保育園から幼稚園に変わっても環境には変化がないと聞いた。
各機関が個々に動くのではなく、包括的に子育て事業、地域事業を市がリードすることを期待する
行政は母子には手厚いが、父子のことも考えてほしい
市内の病時保育施設が利用できなくなり、不便に感じている
幼稚園や保育園に併設した病児保育があると急なときに助かると思う
ファミリー・サポート・センターは利便性に問題があり、利用できない
日曜日、祝日や夜間の保育があるとよい
0歳のとき、なかなか預かってもらえない。特に、年度途中働きたいときに、希望の園に入れなかった
同時入所している間の保育料の軽減よりも、家庭の子どもの人数に応じた保育料軽減の方が平等だと思う。
出産後に保健師さんが訪問するのは本当に良いことだと思う
ベビーカーで移動しやすく、歩道などのバリアフリー化を進めてほしい
予防接種の補助
市だけでなく、企業も育児支援について変わらないとダメだと思う
就園奨励費に所得制限があるのはおかしい
幼稚園の園開放は、気軽に行けてとてもよい。これからも続けてほしい
市立幼稚園を3年保育にしてほしい
通園区域外に住んでいるので、市立幼稚園に入れなかった
行事で使う施設に、幼児が過ごせるスペースがあるとよい
親のニーズは多岐に渡るが、こどもにとっても良いことかを考慮して支援を進めていくとよい
オムツ替えや授乳できる場所を増やしてほしい
自分の子どもたちにも将来光市に住んでほしいので、若い世代が住める環境にさらになるように期待している。
など

放課後子ども教室をどこでされているのかわからない。参加してみたい。
防犯パトロールの方が見守ってくれるのはとてもありがたい。
CSP（ホモセクス・アレンディング）の講座を開き、養育の底上げをする。
インフルエンザ予防接種の補助をしてほしい。子ども2回接種は経済的に負担が大きい
仕事と両立しやすい環境整備を望む
など